



UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

WILLIAM H. DONNER COLLECTION

> purchased from a gift by

THE DONNER CANADIAN FOUNDATION









された文化二年以前に一度注進した分と後の文化二年度の分との境目かとも思はれる。 底本と異る時にその異同を「い別」として掲げた。此、綴目が「覧保三年之度注進」(一六〇三員上段縁照)と記 まで行くと注進者が更まつてゐて、其の引繼の前後が、多いのは二三人分重復して出てゐる、その中の一方が に掲げた異同の處々に「い別」と云ふ印を用るたのは、別本が有つたのでは無く、幾分量の多い家傳は或る處 原本はかなり中値も生じてゐたが、文字は大方楷書で築ぶに大きく書いてあるので讀めぬ字は無かつた。刊本 で其後の傳が書いてないのも有るから坊官傳は脱落では無くて、當時何故か注進されなかつたのかと思はれる。

があり、底本に比してはかなり疎略と思はれる本である。それで校合の上では博物館本「印」を主にし、い本 特に年齢や「守如元」等の割注の分は省略されてゐる處が多く、異同も大抵は底本の方が正しいと考へられる節 以下が一卷づく卷敷が繰下げられてゐる他は底木と同じ形式であるが、各傳の末段の處には多少の増減がある。 に無い分だけを圖書館本

て異印しに據つたのであるが、異印では年月までを舉げて日の異同は省略した。 次に帝國圖書館本は「異印を用るた」虫蝕等は無く比較的新しい寫本と思はれる。此本は廿四卷が二分せられて

人で、い、異等の小字は校合本の路譜である。又(守如元)等の如き小字の附かない()は印刷の便宜の爲 に割注又は小字の註文を一行に延べて組込むだ印と御承知下さい。 終に活版組方の例示であるが、「」印の中にある文字は、すべて其のすぐ上の文字の異同を示し、」は補

森紫夫君が珍額を貸與し給ひたる、帝室博物館及び帝國圖書館が殊に便宜を與へ給ひたるを深謝する。

一四七二頁に戻り、一五〇〇頁に至る。其より一六三〇頁に續く

以上の如くなるので有る。其が或は底本の原形かも知れない。何分にも新目錄と案引(新編)とにて其人物は檢

生じ安い。又虫蝕が逃だしい處が有る。京大ので寫した新寫本の方は少しあぶない本である。 底本にした森君の本は確かな文字で書かれた宮本で有るが光筆を用る過ぎた爲に字躰がヘッキリせぬ爲誤讚を 出して頂きたい。

傳はつたものか。ともかく三上景文編輯以前の形であらう、多くは家々から注進した形式になつて居り、各傳 質延三年以後地下諸大夫以下云々とある文化二年度に地下諸家の傅を召された節の記録が其の原形のまゝ寫し 近い處の事は無いやうである。大抵文化元年までで、稀に二年夏まで書かれてゐる。附錄(一七一八頁上段)に、 帝室博物館職の本へい印を用るたけ、井上先生の見られた本)善本と考へられるが書き繼が出來てゐないのか、 思ひがけない冊の途中に捕まれてゐる物なども二三有るから、後からい」加減に綴り合せたかとも思はれ、쏐 無く、家々の列鄂順も底本とはかなり異つてある。冊顯は現在五十二冊に分れてあるが、一つ家傳が二分されて の初丁は中央に某々家傳とあって、右端又は左端下方に注題者と思はれる官位姓名が記され、本文の割注の「守 敷の點は據りどころとし難い。又廿八卷以下に出てゐる坊官の傳は全然見えない。他の役から坊官に移つた人 いに記してある。(かくる異同は刊本には掲げなかった)この博物館本は外題に「地下傳」とあって卷次は全然 如元」又は「去尉」など、あるところも官名を省略せず「何々守如舊」「去左衞門大尉」と云ふ具合に一々こくめ

解閱

順序とは合致せの處が有る。附錄一七三七頁―九頁に當る處に據つて本文の順序を立てると 有る。其れを京都大學の本で新寫して補つたのであるが、其の本と底本とは卷の別け方が相異してゐる處が有 其歿年は此書では知る由がない。此書は序にも云つてあるやらに書き繼いで行つたので本々に誤寫以外に異同 である。此序文も圖書館本と二三文字の異同が有つて掲げて置いたが、或は稿一二文字の誤脫が有るのではな は何等の知識もないが、先づ本書には附録器頭に著者の自序が有る。それによつて此書の成立の大畧は明らか の領群書一覽に無く、物集氏の群書案引にも太田氏の隨筆索引にも何も出てゐめ。私としては此の書に對して つてゐたから、今の形の如くなつたのである。正しくは卷の順序はどうで有つたか、今印刷せる本文と附錄の く二分せられて、二十四、五と二卷とないて行けば三十三卷で序文の卷と合するのであるが、底本は一冊とな しては一見目安からぬから數を追ひて卅一を卅として次々追つて三十二となつたのである。二十四が異本の如 にて小書せる卷敷に嫌つて諸本を参考して整理して行ぐと廿九から卅一になつて三十六飛ぶ形になるが、飛ば る。又圖書館本等とは處々に魯敷の異同が有つて、而倒なのである。元來底本には魯の順が書いて無い。朱書 の本の底本としたのは森繁夫君の蔵本に據つたのであるが同本は一、二三、二七、三一、三三の五册の脱落が が有る。卷數は三十三卷と序文にあるが、刊本は三十二の形に成つた。然し是れは脱落が有るのではない。此 いかと思はれる節が有るが、とも角も成立の一通は知られる。編者の景文の傳は本書一七〇七頁に出てゐるが、

四七一頁から一五七〇頁に續き、一六二九頁から一五〇二頁に戻り、其より一五六九頁まで讀き、其より

地下家傳解題

際の京都職工程三日は同日田北大郎の間かける天の間の東京であることであるとは

此の地下家傳は本會顧問并上先生が、本書を第六期刊行書目に加へた時に 前にも門人某に托して出版を企てたことがあるが、遂に物にならなかつた。今回此書が出版せらるものは余 始て聞いたのである。震災前にも是非入用なことがあつたので、森林太郎君が博物館總長をして居る時に同 昔は三位以上を公卿と云ひ、四位以下を地下と云つた。三位以上はほど今の勅任に當り、四位五位はほど今 館の本を11三ヶ月間借りて居て「餘り長くなるとおれが困る」と森君から苦情を云はれた事がある。三四年 ので、二十年來人にも頼んで資物を探して居るがまだ手に入らぬ。大阪の森繁夫君が持つて居ることも今度 年北小路俊光日記抄を出す時に奇蹟的に北小路家傅を入手したが、其後も地下家傅の入用なる事が往々ある の蹇任に當るであらう。史學者にとつては入用であるが、其の本の存在は諸家傅に比べて造に少い。余は先

上先生の推薦し給ふと曾昌諸君の援助を便りに實に無謀極まる出版をしたわけである。 無論無く、寫本も極めて稀である。而も大部の本であるから印刷に付する事は中々困難な本である。本會は井 と談らられた。必要な本では有るが一寸誰でも入用な本ではなし、趣味的な面白味の有る本ではなし、刊本は

一人の喜びではあるまい

先づ本書の事は從來の解題書には少しも出てゐぬやうである。尾崎氏の群書一覽、佐村氏の國書解題、西村氏

審策(同) 春道(同) 春海(同)

與福寺院家喜多院候人陰山

定知(一六九五) 定酶(同) 盛息(回) 盛春(同) 定盛(同) 庭興(同 定躬

計(豆) 経英(同)

喜多院候人

上田屋樂(一六九六) 慶利(同) 賴常(同)

興福寺院家松林院候人 山本宗秀(一六九六)

日嚴院候人

多喜坊法橋玄意(一六九七) 藤井 平章(一六九六)

勝安養院候人

勝安養院候人 竹中正意(一六九七)

濱崎嚴敬(一六九七) 惟种(一六九八) 篤敬(同)

地下家傳 目録

> 常從金剛院候人 野田方穀(一六九八)

理性院候人

金子宗貞(一六九八)

宗國(一六九九)

義屋(同)

敬忠(同) 近義(同)

報恩院候人

宇野宗曼(一六九九)

報恩院候人

高西政納(一七〇C)

大塚泰慶(同)

醍醐寺院家無量壽院候人 世一七000 少加孝班(同)

大武宗政(同)

少质宗親(同)

第三十三冊(〇門本西)

秦氏三上家譜

秦長用(一七〇二) 秦公長(同) 秦順軍(同) 秦近軍(同) 秦東方(同) 秦公里(同)

一八五五五

下間少進家庶流 仲潔(二六八三) 仲充(同)

(同) 仲之(一六八四) 仲稠(同) 仲智(一六八三) 仲香(同) 仲普(仲普(同) 仲則

下間少進家底流

仲(一六八四) 仲油(純)(同) 好(同) 仲長(同) 仲以(同) 仲

下間

下間 軽性(同) 類形(同) 類形(同) 類形(同) 類良(一六八五) 賴祐(同) 賴房(同) 賴靜(同) 賴與(同) 輯尚

賴敏(一六八七) 傾功(同) 傾世(同)

元陣(一六八七) 元好(一六八八)

政題(一六八八)

若王子候人 淳鵬(同) 三上定應(一大八九) 源秀(同)

秀伯(同)

三上稱松坊

(同) 秀賀(同) 珍秀(一六九〇) 秀睦(同)

秀舜(同)

三上庶流

伊藤 車元(一六九一)

住心院候人 (帰) 快順(一六九二) 快常(同) 快道(同) 快榮

玄郢(二六九三) 玄泰(同 玄作(同) 玄延) 内藤玄良(一六九三) 玄節(同) 玄真(同) 同

春積(一六九三) 春善(同) 春雄(一ブ九四)

(同) 忠慎(二六七三) 忠眞(一六七二) 欠、武行八一六七二 忠貞(同) 忠行公司 忠直(同) 貞紀

松本源姓

勝豐(一六七三)

杉田源姓 客員(一六七三) 喜収(一六七四) 邦敬(同)

多田源姓 仲連(一六七五)

(宜喜同)

渡邊源侍 中御門藤原侍 直(一六七五) 州孝 二六七五)

1: 川源侍

喜村、一六七六

地下家傳 目録

神足源侍

直詮(二六七六)

第三十二冊(〇四本語)

下間

類玉(同) 類和(同) 賴勘八一六七八) 賴永(同) 賴源(同) 仲友(同) 観恭(同) 仲響(同) 賴孝一六七九

下開

仲弘(同) 類康(二六七九) 仲玄(同) 仲虎(二六八〇) 和利(同) 和深(同)

下間別部卿家庶流

組英(同) 超英(同) 仲俊(一六八〇)仲富(同) 趙玄(一六八一) 傾明 同) 朝公(同)

仲英(同) 仲舊(同) 仲晏(同) 仲孝、一六八二)「仲此〇一六八二」 仲令(同 仲二同

八五三

泰部(相)(同) 泰康(同) 泰卿(同) 泰郎(一六五七) 泰郎(一六五七) 泰郎(同) 泰康(同) 泰唯(一六五七) 泰郎(一六五七)

多門院兼三綱職

福智院姓源

松井姓源

(同) 任濟(同) 淵英(同) 淵春(二六六八) 隆漢(同) 實淵(同) 實弘(同) 鴻春(二六六八) 隆淵(二六六九) 隆茲(同) 隆延(同) 永有(同)

城戶坊姓侍法師也

上北面井上坊姓橋

上北面 姓縣原侍法師中司 坊

原姓橋 專清(一六七〇) 專房(同) 專信(同)

(二四二) 長軍(一六四二) 永姓(同) 教長(同) 好甫

高天

好章(一六四三) (一六四四) 良政(同) 善前(同) 好長(同) 章政(同) 常政

孝乘(一六四四) **异**兼(同) 長乘(同) 範乘(同) 陽乘(一六四五) 永乘(同)

中沿藤原氏 信乘(一六四六) 善乘(同) 益乘(同)

北小路

元和(一六四六) 元辰(同) 秀澄(一六四七) 秀尚(同) 秀巋(同) 秀鵑(同) 秀凡(同) (同) 秀永(同) 秀苗(一六四九) 秀延(同) 光興(一六四八) 秀成(同) 秀常

前田菅原氏

光親(一六四九) 吉壽(同) 精豐(同) 光訓

地下家傳

目館

○六五○) 軍職(一六五〇) 吉康(同)

朝岡藤原氏

方章(一六五二) 專方(同

字野源氏侍

小南藤原侍 昌勝(一六五一)

政美(一六五) 政治(一六五二)

森田藤原侍

南院姓藤原兼三綱職 則名(一六五二) 則賀(回)

玄經一六五三) 泰憲(同 泰經(同) 泰尊(同) 泰署(同)

泰事(同) 泰弘(同 泰清(同) 泰增(一六五五) 泰眞(同 泰縣(同) 泰賀八貫二一六五

一八五一

第三十一冊「〇刊本五」

直之く同) 『良く同) 古月(一六三三) 玄道(同) 直路(一六三三) 玄道(同) 古月(一六三三) 玄道(同) 直維(同) 直統(同) 直統 直續

岩波源

延張(一六三三) 庸重(同) 庸堅(同)

松室秦

敬忠(一六三四) (同) 虞雄(一六三五) 敬民(同) 好謙(同) 清雄

三好清和源氏

善長(二六三五) 玄條(同) 玄善(同) 玄通(一六三六)

廣林(二六三七) 孟白(同) 常昌(同) 玄久(同) 玄隆 康昌(白)(同)

> 梅島藤原 同

小山宇多源氏 重膦八二六三七)

重高(一六三八)

重遠(回)

黎弘(同) 泰隆(一六三八) 泰章(同)

泰卿(一六三九)

安藤藤原氏

誠、〇六三九

角川橋氏 諸厚(一六四〇) 仙暨(同)

野蝉(同)

俊德

谷野藤原 同

常喜へ一六四一)

常朝(后)

常彩(同)

岡本加茂 尚房へ一六四一つ

內侍原

櫻井櫻井 正敬二六二〇 正明(一六二)

忠真(一六二)

| | | | |

野家(二六二)

本間 新县(1六二三)

帖壽(同) 帖旗(同)

(同) 贴路(同)

芝絕以前舊配不分明

快邦(一六二二)快俊(一六二三) 快明(同) 時數(同) 時邁(同) 快傑(同)

岡本源侍

河場(一六二四) 溫之(同)

護鄉(同)

義肥

長尾源侍

同

称章(一六二四)

地下家傳 日録

秀實(一六二五)

秀全(同)

秀俊(同)

秀原

○大二六

河野越智師司家諸大夫

秀賞(一六二六) 泰賞(同)

泰廣(同)

(一六二七) 泰裔(同) 泰爾(同) 季賢(同)

榎本越智侍 秀成(一六二八)

秀俊(同)

秀厚(同)

站幸

久保源侍

森文(一六二八) 芳寒(一六二九)

矢嶋源侍

八木源侍

仲利(一六二九)

養陳(一六二九)

一八四九

北村源

宗泰(一六一一) 宗永(同) 宗東(一六一四) 宗和(一六二二) 宗東(同) 宗保(一六一三) 邦季(同) 保邦(同) 保邦(同) 保承(一六一四) 東京(万字) 保邦(同) 保海(一六一四) 宗和(同) 保海(同) 保海(一六一四) 宗和(同) 保海(同) 宗和(同) 宗和(同)

井內藤原坊官

光(言) 經龍(一六一五) 上座經际(一六一四) 法橋經長(同) 法印經信(同) 經仲(同) 上座經察(同) 法印經運(同) 法眼經群(同) 法印經额(同 定國(同 法橋經紹 寺主經甚 山田源氏坊官

甲村源

定國(一六一五) 定言(同) 長基(同)

本井源坊官 六二六二

は順(同) 宮畝(同) 中慶(同) 安東(同) 法限正終(同) 下慶(同) 安東(同) 安東(同)

喜多村源氏人

| 「大きない。 | 「ない。 」 「ない。 | 「ない。 「ない。 | 「ない。 」 「ない。 」 「ない。 | 「ない。 」 「ない。 」 「ない。 」 「ない。 「ない。 」 「ない。

梅津源场官

上座資優(一六一八) 武廣(同)

定言(同) 定俊(同) 爲美(同) 爲承(同) 法権畏奪(一六一九) 法即長運(同) 法権長順(同) 法印長盛

村田藤原 寺主良統(一六二〇)

襲居(同)

(后)

宝橋(二六二〇) 實資(同)

光隆(一五九九) **東京(一六〇〇)** 光慶(同) 光辨(同) 隆査(質)(同) 隆城(同)

康業(同) 康年(同) 藤明(同) 藤哉(一六O二) 三) 長保(同) 長榮(同) 爲康(同) 康明(同)康哉(一六〇

山口源

敬徳(同)成英(一六〇四) 一長(一六〇二) 一殿八十八四二 成裕(同)

朝井元禹田藤原

影点(二六〇四) こ六〇五 是關(同) 景命(同) 景逸

伊原源

依興へ一六〇五) 依歸(同)

植川大神侍法師

興起へ一六〇六)

地下家傳 日錄

水谷母法師 信漢一六〇六〇

大音伊香侍 風光(一大〇六)

電流(一六〇七)

落合源侍 面域に触び二大の七)

豪職(间) 薬方(同) 法師豪意(一六〇七) 豪順(二六〇九) (同) 上座家俊(同 寺主豪茜(同) 正名(同) 法眼實歷(一六〇八) 豪正(同) 法印豪仲

飯川源氏

明美二六10 經明(同) 秀夫(同) 經文(夫人同) 明解(一六一

春澄(同) 明雅(同)

一八四七

恒隆(同)

三上藤原氏井闢庶流

永田藤原氏野路井庶流 員光(同) 大赦**亟**陸屏(同) 法眼寺(守)順、同 法眼常秀(五九〇) (信勝 一五九一) 元休(一五九一) 有信(同 大藏函陸元(同) 越前守

回 法限後元(一五九一) 康昌(同) 康忠(同) 法眼 尹云(同) 法眼秀成

秀伯(一五九) 在網(同)

象征八一五九二) 元敦(同)

(一五九四) 興輝(一五九三) 光輝(同) 元隣(同) 元祥

中澤藤原

直香(一五九四)

孝一〇二五九四人 孝誼(一五九五)

林鴨

康忠(一五九五) (0大(同)

康年(一五九六)

川中藤原 次章(一五九六) 次盈(同)

渡邊源

森加茂 終(五九七) 字(同)

清隆(一五九七)

清有(同)

元維へ 一五九八

一五九八)

弘澄(同)

武田源

應門(二五八二) 任(三五八二) 忠多一五八一 文運(連)(同) 女光(一五八二) 順正() **尚行(一五八三)** 河窪中原 武經(一五八六) 忠成 二五八七)

當義(一五八三)

邦彦(同)

本多藤原

矢守源

谷源

平昌(一五八三) 平康(一五八四) 平充(同)

季聞(一五八五) 季尚(河)

秀光 一五八四)

舍彦(一五八五)

傷」(五八六)

地下家傳

文理(同

近年(同)

村上漁藤

香山源 直忠(一五八七)

関係(一五八七)

(同) 宗慶(同)

野路井

(信)、 縣彰(同)

宜辰(同)

實榮(同)

宜隆(同)

宜乘

盛費(同)

盛恭(同)

直候(品) 直接(品)

貞佩

貞清(一五九〇)

一八四五

長尾元土橋 手島 成多喜 高橋 第三十冊 法橋宗慶(一五七四) (一五七四) 溫理(同) 條 證珉(一五七四) 法橋秀絲(二五七三) 幸雄(同) 幸寬(一五七二) 曉暹(同) 幸昌
法印幸淳(一五七一) 永淳(同) 幸俊(同) 法印幸淳(一五じ) 法印維仙(一五七一) (同) 幸教(同) 「〇刊本五」 實圓〇一五七五) 永淳(同) 維昌(同) 亨謙(同) 憲章(同) 文煥

高橋源

義克(一五八〇)

小幡泰

忠福(一五八〇)

忠真(同)

小幡

橋本元鳴龍 杉本藤原 若林源氏 祐之(一五七九) 弼直(同) 盛之(同) 照章(一五七七) 歴事(同) 慶俊〇一五七六) 最珉(一五七五) 同 德裕(同) 誠章(同) 祐光(同) 慶音(同) 最純(同) 最紹(一五七六) 永彻(一五七七) 帖憲(同) 泰章(一五七八)

田 一題スー五五六) 既後(同) 现行(同 承政(一元六四) 承世(同)

山本加茂氏

総方(一五五七) 電胤(一五五九) 保方(一五五八) 保敬(同 重龍(同) 黎明(同) 清住(同) 保弼

西池加发氏

季紀(同) 恒季(同) 季祥(一五六一) 季繁 依季(一五五九) 季珍(同) 季端(一五六〇)

小島和領氏侍

(範久・一五六一) 俊久(一五六二)、久時(同)

今小路 (一五六四) 範成(同) 楊剛(一五六三) 救施(同)

簡光(同)

定範

前大路

地下家傳 月鍛

> 承則(同) 承久(一五六六) 承衞(一五六五) 强政(同) 承式(同) 承弼(回)

安川源

満美一五六六 ○五六七) 義尊(同)

義成(同)

義利

進縣縣原 諸嗣(二五六七)

善基(同)

善趣(同)

善述

○五六八)

碳川源 福進(一五六八)

種昌(同)

種美(同)

片岡藤原侍 盛力(一五六九)

小南縣原 政治(一五六九)

三上源侍 伊丹加茂侍 場部藤原承仕 木崎源氏 八木源氏 山田源氏 宜願(一五五〇) 正達(一五四九) 重真(一五四八) 澄衢(一五四七) 宗邦(一五四九) 吉當〇二元五二〇 (同) 成燈(一五四八) 同)永言(同) 永和(同) 長遊(同) 貞久〇一五四九) 保殿へ同 正宣(同) 當秀(同) 永知(一五四六) 當純(同) 政澄(同 永寧(同) 弘澄

脇屋源侍 利音(一五五一) 軍直へ一五五〇) 保教(一五五〇) 爲保(同) 利負(同 重弘(一五五一)

內田滅仕 殿(五五一)

塩川 就次二五五二 就俊(同

千種 **啓遵(一近五五)** 啓納(同) 啓消(同) 啓貞(同) 啓般(同) 良由八一五五三) 良曉(一五五三) 18中(同) 尚堅(同)

尚宣(一五五四)

機節(一五五五) 概淳(同) 應憲に同い

入谷源 仍後へ一五三二 由幾(同) 憲輔(同

清客(一五三一)

飛川藤原承仕 古州縣原承仕 (同) 信純(同) 信然(五三二) 信榮(同) 信齊(一五三三) 信敬(同) 信光(同) 信忠

管原管原坊官 (同) 金枝(一五三四) 金欄(同) 金昌(同) 素順(一五三三) 仍順(同) 金秀(同) 金信

法印質率(一五三四) 寬慶(同) 實理(二五三五) (同) 寬美(同) 「寬位(同) 寬充(一五三六) 實幣(同) 實尊(同) 實数 夏季同) 智敬(同) 寬裕(同) 實純(同)

地下家傳 目錄

菅原庶流览官

慶英〇二五三七) 慶姓(同) 屋超(同) 英周(同

今小路三善坊官

傳(同) 行雄(同) 印行康(同) 法印行第一五三八) 行蝉(同) 法印行惠(同) 法印行忠(同) 行略(同) 行賢(同) 行光(一五四〇) 忠淳(同) 行觚(同) 行続(同) 宗光(一五三九) 宗賀(同) 法印行程门进入间)

松井源氏

(一五四二) 永嘉(喜)(同) 眞清(二五四一) ○田四田 永さく同し 永春(同 永純(同 永昌

松井源氏

永髓(同) 永貞(同) 永信(同) 洪橋成圓(一五四三) 法橋圓信(祠) 洪橋弁圓 同) 千代額(同) 永忠(同) 忠康(同) 永興(二五四四) 永明(二五四五) 永亭 永長(同) 永淳(同)

```
宗種(同)
      宗重(同)
```

五百〇	(司) 重滅(司) 良閑(一五二九)	(同) 長裕(一五二九) 長繩(一五二八) 長寒	鳥居川藤原	信息(一五二六)	(同) 春恕(同)
住永(司)	紹知(同)	一 長素(同)	憲勝(同)	任朝(同)	養正(一五二六)
量章(司)	軍長(同)	長軍(何)	憲数(同)	任亮(同)	五二六)
	軍昌	長和	憲	任而	養敬

(同) 經通(同)

並河侍法師 (請共 一五一一) 衛全へ同) 共為(一五二二) 請榮同)

進機藤原氏存法師 爲俊(同) 爲卿(同) 爲雄(同) 爲元(五二) 二元一五 総賃(五二三) 爲善(同) 爲益(同)

隱岐縣原侍法師兀二條家侍

発則(一斤一七) 発則(朝、(同) 隆俊(同) (同) 法橋安政(同) 法橋善宗(司) 斃羔(同) 法精安忠(一五一五) 法眼安秀(同) 隆秀(同) **発公(同)** 隆忠(同) 堯」(同) 光(堯)照(同) 法橋安澳

地下家傳 目級 武川源坊官

伊丹海 信養(一五一七) 信備(一元一八) 信政(同)

預定(一五一八) 前任(一五一九)

渡邊源 常秀(一五一九) 常香(同) 節(回)

林嶋縣原

大賀平後改稱号谷爲源氏 勝直(二五二〇) 勝章(同) 勝市(一五二一)

宗明(二五二)

宗信(同)

平宗之(同)

並河传法師

望月侍法師 良曜(一五二二)

勝見侍法師

寛田(一五二二)

率友(二五二二)

村(一五〇三) 泰超(同) 泰太(同) 泰莽(同)

泰任(同) 泰願(同) 泰堅(同) **李**

武善(一四九八) 長禹(同) 昌長(一四九九) (同) 澄伯(同) 伯數(同) 伯良(同) 伯秀(同) 伯夷(四九八)

善政(一四九九) 善倫(同)

吉清(一四九九)

第二十九冊(〇門本田)

泰宗(一五〇二) 泰胤(同) 泰雄(同) 泰雄(同) 泰雄(同)

| 「一大」 | 「一大」

鳥居小路坊官

茂(同) 經範(同) 經孟(同)

經維(一五一)(經貨)同經際(同)經費

高橋源氏 正應〇一四八六

所間源氏传. 季敏(一四八七)

西坊

方刷(一四八七)

周親(一四八八) 敬胤(一四八九) 胤殺(同) 施章(同) 胤長(良)(同) 範貞(同) 州昌(同)

(一四九〇) 水廠(一門八九) 敬箭(同) 範璞(同)

中西藤原氏 恒親(一四九〇) 恒曹(同) 恒真(一四九三)

恒幸(一四九一)

恒道(同)

終藤原氏

清昌(一四九二)

地下家傳 日録

> 日長幽原 直通〇一四九二

範齊〇一四九三

在風一四九三

古守藤原 正常(一四九三)

高範(同

山本加茂

芝之坊氏松尾姓秦 保護(一四九四)

(一四九五) 敬村(同)、澄昇(同) 親定(同 英村(同)

定昇(同)

岸之坊氏三好姓源 長幸(同) 澄君(同) 長須(一四九五) 長員(一四九六) 是敬(问) 長郷(同) 月期(同

一八三七

佐々木源氏

長素(一四八〇) 長博(同) 長椒(長俶(同)

松尾秦氏侍

富井源氏侍 相率(一四八〇)

政素(一四八一) 政矩(同)

山本源氏侍

宗恒(一四八一) 宗明(同)

森山源氏侍

愛義〇四八二

伊地知藤原氏侍

利恭一四八二

宇佐美藤原氏侍

軍守(一四八二) 重隆(同)

木瀬源氏侍

長就

木田源氏侍 愛則(一四八三)

亮實(一四八四)

世古國操侍

雷(一四八三) 守中(同)

玉木橘氏侍

正騰(一四八四)

辻源氏侍

重較(一四八四)

法印珍任(一四八五)

法印慶村(同) 慶萬(同)

杉本

法橋快繼(一四八五) 玄叙(一四八六) 玄嵐(同) 玄規(同) 玄光同

政常(一四六四) 政恭(同)

正脩(一四六五) 正確(同) 正美(同)

(一四六七) 李理(一四六六) 季就(同) 季興(同) 季伯(同) 常尚(同)

大口藤原 加田藤原 範胤(一四六八) 距直(同) 範忠(一四六九)

時壽(同) 道壽(同) 積壽(同) 正壽(同) 重善(一四六九)嗣善(同) 常善(一四七〇)

侍田中藤原

総長(一四七一) 松雄(同)

第二十八冊(〇甲本五)

地下家傳 目錄

今大路

法印源甫(四七三) 源定同) 源秀(同) 消寒(同) 源良(一四七四) 源永(同)

岩坊得号小野澤 法印特何(二四七四) 學昌(同) 酯文(一四七五) 譽豪(同) 界香(同) 器長(同)

豐尚

雜務稱号分大路 法眼源壁(一四七五) 源甫(同) 源電(同)

(源寧 同 源乙 一四七六 源栗 同)

小野澤

響師(一四七六)

器間(同)

八島侍法師 宣常(一四七七) 譽恭(回)

摩木藤原氏

重行(同) 軍矩(一四七七)

親道(同)

軍義(一四七八)

一八三元

同諸大夫岸水源以

同諸大夫谷口源氏 定陳(同) 業壽(同) 維壽(一四五二) 政憲(一四四九) 定賢(同) 茂賢〇四五〇)

定賢(一四五一) 正循(同) (一四五二) 定行(同)

正愛(同)

正

同侍長野武智麿末裔藤原氏 治實(一四五二)

同侍太田藤原氏

寄隆〇四五三 隆支(河) 教隆(同)

同侍毛利源氏

同侍葛西源氏 義周(一四五三) 一信(何)

善明(一四五四) 善章へ同り 善之(同)

第二十七冊 (〇門本五)

山本賀茂氏

同 銀致(一四五六) 經濟(一四五七) 經是(同) 經說(同) 兼庭(司)· 兼存

小川源 祐詮(一四五九) 祐壽(一四五七) 就周(回) 就喜(同) 就樹 **枯城(一四五八)** 祐敬(同)

岡本賀茂

(一四六〇)

祐信へ同し

氏三(一四六〇) 静氏(同) 氏清(同) 清海(同) **並氏(一四六一)**

一回 倫重へ一四六二つ 倫叙(一四六三) 倫賢(同) 倫好(同) 倫庫(同) 倫武(同)

侍清水桶 正堪(一四六四)

侍野中平氏

正久(同)

正泰(同)

(同) 反复(同) 反步(一四三四) 德辰

同諸大夫春日

(司) 仲具(司) 仲賀(司) 仲釐(一四三六) 中,(司) 仲與(司) 中鄉(司) 中與(司) 仲與(司) 仲與(司) 仲與(司) 仲與(司) 仲數(司) 仲妻(司) 仲妻(司)

(同) 仲基(同) 仲墓(同) 仲囊(一四三八) 上) 仲恭(同) 仲襄(同) 仲囊(一四三八) 上) 仲恭(同) 仲襄(同) 仲囊(一四三八)

源篤則(四三八) 克則(同)

(1四四〇) 章梅(同) 章雄(同) 章雄(同) 章雄(同) 章雄(同)

同侍林藤原氏

地下家傳 目錄

同传小鸠源氏

(一四四二) 永起(同) 永友(同)

同侍河原源氏

同侍岡本加茂氏

(一四四四) 芳時(同) 時邑(同) 治時(一四四三) 時鎮(同) 夏時(同) 廣幡家諸大夫森高明公宋裔源氏

同諸大夫上田輝基王末裔源

四四六) 元輯(同) (元寨 同) 定變(一四四七)元定(一四四五) 元行(同) 元珍(同) 元貞(一

同諸大夫渡邊源氏

義之(同) 義傳(「四四七) 義富(同) 規義(一四四八)

八二二二

成教(一四一七) 爲数(回) 昌酸(回) 元教(同) 正数(一四一八)

同侍一見藤原氏

同侍堀內源氏 倚信(一四一八) 美武(同

直胤(一四一九) 直綱(同) 直治(同)

醍醐家諸大夫伽川大石氏

以忠(一四二) 以良(同) 以康(同) 知忠(同) 知藤(同 以直(同) 直義(一四二三) 知藤(同) 以信用 以孝

同諸大夫高洋藤原氏

時光(同) 康時(一四二四) 時直(一四二二)時芳(同) 水遠(同) 康遠(四二三)

同諸人夫奧田藤原氏

(同) 榮久(一四二六) **発貞(一四二五)** 榮常(同) **榮春(同)** 荣孝

同侍川合平氏

(一四二七) 雅利(同) 宜局(一四二六) 雅知(同) 雅局(同)

雅文

同侍神先藤原氏

同侍下司源氏 幸生(四二七) 定殖へ一四二八

教生〇一四二人)

第二十六冊(○第本章)

久我家諸大夫森 源忠賢(一四三〇) 長郷(同) 長悲(同) 基時(一四三一) 直時 長(同)盛家(一)憲威(同) 、長忠同) 長憲(同) 長賢(同) 守清(同) 守秀(一四三二) 長祥(同) 資時(后) **員時(詞)** 友時(詞) 守隆(同) 長季(同) 盛忠(同) 長軍(同)

氏納(一四〇三) 氏體(同) 氏蝦(同) 氏緝(同) 氏姓(一四〇四)

同諸大夫石川寨氏

045 親永(一四〇五) 禮親(同) (一四〇六) 禮美(同) 禮斯(同) 禮章(1四 正規(同) 禮和

同侍顏山小野氏

発長(一四〇七)

同侍田中平氏 同侍四手井藤原氏 清澗(一四〇七) 景命(同)

網備(一四〇八)

正寬(一四〇八) 正規(矩)(同) 正文(同)

同侍武花强桶氏

正甫(一四〇九) 正之(同) 正康(同)

同侍姻曹原氏 亮功(一四〇九)

地下家傳 月錄

大炊御門家諸大夫橋本藤原氏

正政公路、〇一四一二 宗昌(一四一〇) 正春(同) 四二 正關(同) 直昌(同) 正傾(間) 四高(同) 正

同諸大夫山太藤原氏

正統(四二二) (同) 忠貞(同) 良臣(一四一四) 昌败(同) (一四二三) 正備(同) 正直(同) 正與(同) 嘉之(同) 正整(同) 正臣(同)

同諸大夫上田大江氏

同侍岩崎源氏 茂桃(一四一七) 秋成(一四一五) 成裕(一四一六) 成行(同) 秋有(同) **吉富(同)** 成善(同) 成章

同侍岡本源氏 榮尉(一四一七)

同侍松井源氏

同侍堀藤原氏

清周(一三八八) 清信(同)

古顯(一三八九)

雪願(同

正秀(二三八九)

同侍上原橘氏

同侍稲田藤原氏(二三九〇)

第二十五冊(○司本四)

花山院家諸大夫檜山藤原氏

久要(同) 久敬(一三九四) 久龄(同) 久成(同) 久聚(同) 久醍(一三九三) 久以(同) 久县(同) 久县

同諸人夫**檜**川藤原氏

豐久(一三九五) 直久(同)

同諸大夫梅戶藤原氏 寬文七年改石川

光行(一三九五) 光識(同) 美延(二三九八) 代章(同) 光康(同) 光識(同) 美延(二三九八) 在延(同)

同諸大夫前波藤原氏

(同) 景稱(同) 由位(同) 由養(二三九九) 由秦(二三九八) 由久(同) 由義(二三九九)

同諸大夫太庄藤原氏

には、「四〇二) 元章(同) 元章(同) 元璋(同) 元章(同) 元章(同) 元章(同) 元璋(同) 元規(一四) 元(一四) 元(一四)

可导松本源

宗達(二三七三)」

今出川家諸大夫山本叉町口平元坂上

平向親二三七四) 親養(同) **養韓(同)** (同) は 同) は利烈二三七五) 家正(同) 家久(同) 家族(同) 長勝(同) 宗縣(同) 平家次(同) 「三七七) 親師(同) 親原(同) 順親 (一三七七) 親師(同) 周親(一三七九) 親 (一三七七) 親師(同) 周親(一三七九) 親

同諸大夫石田藤原氏

高仰(同) 高爾(同) 葛治(一三八一) 角膜(同) 高爾(同) 葛治(一三八一) 重厦

同諸大夫中川中原氏

定盛(!三八一) 清定(同) 定時(一三八二) 嘉時(間) 定志(同) 定春(一三八三) 任軍 氏 (一三八八)

(同) 定醇(同)

存調(一三八四) 養陳(同) 麻維(同) 歳縄(同) 成總(一三八六) 成節(同) 成總(一三八六) 成節(同)

同侍山本藤原氏

直安(二三八六) 明命(同)

同侍湯口藤原氏

見 発繹(二三八七) 好直(同)

氏一(一三八八) 好昌(同)

一八二九

地下家傳 目錄

同侍淺利源 同 正信(同) 幸宮(二三五七)

同侍祭貞 主「〇二三五七) 主信へ同し

同侍後滕藤原 立幹(二三五八)

勝之(二三五八)

德大寺家諸大夫物加波藤原

(同) 懷斯(二三六二) 護懶(同) 懷斯(同) 懐瑕(同) 懐露へ三六し懐差 懐賢(二三六〇)

同諸大夫炎川元因幡藤原元平氏

東負(一三六四) 康民(同) 孝鑁(一三六五) 康彦(同) 康彦(同) 康彦(同) 康彦(同) 康彦(同) 康彦(同) 康彦(同) 康彦(四) 東彦(四) 東彦(西) 東彦(四) 東彦(西) 東帝(西) 東彦(西) 東帝(西) 東帝(西) 東彦(西) 東帝(西) 東帝(西)

同諸大夫小川藤原

正覧(同) 正當(一三六九) 正方(同) 正頂(順)(同) 正祥(一三六八) 正刑(同) 正貞(同) (何) 正盾(二三六七) 正弘(同) 正好(同)

同諸大夫掘川藤原元源氏

久豐(同) 息篤(同) 久民(一三七二) 師久(二三六九) 久忠(同) 久隆(二三七C)

同侍芝木藤原

電昌(二三七 こ こ こ 軍漢(同) 豐養(同)

同侍香川平

同侍滋賀大伴 景柄(二三七二) 景樹(同) 景恒(同)

同侍水剪藤原

秀起(二三七二)

電直(二三七三)

同侍山岡大伴 忠芳〇二三七三

同侍柳田源氏 光高(一三四〇) 光完(同) 光等(二三四二)

同侍和木源氏

光行(局)

富久(二三四一) 宮鄰(同)

同侍村林源氏

義龍(二三四二)

同侍村上源氏

西國寺家諸大夫西村原

正直(一三四五) 正邦(同) 正能(同) (一三四四) 正秀(同) 正員(二三四三) 正豐(同) 正冠(回) 正郷(同) 正好(同) 正親 正次

高諸大夫井上藤原氏

同

吉定(二三四六) 是定(同) 是甫(同) 豐朮

地下家傳

目録

(同) 嗣武(二三四七) 正泰(同) 正文二三

四人)

同諸大夫芦田源

(同) 珍賢(同) 珍敬(同) 珍位(一三五〇) 珍愛 直經(一三四八) 珍斯(二三四九)

同諸大夫幸前元玉川源

元德(同) 元正(同) 元輯(一三五二) 元任(一三五〇) 元統(二三五一) 一景(同)

同諸大夫濃崎橋

義質(回)

(回) 直合(同) 正教(同) 正廣(同) 充興(一三五四) 秀勝 正元(二三) 正要(同) 正明(二三五三)

同諸人夫藤井藤原

尚宜(二三五五万) 文宜(同) 伯弼(同)

同侍山久知後山口藤原

正鄭二三五六) 正四(同) 正俊(同) 正

一八二七

嘉辰(同) 忠辰(同) 軍辰(一三二九)

同侍伊藤源氏 源氏義(一三二九) (氏庸。同) 源氏保(一三三〇)

同侍倉光平氏 忠篤(二三三〇)

同侍岩田藤原氏 軍矩(二三三〇)

同侍藤木加茂氏 保矢(二三三)

同侍山本平氏

同侍田中藤原氏 道貫〇一三三一 有好〇二三三一

同侍小畑秦氏 宗文八三三〇)

> 同侍南部源氏 正符(三三三)

第二十四冊(○洋米四)

三條家諸大夫入江藤原氏 則通(二三三四) 則茂(同)

則宗(同)

(同) 則無(十三三五) 則順(同) 則精(同 則德(同)

同諸大夫森寺源氏

同諸大夫丹波平氏 常倫(同)常安(一三三八) 常勝(二三三六) 常良(一三三七) 常政(同) 常邦(同)

正聲一三三九)

正敬(同)

正高(同)

正庸

同諸大夫森嶋藤原氏 正秀(二三四〇)

同侍園井殿原氏

同侍大學橋氏

則敬(二三二〇)

同侍嶋津源氏 利宜(二三一六)

正何(二三一七) 民華(同)

同侍嶋岡藤原氏

(二三八) 俊殿(同) 定保(二三一七) 俊在(同)

俊章(同)

俊德

同侍田中源氏

同侍芳川源氏 武安(二三一八)

武種(同

萬壽(二三一九)

盛昭(同)

同侍安藤藤原氏

光遠(二三一九)

同侍武藤源氏

胤久(一三一九)

地下家傳 目錄

网幹(二三二〇)

諸大夫 送井藤原氏 光佾(同)

國版(二三二一)

同諸大夫田中橋氏 同諸大夫平田秦氏 元德(二三二二) 元治(二三二三) 元雅(同) (同) 元路(同) 元格(同) 元數(同) 元野(二三二四)

同諸大夫木村源氏

正職(二三二七) (同) 正章(二三二六) 正延一三三五

五重(同)

正躬(同)

正軌(同)

正萬(同) 正如

秀辰〇二三二七) 定長(一三二八) 安辰(同)

一人二五

(同) 滑稔(同) 弘顯(二三〇二)

同諸大夫藤木加茂氏

成裝同)成基(同)成城(二三〇四) 成宗(二三〇二) 成恒(同) 成壽(二三〇三)

同諸大夫中川春原氏後改藤原氏

(同) 長平(一三〇七) 長貞(同) **長章(同)** 長真(同) 長綱(一三〇六) 長考 元言(一三〇四) 元陳(同) 元盈(一三〇五)

同諸大夫豐嶋平氏

茂文(同) 泰盛(同) **勝文(二三〇七) 茂徽(二三〇八)** 茂達(同)

同諸大夫聚津縣原氏

清直へ二三〇九) 義海へ何) 義勢(同)

(二三10) 義箭(同)

同諸大夫矢嶋和氣氏改爲平氏 宗在(二三一一) 貞玄(同)

貞實(同)

氏貞

毘平〇二三一六〇

同諸大夫細川源氏 (同) 永弘(二三二二) 貞隆(同)

同諸大夫藥師寺平氏 常成(二三二) 鎌充(二三一三)

盛保(二三二三)盛芳(同)

昆平(同)

同諸大夫樋口菅原氏 宗恭(二三一四)

同諸大夫國府谷

同侍青山源氏 盛純(一三一四)

同侍前川藤原氏

嘉峯(一三一四)

清穀

同侍高橋縣原氏 茂輝(一三一五) (同) 茂矩(二三一六) 茂徽(同)

茂行

茂達(同)

八九) 宣由(二二八八) 秀叙(同) 秀盈(二二 秀紙(回) 秀明(同) 宜衛(同) 美盛(二八七) 國益(同) 秀倩

同諸大夫生嶋平氏

へこれこ 儀面(二二九二) 秀将(一二八九) 成房(同) 秀貨(同) 秀就(一二九〇) 紀衡(同) 秀衙

同諸大夫尾崎大件氏元件

正之(何) 正康(同) 春房(一二九四) 宥約(二二九二) 间 庸兄(二二九三) 以樹(同) 長尚(同) 助岑(同) 積興(同) 一與(二二九五) 忠興(同) 兄題

同侍朝倉日下部氏 爲央(二二九五) 恭養(一二九六)

同侍瓜生源氏 好晴(二二九六) 竹圓(同) 竹良同)

地下家傳

月歸

同侍高木源氏 同侍废庭照氏 同侍新止縣原氏 重興、一二九七 電爲(二二九七) 重卿(同) 軍寬八同人

恒業(二二九八)

祐倫(一二九八)

同侍渡邊源氏 幸雅(二二九八)

同侍塚田源氏 季場(二二九八)

同侍牧機原氏 定起(一二九九)

諸大夫 山本 加茂氏

免季(同) 永久(二二九九) 一年(二三〇一) 枝久(同) 客組(同) 麻鳩(二三〇〇)

一八二三

同諸大夫三木源氏

善親へ二二七五) 善機(同) 善從(二二七六)

雅見(二二七六) 雅胤(同) 雅雄(二二七七)

同諸大夫小川藤原氏元入江賜舊号而改小川雅惟(同) 雅善(二二七八)

同諸大夫堀內賀茂氏 則能(同) 則村(二二七九)

荣清(二二七九) 清立(二二八〇)

信友(二八〇)

直興(二二八一)

安明(二二ス一)

同侍泉原源氏

重長へ良ソニニハニン軍愛(同)

開催ニュバニン

備(二八二) 治(同)

同侍御牧源氏

景基(一二八二) 景福(同

成美二八三人同侍吉田源氏

成美(二八三)

桂宮諸大夫生嶋平氏

盛(同) 秀成(同) 宜縣(二八六) 永縣(同) 相對(同) 始對(同) 附孫(二八五) 行野国性(同) 維賢(同) 附孫(二八五) 行野国性(同) 維賢(同) 明孫(二八五) 行野田(同) 建筑(同) 超贫(同) 超贫(同) 超

義県(二六二)

應司家侍姓際原稱号岡本 この事女、 司家侍 姓藤原稱号大原トシ別家トス」 (一二) 寛教(二二六三) 寛濟(回) 實際(同) 岳・望

應司家侍姓藤原稱号片山

吉孝(二二六四)

應司家侍姓機積稱另鈴木

、鷹司家侍姓藤原稱号高城人 軍任(二二六四) 軍弘(同)

應司家侍性和氣稱号西田元源姓 (則忠 二二六五 芳忠 同)

應司家侍姓紀稱号能斷 直温(二二六五) 載功(二二六五)

地下家傳 目錄

應司家侍姓源稱号山本 世家(二二六六)

第二十三冊(〇元米五)

伏見宮殿上人著江姓菅原

在公(一二六八) 理長(同) (同) 公識(二二七〇) 州長(同) 長統(同) 登長(二二六九) 長山(前) 候伏見殿長近(同

同諸大夫津田平氏 宗通へ二二七二)宗遠(同)

间 惟琇(同) 宗元(二二七三) 存達(二二七二) 文起(同) 惟新(同) 宗氏(同) 方宗

同諸大夫後藤藤原氏 同 基紀(同) 有紀(同) 義紀(二二七五) **爲祀** 時紀(一二七三) 榮紀(何)

正紀(二二七四)

雑木(二二四一)

侍姓紀稱号坂本 「直覧」11四1) 喜直(11四1)

信龍(二二四二)

應司家諸大夫姓源稱多青木後改藤原

吉順(一二四六) 嘉縣(同) 嘉英(二二四三) 高順(一二四六) 高等(同) 高利(二二四五) 高邦(三二四五) 高邦(三二四五) 高邦(三二四六)

應司家諸大夫姓鴨稱多小林改藤原

鷹司家諸大夫姓藤稱号高橋

俊知(二二四九) 俊信卿(一二五〇) 俊秀(同)

五二) を朝臣(111五1) (後職朝日 同) 俊美(111 を興(同) 俊澄(111五1) 俊壽朝(同) 俊

應司家諸大夫姓藤稱多牧

(二二五六) 義修(同) 義子(二二五七) 義唐(二二五六) 義條(同) 義子(二二五七)

應司家諸人尺姓藤維多種田

直行(同) (真明 二二六一) 嘉純(二二五八) 直行(同) (真明 二二六一) 嘉純(二二五八)

應司家侍姓源稱号關口

應司家侍 姓源稱号黑田 養代(同) 養牧(同)

應司家侍姓源稱暑藤并 成則(同)

(二二五五) 常敬(同) 一间 定倫(同) 常文(同) 常定(同)定矩(一二三)定直(同) 久欄(一二二二) 愛敬(二二二四) 常成(同) (有常 定次(同) 定愛

條家諸大夫姓藤稱多保田 孝利(同) 利鄉(同) 利祿(同) 利濤(二二 b) 忠辰(同) 敬忠(同) 克忠(二三八) 清忠(同) 孝忠(同) 利忠(同) 盛福(二二 恵規(二三五) 武忠(同) 行忠(二三六) 九) 義路(同)

條家諸大夫姓藤原稱另人江

條家侍姓藤原稱号若松 (同) 則恭二二三三 則信(同) 則明(同) 則韶(一二三二) 則做 (同) 則量(同) 則具(同) 則飨(二二三〇) 則逋(同) 順賢(計)(順義 同) 則房(同) 則定一二三二 間間

一條家諸大夫姓源稱多鳥山 (同) 水貫(二三五)

古祀(二二三五)

條家侍姓藤原稱号森澤

長治(二二三六) 長難(同) 長興(同) (長肪 長年(1111日七)

條家姓賀茂翔号岡本 保考(二二三七) 胡保(二二三八) 保誠(同)

條家侍姓源稱岁丹下

中昌(二二三九) 善勝(同)

一條家侍姓源稱多佐々木

善明(同) 最明(二二三九) 明强(二二四〇) 允明(同)

一條家侍姓源稱号下橋

永壽一一條家侍姓藤原稱号莊林 敬之(二四〇) 敬義(二四一)

地下家傳 目録 盛貞(二三四) 盛秀(同)

直古(同)

命館〇二二一四人

山口源 信變(二二五)

直恒(1111五)

正澄(二二二六)

正定(同)

高田源 義紹同

山本賀茂

敷久(二二一七)

賴文二二七)

傾恒(同)

(傾直 一二八)

關口藤原

常範(一二一八)

徳常(司) 徳惟(二二八)

和貴(二二八)

喜頭源 徳清(二二一九)

時富(ニニー九)

熊谷平氏 藤木賀茂 解頭(111110)

直離、矩〇二二二〇)

定多い同) 嘉通(二二二一) 常久(同) 一條家諸大夫姓藤原稱号難波

常弘一二二

(1101) 康基(同) **は**へここ○○) 長無へ同い 泰綱(同) 泰寛(二二〇一) 泰古(同) 泰弼

西村源

世廟(同) 世發(二二〇四) 世賊(同) 世延正孫(二二〇三) 世延

河野

同

通是(二二〇五) 通峯(同) (1110六) 通賢(1110七) 通和(同) 通敏

藤木賀茂

輝寛(同) 軽文二二〇九) 達願(二二C七) 井願(二二〇八) 做願(同)

松波藤原

資品(二二〇ル) 光華(同) **養施(二二10)**

地下家傅 目錄

増直(ニニーン 直之(同)

規保(同)

(藤木賀茂) (軌頭 二二二二)

廣利源

北大路賀茂 息明(111111)

季備(11111)

櫛田橘

山本賀茂 久化(二二三)

久之(同)

直常(二二四)

小西藤原

晃順二二三

村田源

茨木藤原 房茂(一一八五)

田村坂上 直方〇二一八六

勝復八二八六

上田源

芳卿(二二八六)

池永源 三裕二八六

三省二八七

松井源

寺島源氏 天帖(一一八七) 寬體(一八七)

松本源氏 正直(一一八八)

> 第二十二冊 (〇円本四)

(一一九一) 康實(同) 高能(同) 腹髮(同) 廣大(同) 後親(同) 廣東(同) 腹壁(同) 廣東(同) 獨生(同) 獨生(同) 至月 廣林(同) 貞熱(一一九五) 廣實(青)(同) 廣家(同) 廣有(同) 廣世(同) 廣實(同) 俊母(名)((信)(俊貞(自)(一九二) 俊晴(同 (同) 廣禍(同) 廣峨(二一九四) 廣明(同. **廣名(同)** 福発(同) 福明(一一九三) 福昌 遠經(一一九〇) 茂範(同) 雅亮(同)

北小路大江

(一一九六) 俊京(同) 俊俗(同) 俊恒(同) 邮仲經(一一九五) 仲酉(同) 光仲(同) 師仲 (同) (俊秀 同) 俊雄(同) 俊正(同) 俊隼(一一九九) 俊寿(僧) 俊章(一一九九)

延(同) (同) 爲重(同) 爲岑(同) 爲为(同) 爲 樂縣(同) 長縣(同) 周可(一一七七) 存直 有長(一一七五) 乗長八賢以一一七六) 行長(同)

山本藤原氏斷絕

秀康、泰八一七八 軍泰(同) 慶素(同)

瓦林源斯絕 重相(一一七八)

村林

(同) 喜勝(一一八〇) 永勝(同) 守勝(同)

勝林

同

戶田藤原

久實(一一八〇) 久次(同) 久充(同)

佐々木源

高安(二八一) 安奉(同)

地下家傳

目録

外安(同)

日夏大中臣 典真(二八二)

質信(一八二)

典從(同)

島田楠

勝富(二八三)正就(二八三) 正原(同) 正龍(同)

正辰(何)

山村源

則寒二八三 寬備(一一八四)

平井源

山田源 堯陽(一一八四) 方岡.同)

伴源

知道(一一八四)

篤館(一一八五)

貞殿(一一八五)

森澤菅原

一八一五

在德八同) 魏(同) 瀚利(同) 利延(同) 金利(一一五二) 顯 (同) 在守(同) 在邦(二五四) 在正(同) 利自(同) 利實(同) 在實(一二五三) 聖安(同) 在安(一一五一) 數安(同) 在利

矢野藤原氏

正興(同) 泰興(同) 清眞(一一五九) 長(二五七) 組以(同) 鄭美(二五八) (輔)長(一)五六) 顯長(同) 數紀(同) 別長(同) 家治(一一五五) 敷治(同) 治清(同)

朝山元大伴勝部

景連(一二五九) 義景(一一六〇) 師綱(同) (同) 廣、慶·綱(同) 綱忠(同) 某(同) 利綱 (局) 宗信(二六三) 宗展(同) 軍信(同) 信濃小路源氏跡絶 人綱(ニー六二) 幸綱(同) 音信

芝源氏 正綱(二一六四) 有綱(同) 季綱(二二六五) 茂修(同) 敦綱(一一六六)

朝山庭流源氏 朝臣(一一六九)實寧朝臣(同) 廣光(一一七〇) 李錦(同) 和廣(一一六八) 秀随(同) 實点 (一一六七) 信忠(同) 季柄(同) 季福(同) 廣秀(一一六六) 盛親(同) 治恒(同) 光信

敬長シニー七〇) 義連(同) 常清(ニ・七二) 義延(同)常順(一一七二)

塩小路菅原唐橋諸流

光高(二十七二) 光賞(同) 近貫(二十七三) 經之(同) 光德(同) 光学(同)

宇網橋氏

重部(一一七四) 軍幸(同)軍國(二一七五)

範集二四〇 (同) 建

範於一 一四〇

菱木源氏

主忠(一一四一)

安平治藤原氏 邦第二四一 邦較(同)

仙石源氏 秀林(一一四二)

間谷藤原氏 恕昌(二四二)

蝌汇清原氏 清信二四二

陸山藤原氏 秀雄(二四二)

地下家傳 目錄

康雄(一四三)

森島藤原氏 信濃小路到宗增爲積氏 行見(同) 長俗(同) 季重(一一四九) 季周(同 间 **輸風(同)** 長俊(同) 同 康榮二四三) 長前(一一四七) 長尚(同) 長起(一一四八) 則忠(二四三) 增(同) 宗道(一一四六) 宗縣(同) 長恒(同) 象為(同) 長縣(同) 周可(同) 俊思〇一 光具(同) 鎌邦(一)四五) 周長 有其(同) 一四四) 道成(同) 兼賢(同) 季號(同) 季廣(同) 策長(同) 行長(同)

石井宇治元菅原

清安(同) 利宗(一四九) 利季(一一五〇) 政安(同) 親安(同) 伯瞻直 #國(圖)建(同) 宇治安信(同) 安平(同) 直利(同

八八二

邦信(同)

元時(二二三

```
加治藤原氏
                             松本秦氏
                                                                              ○ 一大路藤原氏
                                                                 中原源氏
                      學之(二二三四)
松本奉氏
                                             [ 株大神氏
                                                                                            佐人間藤原氏
                                                    軍威(二二三二)
 正室(二三四)
                                       惟忠(一二三三)
                                                                        孝康(111111)
       正休(同)
                                      忠誠(同)
                                                          重均(同)
                                                                         奉行(同)
                       元憲(同
                                                          重數( - | | | | | | |
       正致(政)同)
                                                                        孝由(同)
                   渡邊源氏
     吉村源氏
                                 木村藤原氏
                                               木村藤原氏
                                                              清水源氏
                           治員〇一二三八
                                         治成二二三八
興貞へ一二三九ン
              雄(二二三九)
                                                                            元陳(同) 元好(同) 元淳(同)
                                                                                               邦章(一三五)
```

亮張(同)

佐信(同)

治林(同)

治度同

治之(同)

松井藤原氏

立野源氏

超隆(同)

明覚(二一四)盛章(同) 房清(同) 昌全 叙光(一二七) 叙胤朝臣(同) 朝臣(同) 片賢(一一一五) 基水(同) (版)(回) 元城(何) 昌盛(同) 本盛(同) 俊盛朝臣(同) 完툟(同) 工 111) 基重(同) 基任(同) 伊人二二三 叙定朝臣(111六) 叙泰(同) 叙全(同) 爲傾(同) 吉信(一一一) 基成(同) 基夏(同) 願某(同) 超其(同) 元月(同) 叙昌朝臣(同) 基島(同) 伊姆(同)

北小路大江氏 今大路藤原氏 俊宜卿(一一七) 俊泰卿(同) 俊永朝臣(一一 (同) 俊厳(1110) 光定朝臣(一二二一) 光好朝臣(同) (111九) 俊里(同) 俊直卿(同) 俊孝朝臣(同) 俊冬(同) 俊德(同) 孝在朝臣 俊任朝臣 俊記朝臣 俊良(同

> (同) 孝道朝臣(11111) 孝允(一二二四) 朝印(同) 孝行(11111) 幸山朝臣(同) 孝知(同)

佐竹源氏

義方(二二四) 道威(回) 電政(同) 重賞(一二二六) 軍勝朝臣(一二二五)

中川藤原氏淮藤庶流

長屍朝臣(同) 長延(一二八) 長駅、一二二六) 長統(一二二七) 長雌(同) 長裔朝臣(同)

山科藤原氏進藤庶流

小山藤原 範止(一二元) 長與朝臣(面) 長從朝臣(同)

長数(同)長好(一二三)

長頭(一二二九) 範春(一二三〇)

範續(同)

田中源氏 機(二三)

地下家傳 目錄

院、雅色。座田姓紀 院、爾) 憲憲(一〇九三) 養文(同) 義一(同) 「大古(同)」 國文(同) 國雄(同) 有

院 雑色 座田 錐紀 院 雑色 座田 錐紀

(同) 維貞(同) 維貞(一〇九八)

院維色原田姓橋

清青(一1〇一) 自當(同) 元俊(同) 元信

齋藤藤原氏

(同) 元費(同) 元敷(同) 元長(同)

第二十一冊(〇刊茶館)

泰長(同) 寫輔(一一〇四) 成道(同) 成家(同) 良成(周) 臣(同) こう高兄の同 同)長能(一一〇)長順(同)長職(一一 友定(鬼)(同) 長富朝臣(同) 長定朝臣(同) 長房卿(同) 長之朝臣(二一〇七 致寒へ同) 高節(同) 利節(同) 長治朝臣(一一〇六)長邀朝臣(同) 長成(何) 爲成(一一〇五) 爲重(同) 幸泰(同) 俊家(同) 爲宗(同). 用長(同) 泰川(同) 長堅朝臣(一〇八) 長興朝戸(一一〇九) 長泰朝片(同) 長英朝 泰親(同) 泰黒(同) 長範(同) 長 長盈同 長從朝西

時代(同) 「「一〇七二」」 「「一〇七二」」 「「「一〇七二」」 「「「一〇七二」」 「「「一〇十二」 「「一〇十二」 「「一〇十二」 「「一〇十二」 「「一〇十二」 「「一〇十二」 「「一〇十二」 「「一〇十二」 「「一〇十二」 「「一〇十二」 「一〇十二」 「「一〇十二」 「「一〇一」 「「一一」 「「一」 「「一一」 「「一一」 「「一一」 「「一」 「「一一」 「「一」 「「一」 「「一一」 「「一」 「「「一」 「「一」 「「一」 「「一」 「「一」 「「「「一」 「「一」 「「「一」 「「「「一」 「「一」 「「「一」 「「「「一」 「「「「一」 「「「「「一」 「

上御倉立入姓藤原

抵負(一○七七) 宗峻(同) 宗敬(同)

忠職(一○天○) 忠顕(同) 忠鸞(同) 忠戭(一○七九) 久任(同) 忠戭(同) 忠戭(同) 忠尉(同) 忠耿(同) 忠秋

高所預奉日後岁上佐姓藤原

地下家傳 目錄

(同) 光秀(同) 光長(同) 密 (同) 光秀(同) 光正(同) 光風(同) 光秀(同) 光元(同) 相保(一〇八三) 成(同) 行光(同) 経理(同) 相保(一〇八三) 成(同) 行光(同) 経理(同) 光重(同) 光度(同) 光元(同) 光重(同) 光 (同) 光茂(同) 光元(同) 光重(同) 光 世(一〇八五) 光超(同) 光流(同) 光重(同) 光 光茂(同) 光元(同) 光重(同) 光 光光(同) 光茂(同) 光重(同) 光 光光(同) 光元(同) 光重(同) 光 光光(同) 光元(同) 光重(同) 光 光光(同) 光元(同) 光重(同) 光 光光(同) 光元(同) 光重(同) 光 光彩(同) 光元(同) 光点(同) 光 光彩(同) 光空(1〇八八)

上佐藤原

光真(二〇八八) 光空(二〇八九) 光澄(同)

院雜色田中姓藤原

御厨子所預高橋姓紀 內膳進物所膳部中川 內膳進物所膳部和田 內膳進物所膳部喜多川 內膳進物所膳部近藤改木田 內膳進物所膳部吉岡 內膳進物所膳部須藤 內膳進物所膳部松下 平正邇(一〇五八) 源重矩(一〇五八) 藤原榮福(一〇五八) **繆原益清(一〇五七)** 際原往吉(一〇五七) 作季行(一〇五七) 滕原昌榮(一〇五六) 藤原康長(同)

> 宗孝へ〇六五)宗孝へ同)宗愛へ一〇六六) 宗定(一〇六三) 宗恒(同) 親宗(同) 中正 宗衡(同) 宗教(同) 宗治(同) 宗好(同) 宗信(同) 宗長(同) 宗接(同) 宗基(同) (一〇六四) 宗直(同) 宗澄(同) 宗之(同) (同) 宗願(问) 宗願(一) 宗親(一) 宗親(一) 宗親(一) 宗親(一) 宗親(一) 宗起(同) 李弘 (同) 宗季(同) 宗成(一(五九) 宗政(同) 宗兼(同) 宗尚(同) 宗隆(一〇六〇)

御厨子所大隅姓藤原

正義(一〇六六)正直(同)正席(一〇六七) 正勝(同) 正微(同)

御厨子所大隅姓藤原

九) 魔人(同) 信敦(同) 信字(同) 信正 有經(一〇六七) 信豐(一〇六八) 紀元(同) 有元(同) 有秀(同) 信治(同) 信時(一〇七〇) 脂傷(同) 秀信一〇六 徳豐八同) 孝治(同)

山本姓源氏 經安(一○四五)

行数(一〇四五)

守條姓藤原 典樂寮史生稱号大津留 守一〇〇四六) 義之へ同)

同 太神公官(一〇四六) 太神惟明(同) 太神惟修

典樂寮史生稱号日比野 (年孔武 一〇四七)

第二十冊(〇四本三)

內膳司姓高橋稱多濱嶋 清實(一〇四九) 清茂(同) 清信(同) 清貞

清兼(同) 清是(定)(同) 清秀(同) 清康(同) 清房〇〇五〇)清秀

> 清(一(五一) 等庭(同) 清章(一〇五二) 同 清本(同) 質庭(同) 清廉(同) 清長(同) 清定(回)

內膳司史生,姓源姆多南并後松井又村岸

內膳司史生姓藤原北川改智藤 廣衢(回) 治(同)

定雄(一〇五三) 文芳(同)

忠久〇〇五四) 忠晴(同) 教達(同)

內膳司史生姓橋

內騰司史生姓源佐々木後河野 定綱(一〇五五) 定斯(同) 春曜へ一〇五五万 春陶(同)

內膳司史生姓藤原豐吉後鴨池 內膳司史生姓藤原射場 資尚(一〇五六) 軍俊〇一〇五六〇

地下家傳 日餘

一八〇七

河原姓藤原 中山姓平氏 豐間姓藤原 山科姓源氏 質展(一〇四〇) 元淑〇〇四〇) 之紀〇〇三九〇 (一四〇一)種類 克淳(一〇三七) 徳輝(同) 賴泰(同) 實德(同) 元行(同) 淳信(一〇三八) 實保〇〇四一

> 篤信(〇四) 正純(同) 信達(同)

正叙(10四1)

山口姓源氏

藤高(10四二)

滿守(一〇四三)

馬嶋姓源氏

弘量〇〇四三)

弘隼(同)

三角姓源氏

西尾姓源氏 有孝(一〇四三)

有儀(一〇四四)

謙道(□○四四)

議紹(同)

麻生姓藤原 國敏(一〇四四)

國旗(一〇四五)

高階姓高階

憲(101四) 晋(101)五) 登(同)

山本姓源

随〇〇二六〇 正文(同)

高階姓高階

茂井姓和氣 経度(一〇二七)

輕由(同)

秤總(一〇二八)

作字〇〇二八〇

伊良子姓源

三角姓藤原 光通〇〇二九

光敬(同)

光順(同)

有裕二〇三〇) 有尙(同)

有紀(同)

太川姓源 庭之〇一〇三二)

成式(同)

徳柄(一〇三二)

岡本姓平後賀茂氏

尚實(10三大)

川越姓源

地下家傳

目録

作文(10三二)

賀川姓源 和田姓平 泰中〇〇〇三三〇

補定(10三三)

滿殿(10三四)

百々姓級智

(四三〇二)

滿景(同)

俊達(一〇三五)

山科姓源

小林姓源 元敏(一〇三五) 元旗(同)

神胤(10三六)

具訓(同)

其里(同)

保純(同)

有邦(同)

正版(一〇三二)

保之〇〇三七) 一八〇五

吉田姓源

有高(一○○四) 有親(同) 有良(一○○五)

大黑 姓安倍

有道(同) 有光(同) 有章(100七)有道(同) 有光(同) 榮杵(同) 有章(同) 有範(同)

常心(二〇〇八) 常正(同) 常蔵(同) 常青(一〇一〇) 常売(同) 常則(同) 常蔵(同) 常倫〇一〇) 常売(同) 常徳(同)

常盛(1011) 常時(同)

成置(同) 成重(最) 成親(同) 成親(一) 成實(一) 成群(同) 成光(一) 一门) 膝木 如智古

○二三) 成章(同) 成高(同) 成 成滴(一○一五) 成邦(同) 成高(同) 成 (一○一五) 成邦(同) 成高(同) 成 (一○一五) 成邦(同) 成高(同)

藤木姓加茂

平成(同) 篇平(同) 静顯(一〇一八)

成孝(一〇一八)

北小路又稱安鹽姓源

德威(同) 德純(紀)(同) 元貞(一〇二四)

辻

則安(九八七) 近良(同)

則武(九八八) (近德 同)

田原 近藤(同)

藤原豐元(九八八八) 部年(同) 秀脩(同) 秀知(九八九)

第十九冊 「〇刊本三」

幸德井姓加茂 定統一同 定平(同) 保護(九九一) 成平(同) 定保(同) 宗憲(同) 定秀(同) 光榮(同) 守道(同) 周平(九九二) 定名(同) 定守(同) 定弘(同) 定員(同) 憲定(同 道中(同)

> 雅(同) 保敬(九九七) 友景(回 保敷(同) 保篤(九九六 友種(九九五) 保教(同 保質(九九九) 保源(同 保屋(同) 友郎(同) 保養(九九八) 保高(前 友信间

保行(同) 保章(同)

小泉姓源氏 (同) 有禮(一〇〇一) 有遺(同) 有質(一〇〇〇)有整(同) 有隣(同)

繁原姓安倍土御門家庶流繁原专相觀 有名(1001)

星合姓藤原

三上姓源 博文(10011)

壹岐妣 成元(100二) 在道(100日)

政則(100111) 政恒(同) 政由(100四)

地下家傳 目錄 友幸八同人

发軍(九九三)

友延(同)

友榮(九九四)

友帖(同) 友忠(同)

友豐(同) 友胤(同)

重治(九八四)

藤原師益(九八一

小野獅絕 藤原有矩(九八二)

富島

藤原季興(九八二)

山中斷絕 源元教(九八二)

大江清忠(九八二)

大澤斷絕

星坂斷絕 藤原軍好(九八三)

正重(九八三) 正春一同

世續 賀茂成重に量いて九八三)

藤原重廣八九八三

中原章堅(九八四)

章柳(同)

松波斷絕

立入

藤原宗益(九八五)

藤木斷絕 賀茂守直(九八五)

擊直(同)

東辻

賀茂保第八九八六八

五十川

質茂司百(九八六)

藤木與張(九八七)

勢多

藤原光祿(九八四)

直安(同)

充直(九八六)

大石氏稱多堀川本職檢非違使 守弘(九六八) 延弘(同) 養弘(九六九) 脛と(ル六六) 仲(同) 綱之 九六八) 杯邦(同) 親之(九六七) 思 秤

大石氏稱多姉小路本職檢非違使 弘(同) 類弘(同) 宜弘(同)

弘毅(ルニ〇) 弘成(同) 弘信(九七一) 弘隆

下毛野氏 稱琴元謝子改富 本職近衢府 敦寅(九七三) 敦邦(同) 敦利(九七二) 敦忠(同) 俊職(同) 敦近(同) 武負(同) 武音(同) 敦光(同) 教方(同)

程茂に何岁藤不 榮(同) 昭直(九七五) 治直(同) 職直(九七三) 弘直(九七四) 中直(同) 直元(九七六) 直親(同) 直

地下家傳 目錄

賀茂氏羅号閩本

貢清(ル七六) 温油(同) 清崖(同)

清士(九七七)

灣

賀茂氏稱多岡本

要清(九七八)

清度(同) 清永(九

井家断門 七九)

藤原豐家(九七九) 豐水(同)

河端斷陷

春(同) 通久(同) 藤原親郷(九八〇)

通次(同)

通氏(同)

通

速水斷絕

速水磁絕 藤原時征(九八一)

室津斷絕 藤原信盛(九八一)

八八〇二

名(同) 重演(九四一) 重泰(同) 重昌(九三九) 重教(同) 重田(九四〇) 尚(同) 重持(同) 重基(同) 重承(同) 軍秀(九三七) 光軍(同) 光好(九三八)

殿原氏冊号松波

養生(九四四) 光邑(同) 養承(九四五) 光 光教(九四二) 光任(九四二) 光直(同) 光建 萬(同) 資之(九四六)

賀茂氏稱号岡本

氏足(同) 氏臣(九四九) 四七) 氏裁(同) 氏梁(同) 氏屦(九四八) 氏顯(九四六) 氏親(同) 氏磴(同) 氏生(九

質茂氏稱号岡本

三) 共満(同) 清庭(同) 清(同) 清稿(同) 清康(九五一) 網清(九五 清田(九四九) 清生(同) 清豐(九五〇) 森

賀茂氏冊号岡本

南部〇本文ナシン 清屋(九五三) 清可(同) 清房(九五四) 敏(同) 建清(同) 清靜(九五五) 清弼(同) 清省(九五六) 清仲(同)

賀茂氏稱号藤木

息直(九五八) 五九) 祈願(同) 住直(九五七) 直端(同) 温度(九六〇) 官直(同) 致直(同) 治願(同) 寛直(同) 周直(同) 直題九

賀茂氏稱号藤木

藤原氏稱号齋藤 倫(同) 保備(九六二) 保行(同) 有保(九六 保) **II)**

盛信(九六三) 利盛(同) 盛辰(九六四)

源氏稱号畑 盛瓮(九六六) 縣(同) 站路(同) 盛房(九六五) 德縣(同)

宗朝后 家仲(同) 示爾(同) 百頭(九〇九) 基定(同) 示芳(九一二) 電光二三 宗順九一二 光政(同) 光而(同) 甚指(同) 宗久(同) 廣局(同) 宗廣(同) 總道(同) 養宗(九一〇) 高電(制) 實達同 一 孟應(九 宗真(同) 宗弟(同

藤原氏腐凱速水

藤原氏稱号河端元速水 盛軍(九一四) 盛量(九一五) 盛道(同) 信灰(同) 希無(同) 光統(九一八) 宗征(九一七) 信友(九一六)信貞(同) 信奉(同) 邦統(九一一) 能盛(同) 信久(同) 信量(同) 類紀(同) 將統(同) 正統(同) 是益(同) 豐益(九 信音(同 裕益(同) 武益、同 安征(同)

地下家妈 日錄

| 「三」 | 大学(向) | 東谷(向) | 東谷(九二二) | 大学(同) | 東谷(同) | 東谷(加) | 東谷(九二六) | 東谷(同) | 直谷(九二六) | 東谷(同) | 直谷(九二六) | 東谷(同) | 直谷(九二六) | 東谷(同) | 東谷(和) | 東子(和) | 東子

腰原氏稱号速水

(同) 日益(同) 及為(同) 有益(同) 有益(同) 及為(同) 多為(元二九) 異益(同) 及為(九三〇) 基為(九三〇) 基為(元三〇)

際原氏稱号松波

| 大塚(同) 光東(同) 光東(同) 光東(同) 光東(同) 光東(同) とな(同) とな(の) とな(同) にな(同) に

七九九

藤原氏科学世樹

山田姓源 河北姓藤原 內藤姓藤原 御南召次 小山姓藤原 院藏人所樂 南大路姓賀茂 院藏人所衆七條姓源 院藏人所衆初川姓藤原 陳香(九〇〇) 房往(九〇〇) 宜(同) 久雄(同) 定功(九〇〇) 久定(同) 不顧(八九八) 必願(同) 則孝(八九七) 則與同) 信賀(八九六) 信誠(同) 勝久(八九八) 勝泰(八九九) 利久(同) 久 彦明(八九五) 明遠(同) 叙純(九〇一) 能願(同) 則榮八榮則公同以 明誠(同) 信賞(同) 叙久(同) 奥村姓平 井上姓源 山本姓賀茂 石川姓源 藤原氏稱号山形 飯室 第十八冊「〇門本三 季清(九〇八) 忠治(九〇四) 完願(九〇三) 忠原(九〇五) 美辰(九〇四) 紹治へ九〇二つ 信重(九〇一) 康清(同) 忠康(同) 任重(九〇二) 良弼(同) 志願(同) 紹喜(同) 憲海(同) 忠克(九〇五) 多願(同) 紹廣(九〇三) 重度(同)

俊宗(同)

一七九八

相起(ススニン 相晏八八三) 相貞(同) 胡

松室姓寨

橋本姓橋 道地(ス八三) 知誠(回) 和重(同) 重胤(同)

經安(八八四) 売直(同) 斃邦(八八五) 定枝(同) 堯枝(同) 應常(同)

泉亭姓賜 梢永(八八五)

秋川姓秦

親軍(八八八六)

松尾姓秦 相邦(八八八六)

松室姓秦

(松室姓秦天) 軍機(贈)(八八八)

地下家傳 日録

(道職 八八七)

院應官嶋田紀姓 院主典代井上 院非藏人所衆大石姓藤原 同 忠成(同) 源出盈八八八七) (頭恭 八八七) 道(同) (德直 八九三) 稲直(同) 直(同) 統直(同) 紀時直(八八九) 義直(八九二) 致直(同) 消直(同) 宗直(同) 高直(同) 信点(同) 忠長(八八八八) 親直(同) 保直(同) 定直(八九〇) 淳直(同) 基直(同) 明直(同) 久家(八九一 正直(同) 則直(同) 元(給)直(同) 房直八九三 遼直(同) 忠泰(同

院藏人所衆佐々木姓源 信敬(八九四) 信展(同)

信文同

信服(同)

一七九七

鴨 脚 姓 鴨	成章(同)	藤島「三生	七六) 相尹(同)	知氏(八七五)	松尾姓秦	七五)	言奏へし四つ	羽倉姓荷田	重仲(八七三)	松室姓秦	軍略(八七二)	松室姓秦	重帖(八七二)	松室姓秦
	既有と同じ	龙宮(司)	同	相匡(同)		(后)	言成「司」		重任(同)		重恭(八七三)		重綱(同)	
	製品の同じ			相堅(同)			言計へ司ン		重久(八七四)		5			
	多版と同じ	英式(司ン		相英(八		有物人	言変で		변	1				
松尾姓秦	雅(同)	松尾・	成直(八八一)	滕嶋姓春原	延兼(八八〇)	富川姓中臣	康(同)	公慶(八七九)	森姓秦	重往(八七九)	松室姓秦	重朝(八七八)	松宝姓秦	李富八八七八)
松尾姓秦	雅(同) 相右(アアこ)	-, -,) 成易(同)	際嶋姓春原	延兼(八八〇) 光久(同)	富川姓中臣	展(同)	公廛(八七九) 公史(八八〇)	森姓秦	(七九) 重敦(同)	松室姓秦	重朝(八七八) 重昭(同)	松宝姓秦	李富(八七八)
松尾姓秦		目目でしてい	_	 	J	富川姓中臣	展(同)		森姓秦	七九	松室姓秦	7	松室姓秦	李富八七八)

梅辻姓賀茂 與久(八大〇) 起久(八六二)

松下姓質茂

炭庭姓鴨 以久八八六十二

羽倉姓荷田 前信(八六一)

信査(の本文ナシ) 経重(八六二) 信賢(同) 信査(の本文ナシ) 経重(八六二) 信優(同) 信

吉川姓下部 **飨則(八六三)**
鏡條(同) 錬成(八六四)

健症(同)

岩橋姓春原 時(同) 良久(八六五)

友腊(八六六)

赤塚姓春原

地下家傳 目錄

正賢(八六六) 正逸(同)

山形姓藤原

宗賴(八六七) 宗弟(同)

藤木姓賀茂

佳直(八六七)

成直(同)

友真八六八

廣庭如藤原

吉田姓下部 站宣(八六八)

銀甲(八六九)

銀量(同)

象林(同) 象彦(同)

松尾姓秦 相基(八七〇)

相充(同)

摩木加茂

東辻姓賀茂初岡本 成量(八七一)

保太(八七二) 光保(同)

一七九五

盛纓(八五五) 盛秀(同)

土山秦氏 宣儒(八五五) 官順(同)

武利(八五六

政二(八五六)

政恒(同)

伊佐源氏

裕清(八五六

河合平氏 雅貞(八五六)

松田藤原氏

水口身人部氏

交好(八五七

盛忠(同

進藤藤原氏

光武(同)

守全八八五七)

山中大江氏元小田姓菅原

野孝(八五七)

三宅源氏 光教(八五七)

直威(八五八)

香山源氏 德弘(八五八)

小森姓丹波 第十七冊 「○元本三」

安田利羽倉姓荷田 信吉(八六〇) 粗房(八六〇)

一七九四

陽直(八四六) 直中(同) 直好(同) 直眸(胖)人四七) 常吉(八五二)

定数(八四八) 定保(同)

中川源氏 定達(同)

水口身人部氏

意看(八四八)

春君(同)

意直(同)

水口身人部氏 清肺(八四九)

義秀(八四九)

清體(同) 活廣(同) 清響(同)

義和(八五〇) 燕季(同)

山本源氏 義雄(八五〇)

河北藤原氏 房機(八五〇) 房直(同)

摩木泰氏

地下家傳 目錄

> (鳥山源氏。) 常敬(同)

(雅智 八五一)

松宫

戦信(八五二)

養機(八五二)

三澤源氏

入谷源氏 爲利(八五二)

爲俊(同) 爲睛(同)

爲政(同)

清宣《八五二)

海貫(八五三)

入谷源氏 長剩(八五三)

義長(同)

義行(同)

上田源氏

質品(八五四)

忠亮(同)

議道(同) 亮品(同)

西尾源氏

元悔(八五四)

一七九三

昌(同) 淑長(同) 長之(八二五) 淑範(同) 死長(同 長房(八二三) 長矩(八二四) 長治(同) 淑亮(八二六) 淑種(同)

鈴木紀氏

宗多(同) 伴寬(同) 宗名(八二八) 宗懋(同) 宗城八八二九 (長房 八二六) 長宣(八二六) 宗保(八二七)

鳥山源氏

三〇) 吉晃(同) 吉文(同) 吉貫(八三二) 青忠(八二九) 忠敦(同) 吉孝(同) 吉亮(八 吉利(同) 吉伸(同)

孝和(八三二) 澄崎(八三二) 爲群(八三四) 邦孝(同 爲之(同) 維清(同) 貞吉(同) 爲質(同) 從明(同 善(同)

供信(八三四) 供榮(八三五) 供久(同) 供

供永C八三七)(供壽C同) 閉(同)(喜橘・供音・八三六)供養(八三六)

山中大江氏

資全(八三七) 美秀(八三八) 秀品(同) 萬金(八四〇) 芳金(同) 泰金(同) 總金(同) 四一)成全(司) 泰全(同) 德全(八

山本源氏

份村(八四二) 份和(同) 備(回) 倘女(八四三) **尚芳(八四二)** 尚定(同) 倘

岸大路橋氏

持垣(八四三) 持行(同)

三宅源氏 三宅源氏 良意(八四四) 意博(八四五) 意誠(同) 意 禮(同) 持愼(同) 意言(八四六) 持敬(八四四)

(八〇二) 清秋(同) 快清(八〇一) 清貞(同) 清枝(同) 清秀へ同り

村雲海氏後改姓藤原

村雲藤原氏 種信(八〇五) 敬信(同) 主信(八〇六) 信生(八〇四) 信友(同) 信里(同) 近信(同) 何同)可信(同) 信途(八〇二) 信林(八〇二) 成信(同) 信之 信和(同) 信一(同) 藤原信定(同) 土山秦氏

070

猪信(八〇七

清信(同)

離信(同)

睦信(入

第十六冊 「〇世本江」

土山源氏 武國(八一〇) 武之(久)(同) 武慶(同) 武辰(八二二) 武貞(同) 武經(八二三) 武 源(同) 宜星(八一一) 宜真(同) 宽国(同)

> 鍋(同) 武宗(同)

弘雄(同) 武啓(同) 武廣(八一四) 武寶(同) 武柄(八一六) 厚典(八一五) 允豐(同) 弘花(同 常道(同)

武邦(同

半台(同)

沉贅(同) 武雄(八一九) (武久 八一七) 肯武(八一七) 武吉(同) 武和(同) 光武(同) 武昭(八一八) 武城(同) 近薬(器)(同) 近藤(八二〇)

土山秦氏

村田藤原氏 武午(入二〇) 武行(同) 《八二一

鈴木紀氏 武夫(八二二) 武備(同) 二三) 武英(同) 利恭(同) 武誥(八二三) 気臓へ同) 武速(同) 武濟(同) 武盛(人

水口身人部氏 水口身人部氏 三上秦氏 111上秦氏 清信(七八八) 重長(同) 精政(同) 景査へ七八二) 清遠(同) 保温(同 満行(同) 重清(七八三 常勝(七八三) 寛(七八二) 武衛(同) 武分(同) 八〇) 武美(同) 武春(同) 武房(同) 武重(七七九) 武嘉(同) 武途(同) 清輝(七八八) 清好(同) 清胤(七八七) 清長(七八四) 清旨(同) 元清(七八五) 清素(同) 成清(七八六) 常運(同) 清重(同) 常斐(同) 友英(同) 清定(同 即重(同 清重(同) 清直一同 清儀へ同 宗清〇同 常孝(同) 清友(同 清昌(同) 武則(七

清鎮(同) 清晃(七九〇) 清永(同) 冶章(同) 清章(同) 清和(七九一) 清季(同) 冶章(同) 冶章(同)

水口身人部氏

水口・外部氏
水口・外部氏

水口身人部氏

清麦(七九九)

清孝(同)

清贊(同)

清俊(同

清晉(同) 清房(同) 清楊(同

清高(七九八) 清弼(同)

(満定 七九八)

清澄(同) 清流(七八九)

盈清(同

清美(同)

下毛理氏體工

宜忠(司) 武俊(同) 武次(前) 久武(同) **近貫(山六六)** 敦季(同) 武春(同) 教行(上六〇) 武敬(同) 武忠(同) 武體八七六五) 武有(同) 武員(七六四) 武通(七六三) 武音(七六二) 吉ជ(同) 武隆(同) 武吉(同) **策行(同)** 近嬰(同) 冠正(同) 本近(回) 武婆同 公忠(同) 馆費(同 近政(同) 近端(同) 諸宜(七六一 近直(同) 冠道(同) 武俊(同 公武(同 **沉进**、同 武平(同 武弘(同

下毛野氏調子 州水(七六六) 武長(七六九) 武流(七六八) 武延(同) **汽道(同)** 武好(同) 就信(回)

治明(同) 武曹(邑)(同)

武行(同)

江夏八十

灯里(同)

冗聚(词

秦氏調子

日餘

(回) 图 重統(七六九) **近湖(同)** 短館(同) 寅正(同) 武貞(七七〇) 武靜(同) 武齊(七七一 面

富下毛野氏

風(七七三) 教允(七七一) 教榮(同) 教寅(七七二) 教邦(同)

三上秦氏

七九一、武順(同) 武次(同) 近面(同) 長用(七七三) 加重(同) 近一(前) 銀枝(回) 武ツ(七七五) 個次(同) 策方(七七四) 消滅(七七八) 飨任(同) 朝娘(同) 意陳(七七七) 氏(七七六) 国民(国) 公長(同) 頭瓜(同) 袋有(同) 知別(回) 武教(同) 公里(同 武喬(同) 武俊(回) 號信(同 五些人同 武供(同) 超光(日) 武方(何) 武将(同 銀清(同 號里(同 建統(同 で出げ

重崇(七

戶田加茂氏 和田平氏 野村橋氏 並河平氏 林藤原氏 五 克終(七五〇) 邦(同) 俊胤(同) 嘉時(同) 宜數(同) 嘉則(七四八) **倘美(七四七)** 總平(七四六) 都平(同) 持平(同) 敦國(七 四六〇 敷良へ七五〇人 同 四七) 充國(同) 秀高(同) 忠則(同) 軍友(七四五) 尚誉(七四八) 克享(同) 嘉富(同) 嘉業(七四九) 重安一同) 克永(同) 雄彦(七 軍秋C同 **尚教**(同) **東**海八十 嘉 優 平本藤原氏 飯室源氏 **茨木氏平氏** 赤尾平氏 聞田源 西池元寺澤賀茂氏 亮長(七五四) 厚(同) 義連(同) 忠信(同) 重任(七五四) 五三丁 滿綱(七五二) 五二 保形(七五一) 義矩(七五六) 義章(同) 統義(七五七) 政錦(七五五) 鏡駒へ七五三つ 孟綱(同) 保貞(同) 政共(同) 軍堅(七五五) 重麗(同 可官(同) **站願(同)** 軍敬(同) 政香(七五六) 可功(同) 庶願(七五四)

忠

山路平氏

信好(七三二)信姓(同)信敬(同) ED 信軽(同) 信其(且)(同) 信之〇七

船井源氏

正道(七三二)正道(七三三) 茂(同) 正盈(同) 正順(同) Œ

水川源氏

速水藤原氏 時直(七三四) 助直(同) 久正(同) 直正(同) 孝直(同)

常成(七三五) 常純(同) 常忠(同) 常主(七

荒木高橋 三六

榮止(七三六) 親(同) **桑油(同)** 東之(七三七)

字佐美藤原氏

地下家傳 目錄

充(同) 贴時(同) 贴酶(同)

藤林藤原氏

重興(七三八) 重利(七三九) 首綱(同) 保(同) 重慶同) 重正(七四〇)

頂

田原藤原氏

秀興(七四〇) 正豐(同) 致知(同) 範篤(七 道(七四二) 四二) 正行(同) 秀實(同) 正直(同) 正

小林藤原氏

見則(七四三) 答則(七四二) 茂秀(同) 有則(同) 古書(回) 芳秀(同

伊良子源氏

栗

岡田萱原氏 光期(七四三) 評(同) 光伯(同) 光信(七四五) 光慶(七四四) 光通(回)

光

一七八七

津川藤原氏 津田藤原氏 石井宇治氏 六角源氏 三宅藤原氏 房季(七一九) 房青(同) 顧意(七一九) 嘉起(七二〇) 光剛(同) 信義(七二二 正名(七二二) 富保(同) 軌車(同) 敦尚(七二三) 爲(同) 正路(七二二) 清(同) 光潤(同) 軌徳八七一七 良恭(同) 教女(同) 正直(同) 正春(同) 義根(同) 正從(同) 中興(同) 教華(七二四) 近直(同) 正需(同) 正貫〇同 義具(七二三 正心(同) 房德(同) 義 水谷橘氏 河野越智氏 木下豐富氏 小野小野氏 川口源氏 坪川源氏. 政威(七三〇) 業(同) 珍武(同) 常珍(同) 秀峯七二五)秀時へ同)秀敬へ七二六) 秀邦(七二六) 保邦(七二七) 直邦(同) 政方(七三〇) 邦(回) 秀幹(同) 秀有(同) 五五 脩貞(七二四) 政直(同) 正通(同) 政恕(同) 政奉(同) 政敏(同) 勝清(同) 貞健(同) 常義(同) 貞階(七

岡太豪氏 殿頭(七〇〇)

岡太泰氏 日盛(七〇二)

岡太寨氏 百章(七〇一) 昌孝(同) 昌年(七〇二)

谢太秦氏 乃則(七OID

昌獺(同)

本太秦氏 廣橋(七〇三) 殿宣(宜)(同) 脂時(同)

政光(七〇三]

第十四冊 (〇刊本三)

栗津平氏

消武(七〇六) 清久(同) 季清(同) 通清(同)

地下家傳 目錄

清英(三、七) 清方(同) 藩宜(七〇八) 浩興 總(同) 灣謙(回) 叢連(同) 報清(同) 幸清(同) 美活(同) 活興(回)

世組織原氏

重廣(七〇九) 重治、同) 軍費(同) 軍庫(七 一〇) 策隣(同) 策興(同) 审登(同)

井上源氏 奉忠、七一二 忠将(同) 忠烈(同) 忠雄(七 成(七二三) 忠二(同) 二二) 忠長(同) 忠治(同) 忠泰(同) 忠

安見源氏

宗矩(同) 宗政(同) 宜恒(七二三) 宗矩(七二四) 宗確(同) 春(同) 宗直(同) 宗變(七一五) 宗隆(同

中神元杉山藤原氏

重敬(七一六) 動重(同) 動芳(同) 一七八五 勒勝(同)

景豐原氏

勝秋(六九一)

豊農原 教(製)秋(六九二) (倍秋 同)

山井太神氏 庸秋(六九二) 定秋(六九三) 高秋(同)

景親(規)(六九三) 景命(六九四) 景忠(同)

多多氏

忠学(六九五)

窪泊氏

九六〇

東泊氏

近泰(六九五) 近壽(同) 近章(同) 近為(六

奥狛氏

友矩(六九六)

友德(六九七)

好近(六九七)

藤原氏 治(同)

葛紀(六九八) 葛飾(同)

寫

葛能(六九七)

林太秦氏

廣倫(六九八)

中太神氏紅葉山樂人 晴起(六九九) 晴久(同) 晴籔(同) 晴岑(同)

東儀太秦氏 晴幔(同)

東儀太秦氏 象层(七00)

一七八四

章漢(六七九) 章漢(六七九) 章漢(六七九) 章漢(六七九) 章漢(六七九) 章漢(六七九)

新太神氏

行硫(同)行磁(同)行磁(同)行磁(同)行磁(同)行磁(同)行磁(同)行磁(同)行磁(同)行磁(同)行磁(同)

南都寺侍玉手氏号藤井

八元) (國整(同) 國際(同) 國際(同) 國際(同) 國際(同) 國際(同)

南都寺侍玉手氏号後藤

国金(三) 园玄(同) 利滑(六八六) 國治(同) 国中(三) 宿百(六八五) 久水(六八九) 域伯(回) **阿居(同)** 元昭(同) 國歌(同) 元朝(六八八) 元貞(同) 元重(同) 氏清(同) 國是(同) 國宗(同) 双"(三) 冠弦(词) 网孝(同) 久水(同) 而真(同) 家清(同) 网络(六八七) 爲久(同) 國家(同) 國征(同) 吉湖(同) 阿美河) 清英(同) 殿延(同) 爲玄(同) 國時(同) 守湖(河 光草(同

豐豐原氏

秋(□) 長秋(□) 富秋(六九二)

地下炭傳 目錄

辻多氏

多多氏 成人(六六三) 久太(同) 久臣(同)

中太神氏

時久(六六三)

是清(同) 章遠八同 行久(同) 定茂〇同人 依(同) 行首(同) 順村 六六六) 是眞(同) 〔[首(同) 晴貞(同) 太神晴任(六六四) 是米(六六五五) 行馬(同) 遠弘(同) 行員へ同) 行純(同) 晴秀(同) 章愛(同) 晴遠(同) 行言(同) 行順(同) 光茂(同) 行村(同) 行長(同) 秀量(六六八) 行充(同) 遠茂(同) 行充C元ン(六六七) 行 惟遠(同) 是 有腎(同) 遠村(同)

重(同) 晴廣(河) 行春(同) 行機(同) 是弘(六六八 是勝(同) 行光(同) 行繁(六七一) 行宗(同) 是粮(同) 行廣(同) 是長(六六九) 行重(同) 行守(同) 行矩(同) 是撰(同) 行軍(六七〇) 行則(同) 行昌(同)

西京太神氏

言(同) 定(同) 氏延(同) 秀冶(同) 晴機(六七一) 行機(同) 晴清(同) 行枝(同) 行行情。定(六七二) 晴方(同) 晴氏(同) 秀行(六七三) 秀祐(同) 行胤(同) 行澄(同) 是陽一同) 秀冶(知)(回) 行國(六七四) 秀長(同)

井上太神氏 宋好C六七四 行官(同)

行由(同) 行友(六七五) 是興(同) 忠廣(六七六) 行延(同) 好重(同) 久實(同) 行忠(同 行秀(同) 行秀(同) 行之(同) 秀人(同)

真多太神氏

最明(六四五) 最終(同) 最終(同) 最終(同) 最終(同) 最終(同) 最終(同) 最終(同) 最終(同) 最終(同) 最終(同)

東俄太泰氏

景(六四八) 廣鐘(同) 廣勝(同) 廣篤(同) 廣廣(同) 廣遊(同) 廣大(同) 廣大(同) 廣大(同) 廣大(同) 廣大(同) 廣大(同) 廣大(四)

西太秦氏

| 腹寒(六五一) | 臓光(同) | 腹寒(同) | 腹敷(同) | 腹敷(同) | 腹敷(同) | 腹敷(同) | 腹敷(同) | しゅくののです。

面太察氏

地下家傳 自錄

蘭太泰氏

廣光(同 廣衛(同) 成(河) 置重(同) 間長(同) 置宅(同) 班邑(同) 置風(同) 量時(六五四) 廣陳八六五五) 廣道(六五八) 廣義(同 爾名(同) 廣宜(六五六) 一般率(同) 廣盃、六五七 即時(同 遺物(間)

蘭太泰氏

廣宅(六五八) 廣勝(六五九) 廣敷(同)

岡太寨氏

岡太楽氏

六二) 景友(同) 昌信(同) 昌班(同) 本昌(六

岡

岡太秦氏

昌朝(六二九) 昌但(同) 昌式(六三〇)

光昌(六三〇)倫美(同)倫秀

大口(六三〇) 倫美(同) 倫秀(六三一) 昌

第十三冊(〇甲本三)

東儀太秦氏

(・) (・)

弘城(同) 長城(同) 元珍(同) 常城(六三七

多多氏

純(六三九) 忠豫(同) 忠俶(同) 忠徽(一) 忠明(同) 忠宗(一) 忠明(同) 忠宗(一) 忠明(同) 忠宗(一) 忠宗(一) 忠宗(六三七) 忠宗(一) 忠宗(元)

東儀安倍氏

李達(同) 季順(同) 季充(六四二) 季蕃(同) 季素(同) 季恵(元四二) 季蕃(同) 季葉(六四〇) 季蕃(元四〇) 季蕃(元四〇) 季

薗太秦氏

四三) 廣氏(同) 廣省(同) 廣榮(同) 廣縣(六四二) 廣氏(同) 廣省(同) 廣榮(同) 廣縣(元四三) 廣東(同) 廣縣(元四三)

東儀太泰氏

文恭(同) 文信(同) 文均(同) 文官(同) 督(同) 康秋(同) 策睦(同) 文郁(六〇八)

東儀太泰氏

東儀安部氏 俊一(六〇九) 俊里(同)

季郛(六〇九) 季芳(六一〇)

林

林太秦氏 廣好(同) 廠康(六二○) 脳有(同) 腦樂(六二二) 腦 廣經(同) 廣規(六二二) 廣範(六二三) 廣輔(同) 廣幾(同) 廣繼(同)

廣政(六一四) 廣縣(同) 置軍(同) 廣原(同)

地下家傳 日録

林太寒氏

倫·同) 廣治(同) 廣野(同)

廣統(六一六) 廣動(同)

廣瀬(同)

匮匱(六一五)

殷雄(同) 废族(同) 廣脾(六一七)(廣

章、同) 服金(同) 廣総(六一八) 廣房(同) 廣武(同) 廣貧 同) 廣東(六二〇 廣賞(六一九)

蘭太桑氏

昌倫(同) 昌養(六二二) 昌忠(六ココ) 昌寛(同) 昌福(同) 日芳(同) 昌秀(同) 昌實(六 昌軍(同)

岡太泰氏

昌稠(同) 精(同) **輸政(六二三) 象軍(同) 験嬰(六二四) 験 昌信(同)** 昌晴(六二五) 昌第(六二六) 昌言(同) 昌四(同)

一七七九

篷伯氏

近習(五八六) 近直(同)

第十二冊(〇年年1)

東儀太泰氏後賜安倍

李寶(司) 李純(司) 李巍(司) 李經(五九二) 李寶(司) 李純(司) 李純(司) 李純(司) 李經(司) 李經(五九二) 李貞(司)

東儀太秦氏

東儀太秦氏

東儀《秦氏

九六) 文幾(同) 文行(同) 文秀(五九七)

(編親(同) 兼佐(同) **兼村(五**

筆護(五九五)

如雄(同) 報益(同) 如貫(五九九) 如壽(同) 雜紅(五九七) 雜輯(同) 雜伯(五九九) 金

東儀太秦氏

東儀太秦氏

辻狼氏

近顧(同) 近信(五七三) 近友(同) 近應(同) 近年(五七三) 則宗(同) 則武(同) 近德(同) 近德(同) 近年(同) 明安(五

芝藤原氏

(五七四) 墓明(同) 墓(同) 墓(同) 墓(石七五) 寬墓(同) 墓(同) 墓(同) 墓(同) 墓(同) 墓(田) 墓(田)

迁机氏

地下家傳 目錄

近越(五七七) (高房 同) 高製(同) 高等(同) 西斯特(同) 高等(同) 西斯特(同) 高等(同) 西斯特(同) 西斯特(西斯特(同) 西斯特(同) 西斯特(西) 西斯特(西)

準度

《近東·近文·近正·五七九》 近野(元八〇) 近寬(同) 近秦(同) 近常(百) 近州(同) 近景(百八二) 近縣(同)

芝藤県氏

| 寛舊(五八二) | 葛喜(五八三) | 葛起(同) | 富元(同)

芝藤原氏

奥·泊氏 奥·泊氏

好文(五八五) 好寶(五八六)

七七七七

近節(五四八) 近周(同) 近方(同) 近朝(同 則(同) 近守(同 近重(同) 近之(五四七) 近興(同) 近貞(同) 近直(同) 近長(五四四) 近憲(同) 近經(同) 近康(元四五) 近儀(五四六 近欄(同) 近海(同 近豐〇同 近次(同) 近萬八同

東狛氏

隆、同) 四九) 友苗(同 友永(同) **東葛(五四八)** 友高(同) 友安(同) **眞民(五五一)** 友短(同) 友秋(五五二) 英葛(同) 質は(同) 友有(五五〇) 葛興(同) 友眞(同) 友直(同 友員(五

奥伯氏

好学(同)好食(同)好古(五五五)好食(同)乾(同)、墓(同)、缝幕(同)、弘暮(同)、好幕(同)、站墓(元五四)、好幕(同)、站墓(五五二)、信幕(同)、皖幕(五

好學(同) 好良(同)

窪和氏

近真(同) 近定(五五六) 近義(五五九) 近純(同) 六〇)「近凞(同) 近蒙(同) 近綱(五五八 近降(五五七) 近訓(同) 近後(同) 近秦一同 近頭(同) 近定同 近宗(同) 近壽(同 光過一同 近經(同 近理(五

篷舶氏

近和(同) 近直(五六四) 近離(元六二) 近溝(同) 近连(同) 近茂(同) 近茂(同) 近光(五六二) 近溝(同) 近大(五六二)

久保狛氏

光永(五六四) 光常(同) 光康(同) 光定(五光永(五六四) 光常(同) 光康(同) 光定(五

季順(五二四) 季高(五二二) 季海(五二二) 季考五二二 季度(同) 季光(同) 季純(同)

安倍炭倍氏 成(同) 李鵬(同) 李貴(五二六) 李有(五二四) 季文(同) 季德(五二五)

安倍安倍氏 季千(五二六)

季節(同一 零順(五二七)

第十一冊

辻仙氏

則定同 則房一同 高率(同) 光高(五二九) 近真(同) 行高(同) 值墓(同) 則高(同) 光季(同) 行則(五三) 定近、同) 定氏(同) 近氏(五三一) 行氏(同) 則近(同) 則委同

> 定 頂燈(同) 近欧(五三七) 近任(同) 近回(五三四) 超斯(河) 一回 近雅(五三六) 近經八同 高秀(五三五 近次(同) 葛川(同) 行軍(同 近元(同) 則是(同) 近定(同) 東郷(五三二) 忠夏(同) 近朝(同) 近實(同) 近完(同) 即安(同) 川寒(同 近朝(五三三 近重(回) 近弘(同) 近良(同 近稀(同 近恒(同 爾其(同)

芝们後改藤原

上, 萬隆(同) 真然同じ 則俊、五三九) 則軍(同) 近氏(五三八) 道葛(同) 明俊(同) 葛雅(五四二 萬宗(五四 葛服(五四〇) 忠真(間) 則氏(同) 則宗(同) 弘英(同) 行政(同) 明行(同) 即萬八冊 萬光(同 川の以

地下家傳 月絲

質葛(五四二)

季眞(五四三)

近常(同)

近

七七四

是豐原氏

忠豐(同)

資秋(五〇〇) 倫秋(同) 時習(五〇一) 時叙 時茂(同) (同) 治時(同) 時全(五〇二) 忠逸(同)

山井太神氏

惟季(五〇三) 基政(同) 基督(同) 宗賢(同) 同) 量政(同) 量光(同) 量朝(同) 量鄉 (同) 景繁(同) 登近(同) 党益(同) 意賢(同) 是基(五〇四) 是貞(同) 京石(同) 景房(五〇五) 景範(同) 基壽(同) 景明(同) 景貫(同) 長廣(同) 景康(同) 基学(五〇九) 基質質 景廣(同) 景瀬(五〇七) 維樹(五〇八) 維寧(同) 景雄(同) 景理(五〇六) (量定

和安部朝臣刑部卿敦兼朝臣男篳篥大夫實家 (五一三) 景典(同) 景繁(同) 景順(同) 景隆(五二二) 景綱(同) (景規い同) 景和 量茂(五〇九) 景耀(五一〇) 景秀(同) 賞長 五一一) 景稲(同) 景元(同) 景村(同) **(同)** 景報(同) 景種(同) 景調(同)

安部季政(五一四) 季遠(同) 季國(同) 李尚(同) 季則(五一八) 季福(同) 季任(同 茂(同) 季俊(同) 季氏(五一五) 季景(同) 季康(五一九) 李繼(同) 季盛(同) 季音(同) 季敦(五一七) 李長(五一六) 季久(同) 季益(同) 季浦(同) 李德、五二〇 李維(同) 季正(同) 李方(同) 季村(同) 季種(同) 季英(同) 季有(同) 季千(同) 季良(同) **牽擧(同)** 季資、五二一) 香 季房(同) 季爲(同)

安倍安倍氏

山井太神氏

思治(四七七) 忠貞(四七八) 忠成(同) 忠 《周) 忠寅(四七九) 忠卿(同) 忠之(同) 《忠利·四八〇) 忠同(四八〇) 忠以(同)

多多氏

思逸(同) 忠貴(同) 忠傳(四八三) 忠誠(同) 忠贵(同) 忠貴(同) 久常(四八二) 久

多多氏

思清(四八四) 忠尊(同) 忠綱(四八六) 忠南(阿) 忠尊(同) 忠賁(同) 忠義(四八六)

多多氏

忠貞(四八七 忠賢(同) 忠武(同) 忠致(同)

地下家傳 目錄

忠雄(四八八) 忠告(同) 忠惟(同) 忠節(四八八)

豐原

文秋(同) 您秋(同 通秋(同 統秋(同 音秋(河) 有秋(四八九) 豐林(同 時秋(四九〇) 陽秋(四九五) 幹秋(同 清秋(同) 光秋(同) 柳秋(四九三 直秋(四九四) 俊林(四九二) 守秋(同) 量秋(同) 利秋 同) 忠秋(同) 好秋(同) (時延・時元 同) 龍林(同) 幸秋(同) 心林村同 信秋(四九一 時元(同) 治秋(同) 降秋(計 通好(同

豐豐原氏

「〇刊本二」

思古(同) 忠雄(回) 六二) 忠輝(同) 忠壽(四六三) 忠賀(同) 忠樂(四六一) 忠敬 同) 忠豐(同) 忠職(四 文(同) 政方(同 多月然層(四五七) 脩正(回) 忠賴(同) 忠久(同) 忠成(同) 政資(四五八) 忠春八同人 公用(同) 春野(同) 忠茂(同) 忠幸(同) 忠時(四大〇) 忠宗(同) 忠常(同) 忠妙(同) **資忠(同)** 忠方(同) 良常、同) 忠世(四五九) 忠與(同) 好用(同)

多氏

時(同) 久泰(同) 久氏(同) 久益(同) 近方(四六三) 近久(四六四) 節近(同) 久葉、四六五) 久養(同) 久至(主)(同) 行(同) 久資(同) 久氏(同) 久經二同

> 忠家(同) **人康(四六八)** 久隆(同) 人親(四六七) 忠正(四六六) 久村(同) 久願(同 節長へ同 久庸(同) 成宗八同 久顺(同 久連八同

多多氏

忠言、四七一) 久宗(四六九) (同) 久正(四七二)、 久晉(同) 久雄(四七〇) 久恭(同) 久勝(同) 久弘(同) 久明(同 (久眞 同) 久敬(同 久有(同

多多氏

忠季(四七二) 忠行(同) 忠賢(同) 一河) 忠長(同) 忠林(四七四) 忠彦(四七五) 忠功(同) 忠胤(四七三) 忠恕(同

多多氏 忠辰(四七五)

忠康(同 忠堅(同) 忠愛(四七七) 忠氏(同) 忠景へ同) 忠毘へ四七六ン

姉小路

四三八) 建弘(四三八) 政弘(同) 弘璋(四四一) 弘信(同) 弘章(同) 弘章(同) 弘章(同) 弘章(同) 弘章(同)

小佐治藤原 圖書寮

光青(四四二) 光文(同) 忠光(四四二) 忠治(四四二) 光東(同) 光東(同) 光時(四四四) 光東(同) 光東(同) 光東(同) 光東(同) 光東(同) 光東(同) 光東(同)

澤村廉原氏

四七) 壽和(同) 壽榮(同) 成維,四四八) 数年(四四六) 数行(同) 壽邦(同) 通輝(四

地下家傅 目錄

高木源氏

(四五○) 隆貞(同) 隆勇(同) 隆粛(四五) 隆貞(同) 隆貞(同) 隆八(四五) 隆東(四五)

速水藤原氏

武益(四五二) 類益(同) 邦益(同)

河端藤原氏

号慶四五三) 号稿(同) 職後(同) 居谷(同)

三澤

服部源风廉(四五四)

源廣雄(四五四) 源廣琛(同)

栗弘(四二三) 茂弘(同) 藤弘(同) 親弘(四 二四) 時弘(同) 守弘(同) 嗣弘(同)

弘(同) 氏弘(同) 季弘(同) 長弘(同)

査弘(同) 正弘(同)

軍弘(四

(育清四一一) 章員(四一一) (章政 衆(同) 草前(四一八) 章房(同) 章香(同) 章有(同) 章 (章純 同) 章斐(四一七) 章武(同) 治房(同) 治卿(四一四) 治直(同) 章軍(同) 章職(同) 章長(同) 章緒(同) 章廉(同) 章倫(同) 章 章隆(同) 章文(四二三) 章枝(枝) 廣元(同) 章村(四二二) 章成(四一五) 章熙(同) 章敦(四

> 二八) 宣弘(四二九) 治弘(同) 隆弘(四二七) 紀弘(同) 忠弘(同)

茂樹(四二二) 上伊紀(同) 家廣(四一八) 宗駛(同) 伊貞(四一九) 坂 是萬(四二三) 〇)是治、同) (木坂藤原元孝 同) 是秀(同) 是保(同) 是久(同) 是彬(同) 是村(四111) 是蔭(四)

堀川大石氏

町口坂上氏 堀川大石氏 弘慶(度)(同) 弘亮(四三五) 弘業(同) 弘文(四三四) 弘養(同) 弘美(同) 夏弘(四三〇) 酤弘(同) 陶弘(同) 豐弘(同) 直弘(同) 支弘(四二元) 勝弘(同)

弘能(四三一) 弘忠(同) 弘孝(四三二)

之(同) 弘方(同) 弘充(同) 弘澄(四三三

姉小路大石氏

親弘(同) 時弘(同) 是弘(同) 夏弘(同) 基弘(四三五) 則弘(同) 友弘(同) 長弘(同) 在弘(四三六) 幸弘(同) 安弘(同) 應弘(同)

武二(四00) 質一(局)

內藏祭史生與田姓藤原

安義(四〇〇)

主水司福本姓原井

· 友経(同) 征姓(同) 忠征(四〇二) 続村(同) 信任(四〇二) 永統(四〇三) 益行(同) 宗征(同) 幸後(同) 元益(同)

主水司史生發水部中村後改脇坂姓藤原 忠直(四〇三) 忠富(同) 貞夷(同)

主水司史生飨水部久川後改河村姓中原

仲(同) 宗清(四〇四) 琦胤、風火回) 宗茂(同) 宗靜(同) 光隆(同)

院承什象仰經歲演問姓平

地下家傳 日餘

道以(同) 村(同) 文以(同) 道泉光堅(四〇五) 道泉光周(四〇六) 道以光照(同) 道味(同) 道泉光

大佛師職七條性源

康敦(同) 朝(同) 左京康勝(同) 左京康敬(同) 左京康音(四〇七) 左京康博(傳)(同) 左京康

納所木村姓源

了琢部久(四〇八) 了琢塗糊(同) 了琢文敬(同) 了球久綱(同) 了环光綱(同)

資重(同)

第九冊 [〇世本]]

勢多中原氏

章政(同) 章貞(同) 章親(同) 明基(同) **電職(四1○)** 實欄(同) 育任(同) 完成(同)

(同) 議敬(三九○) 議信(同) 議 (同) 議報(三九○)

圖書祭梅井姓藤原

・ 定久(三九〇) 定光(同) 定村(同) 定文(三九〇) 定光(同) 定頼(同) 定村(同) 定対(同) 定対(同) 定規(同) 定力(三) 内でのできます。

圖書寮服部姓源

育保(三九二)

圖書寮史生小嶋姓藤原元源

政則(三九二) 國貞(同) 景宗(同) 景次(三九

圖書寮史生清水姓藤原

カ四) 道利(周) 政奥(同) 政火(三)

圖書寮史生河井姓藤原

(京九四) 正孝(同) 源義宮(同)

內藏築官八山本後垣內姓大江元豐臣

正安(同) 正武(三九七) 正安(同) 正武(三九七) 匡雄(同) 正李(同) 正獨(三九七)

內藏簽官人兼史生深尾姓藤原

就(同) 金泉(三九九) 建順(同) 住之(同) 眞傳(三)

內藏新史生矢田性藤原

清明(三七三) を表した。 藤原信易(同) 清直(三七四)

藏人所衆東上南座仙問姓橋

芳县(三七四) 豐質(三七五) 文章(同) 景命(三七六) 母野(同)

義人所衆土橋姓子

七七) 重威(同) 糯永(同) 種明(三七六) 忠種(同) 良種(同) 重弼(三

藏人所衆岡田姓菅原

柄(同) 榮柄(同) 恭純(三七九) 爲恭(同) 康抦(三七七) 寶熟(三七八) 野型(同)

或人所樂資路姓藤原

正魔公三七九) 正芳(同) 正民(三八〇) 平(同) E

藏人所衆與結姓藤原

延秀(三八一) 秀繁(同) ハニ 秀雅(間) 秀作〇三

藏人所樂村并姓藤原

政利(三八二) 政親(同) 三谷(三八三) 敬(同)

藏人所行事所深尾元平田健中原 職玄(同)職當(同)職學(三八六)職峯(同) 職久(三八三) 職勝(三八四) 職高(同) 當(同) 直高(同) 常牛(同) 甫宮(三八五)

岡書祭蒔田後長野姓藤原

職保(同)

八八) 庙信(同) 肺親(同)

圖書祭廳并姓源

(ロ) 職民(同) 職民(同)

御藏小舍人山科姓紀

| TETE((三六三) | 孝正(同) | 安弘(同) | 安弘(同) | 日本(同) | 日本(同)

御藏小舍人山科姓紀

生真(同) 生春(三六六) 生都(同)

御藏小舍人真繼元新見姓紀

則弘(三六六) 友弘(同) 景弘(一) 在弘(同) 種弘(同) 銀弘(同) 康寧(三七〇)則能(同) 珍弘(同) 短弘(三六九) **人**直(同) 宗弘(同) 石見守(同) 忠弘(同) 康村(三六八) 親賢(同) 元弘(同) 高弘(同) 賴弘(同) 重弘(三六七) 豐弘(同) 安弘(同) 石見守(同) 久忠(同) 親弘(同) 能弘(同 遠弘(同) 有弘(同) 玄弘(司) 量弘(同 康總(同

御城小舍人粟津姓中原

職養(三七二)。 職份(同) 清喜(同) 清風(同)清為(同) 職與(三七三) 職秋(同)清風(同)清風(同)

主殿寮佐伯方下司右生火官人 佐伯氏器号小野

佐伯昌縣(同) 佐伯魯默(同) 佐伯國袞(三四五)源正恭(同) 佐伯魯明(同) 佐伯國袞(三四五)源華教(同) 佐伯國袞(三四五) 原華教(同)

使部曜号大崎

藤井保元(三四五)藤井元師(三四六)

使部母号小田

際井駿市(三四六)

使部稱号安田

藤井嘉追(三四六) 藤井嘉賢(同)

術士廳非氏稱琴架海後改軍又改應井

騰井東敦(三四七) 藤井重行(同) 藤井英軍(同) 藤井東敦(三四七) 藤井重光(同) 藤井東国(同)

藤井續續(同)藤井重義(同)藤井薨寶(同)藤井連續(三四九)藤井重義(同)藤井徳子(同)藤井總十八同)藤井總十八同)藤井總十八同)

衛士 藤井氏爾罗賀

秦 阵張(三四九) 左 兵衛府駕興丁稱等中嶋

岩近府兄部稱号大石

第八州 (〇里本二)

出納平田姓中原

職員(同) 職者(同) 職實(同) 職員(同)中原職國(三五二) 職長(同) 職件(仲)(同)

地下家傅 目錄

一七六五

主殿、寮佐伯方下司史生姓源氏稱多西村

源極幸(三三九) 源雅喬(同)

左生火官人伴氏稱号小野後改石塚

(同) 伴嘉次(同) 伴嘉亨(同) 伴嘉徽(同) 件嘉徽(同)

主殿寮伴方下司官人姓源氏稱号中田

主教。於作方史生,姓藤原氏稱号大森源軍文(三三五)

藤原照時(三三五) 主殿 寮作方史生 姓藤原氏稱号大森

主殿寮伴方下司史生姓源氏稱号若林

源元泰(三三七)

主殿寮伴方下司史生姓藤原氏稱号木村

藤原俊篤(二三八) 藤原査充(同)

生殿寮佐伯方官人 佐伯氏爾号石原

主殿寮佐伯方下司史生姓源氏稱号村上包在明道(三三六)

源相如〇三六〇

源正和(三三九) 源正縣(同) 源氏實(三四〇)主殿寮佐伯方下司史生健源氏稱号山本

主殿寮佐伯方下司史生。姓源氏稱号池田

源正秀(三四〇)

主殿寮佐伯方下司史生雄藤原氏獨号稻村

藤原吉家(三四〇)

年爲安(三四一) 伴守「(三四二) 作常盛(同) 主殿寮伴方下司左生火官人伴氏穪号豐田

件常久(同) 件常志(同) 件礎(三四三)

東安(同) 伴瀬城(三三七) 伊瀬城(同) 伴瀬城(三三七) 伊瀬城(三三七) 伊瀬城(三三七) 伊瀬城(三三五) 伴瀬城(同) 作

主殿寮佐伯氏稱号小野

佐伯行季(同) 佐伯宗教(三二七) 佐伯宗教(同) 佐伯安治(同) 佐伯宗直(同) 佐伯職定(同) 佐伯職秀(同) 佐伯宗昌(同 中原職人(同) 中原職能(同 中原職機同 佐伯豐久(同) 佐伯信久(同) 佐伯職馬(三三一) 佐伯職成(三三二) 佐伯職保(三三三) 佐伯光之(同) 中原職業(三二九) 佐伯安胤(同) 佐伯信高(同) 中原職次(同) 佐伯安屋(同) 中原職助(同) 中原職行(同) 佐伯尙俊(同 佐伯成光(三二八) 佐伯職茂(同) 中原職春(同) 職則(三三O) 中原職勝(同) 中原職國(同) 佐伯安久(同) 佐伯俊藤(同) 佐伯秀舊(同) 佐伯光宗(同) 中原磁和(同) 佐伯職忠(同) 佐伯職登(同)

主殿祭伴方下司官人橋氏福号中西

藤原興仲(同) 藤原興俊(同) 藤原基之(同) 藤原県伊(同) 藤原東俊(同) 藤原基之(同)

佐伯廟建(三三四) 瀬正昭(三三五) 主殿寮佐伯方下司官人綱号石原

源正遵(同)

主殿祭伴方下司史生姓源氏稱号村上

源都愷(三三六)源宮(玄)俊(同)

主殿寮伴方下司史生姓藤原氏爾曼藤并

主殿寮佐伯方下司史生姓源氏稱号大高麇原用忠气三三七) 麋原明憲(同)

源高能(三三八)

主殿寮佐伯方下司史生姓福氏稱号下村

橋一幸(三三八) 橋一幸(三三九)

1七六日

木工寮官人姓豐臣稱多佐野 10) 盛厚(同)

木工寮官人姓源稱号海野 秀孝(三一〇) 秀宮(同)

頒晴之〈三一一)

木工寮史生姓藤原稱号上田

木工寮史生姓源稱号廳木 寧綱(三一一) 咸幸(同) 源眞有(同)

保房(三一一)

木工寮史生姓源稱号小笠原

長好(三一二) 饭节(同)

好高(同)

幸最(同)

木工寮史生姓藤原爾号武田 傾直(三二三)

主殿寮伴氏稱号小野

件秀勝(三二三三) 連金村(三一四) 道臣命〇二一二二 件彦貞(三一七) 件忠強(同) 件惟信(三一八 件須賀雄(同) 伴春雄(三一六) 伴朝臣保平(同 慈斐(同) 大件乙鷹(同) 件宿職勝雄(三一五 大伴連吹負(同) 件秀方(同) 件貞資(同) 件定政(同) 件廣貞(同) 円有方(同) 件秀信へ同 件忠方(同) 伴時兼(三一九) 伴清方(同) 伴正方 大件連室屋(同) 大件連談(同) 大伴 件俊方(同 件良方(同) 件時方(同) 件光方(同) 件家方(同) 件豐方 大伴連磐(同) 大件連咋(同 大件連武日(同) 大件連武持 伴秀邦(同) 伴友治(同) 伴 大伴宿禰祖父麿(同) 大伴古 作國忠(同) 件惟幸(同) 件信方(同) 件守久(三) 件守清(同) 件守孝(同) 作軍方公三二一 件友忠(同) 作清方(三)

內舍人藤原氏稱多初川

信任(二九四) 信克(同)

內舍人藤原氏相号小林

内含人源氏綱号高田

永忠(二九八) 永康(同)

內含人藤原氏稱号上田

電行 〇本ダナシン

第七冊

內匠資史生 新見

藤原泰八恭」高〇三〇〇) 藤原泰(恭)時(同)

地下家傳 目錄

內院察史生

狩野

藤原士信公三〇〇)。藤原文信(同) 藤原雑信

木工寮大石氏稱号棚川 大蔵省

弘之(同) 弘方(同) 弘志(三〇四) 弘澄(同) 是弘(三〇二) 弘能(同) 弘忠(同) 弘忠(同) 體弘(三〇三) 財弘(三〇二) 離弘(三〇三)

大藏省史生姓藤原稱号大振

弘度(同)

弘業(同)

弘文(三〇五) 弘義(同)

弘美(同

雅時第(局) 源如平(三〇七) 源如平(三〇七) 源如平(同) 源如平(同) 源如平(同)

大藏省史生。姓藤原爾号新庄

就壽(同) 枯柳(同) 枯爛(同) 廢原條八(三) 久好、三○八) 久悲(同) 人德(同) 登規(同)

內舍人賀茂氏稱吳藤木

保邑(二八七)保舎(二八八)

(保徽 同)

内舍人源氏稱至清水

(同) 友也(同) 友許(二八九) 友芳

內含人藤原氏稱号大原

放(同) 政貫(同) 政督(二九〇) 為政(同) 政

內舍人藤原氏稱号近藤

文、同) 重傳(二九一) 重武(同) 重

內舍人大神氏稱号藤林

忠致(二九一) 忠利(二九二) 忠可(同)

內舍人源氏稱号山下

內舍人平氏稱号原 寅直(11九二) 康直(同) 直和

直和(二九三)

在明(二九三) 在照(同)

內舍人和氣氏稱号小島

安久(二九五) 武庫(同) 武尚(同) 武信(同)

內舍人和氣氏稱号澤後改西村

方(同) 則真(同) 真蛮(同) 真蛮(二九七) 即真(同) 真蜂(同) 正重(二九五) 久直(二九六) 友正(同) 正

休眞(二九七) 惟眞(同)

康共同 博(同) 康成(同 康在(同 將(同) 中原軍弘二十三)國各公同) 康氏(同) 康之(二七七) 康胤(同) 右康(同) (康功 同) 康布(同) 康長(二七五) 康致(同) 中原康忠(同)康昆(二七六) 勝康二七四) 右政(同) 右 康久(同)

內舍人廳原氏稱号河副

安廣、二七九) 安製(二七八) 安貞(同) 第一(同) 安信(同)

內含人廳原氏稱号齋藤

安久(二七九) 直利二八〇) 安利(同) 良利(同) 利獎(同) 安隆(同)

內舍人賀茂氏稱号東辻

愛清(二八一) 潮光(同) 清矢(同)

地下家傳 目錄

內含人越智氏稱多河野

也(同) 中通(同) 義通(同) 通方(二八三) 通遠二八二) 通費(同) 通行(二八二) 相通(同)

內含人中原氏網牙藤宮

景機(二八三) 是員(同) 学(同) 景泰(同) 景恕(二八四)

內舍人加茂氏稱号藤木

源縣(二八四) 彬願(二八五)

內含人大江氏桐号歐明 方驅(同)

傳(同) 友信(同) 信晃(同) 貞孝(二八五) 行孝(二八六) 孝軍(同)

友

內舍人處原氏稱号石田

元仲(二八七) 雅(推)明、同) 範明(同) 蔵明(同) 頂明(同)

一七五九

內舍人和氣氏 稱号濱崎後改橋本又改

正為《同》正復《二五九》正為《同》正方《同》正復《二五九》正為《同》正方《同》正方《同》正方《同》正方《同》正方《同》

內舍人 和氣氏稱另菊澤後让又改淺并

| **号**(同) | 作良(二六二) | 作純(同) | 作し(二六二) | 作し(同) | 作し(三六三) | 作し(同) | 作し(三六三) | 作れ(同) | 作し(三六三) | 作れ(同) | 作成(同) | 作

帶刀藤原氏稱号荒木

重房(二六五) 重整(同) 重要(同) 重要(同) 重要(同) 重要(同) 重要(同) 重要(同) 重要(同) 重要(同) 重

龍口 賀茂氏稱号座田

秀峰(二六五) 添季(同) 氏章(二六六) 氏

內舍人源氏稱号辻 太氏 同)

「「「「「「」」」 「「順義(同) 「順近(同) 「順良(二) 「内舎人 ***

內合人藤原氏稱号五十川

內含人平氏稱号白川後改吉村

名の 高勝(二六九) 高統(同) 高堅(同) 高武(二 高勝(二六九) 高統(同) 高堅(同) 高武(二

內含人平氏稱号田中

| 内舎人中原氏元内と解号高量 | 内舎人中原氏元内と解号高量

氏變(同) 氏利(何) 氏层同 氏喜门四二 氏重〇二四二 行項二二九 氏章二四〇二 清次(同) 氏延一同 福親(同 軍火(同) 水草(同 氏忠、同 好古(同) 東時(同) 政紹同

右官掌紀氏 御号墨

常(二四四) 木昌二四二 親称(同) 親賀(同) 親腎(同) 親成(同) 五親(同) 永吉(同) 親盛(同) 親昌二 親

召使副使 宗岡氏 稱号青木

秋行(同) 死行(二四五) 行敬(同) 宗岡氏 稱号三宅 政行(二四六) 行修(二四七) 利行(同) 行教(同) 行後、同 季行(同) 行孝八同 和行(同) 行有(同)

召使副使

地下家傳 日餘 行秀(同) 清行(同) 行弘(二四九) 廃之(二四八) 吉行(同) 補行(同)

行周(同) 行連(同)

> 施行(同) 階行(同) 行正(二五一) 行達(同) 行邦(二五〇) 行言(同)

辨侍 源氏稱多三崎

時習(同) 時長二五二 克誠(同) 克語(同) 時義(同)

辨侍 机氏稠号和田

光湖 稚薬(二五二) 同) 雅朝(同) 吉胤(同) 敬州同)

第六冊 「〇円本」」

內含人 和新氏 稱号駒并後改多治見 叉改伊庭又改內海

(三五七) 從養(同) 希賢(同) 六) 從常(同) 從行(同) 賢實(同) 從安 群從(同) 長由(同) 秀信二五四 周從(同) 秀宜(同) 秀勝(同) 長次(同) 秀促、二五五) 最從(同) 信賢(同) 從賢(二五 正則(同) 正勝八同

高橋氏 稱号村田

安部氏 称号山口

紀氏 番号山口

厚敷(二)(四) 行厚(二)(五) 厚生(同) 定

史生 宗岡氏後或紀氏稱号山口

左官掌紀氏稱号岩崎

左官掌紀氏 稱号小野

右官掌紀氏 稱号座田 石官掌紀氏 稱号座田

使部 使部 加茂政房(一九一) 源吉平(一九一) 田田 山本

使部 井上 源宗久(一九二)

橘敬高(一九二)

使部 源良能(一九二) 安田

第五冊 CO##13

小規宿禰以小規改阿保稱多五生

常平(同) 小槻茂助(同) 小槻忠臣(一九五) 、小槻今雄 一九四 阿保經費二九四) 阿保

地下家傳 目錄

七)輔世(同) 智(知)音(二〇五) 敬義(二〇六) 治(同) 房(同) 季連(同) 章弘(二〇四) 幸充(二〇二) 忠利(同) 和保(二〇二) 縣仲、同 **雅久(同)** 有家(同) 周枝(同) 千恒(同) 登展(二〇二) 朝芳(同 景(最)實(一九九) 政軍〇一九六 直行(同 最順(同) 統良同 茅信(同 通時(同) 脚保(同) 時間二〇〇 以字(1) 千宣(同 淳方公同 **韩俊**(同 水業同

小槻氏 稱多安田後改虫鹿

三善氏 称号山名 秀壽(同) 秀典(二一三) 秀順(同) 総秋(同) 利事(局) 協積(同) 爲始(二) 〇九) 陳昭(同) 方道(同) 方数 二一〇) 通昭(二()八) 定昭(同) こ 爲敬(同) 爲秀(同) 秀芳(二二二) 死昭(同) 利昭(二

源住野(同)(野端 一八三) 源鏡野在(同) 清原野在(同) 源野野(一八一) 源鏡野(同) 源を野(一八一) 源鏡野(同) 源鏡野(同) 源を野(一八一) 源鏡野(同)

兵庫祭史生

源貞總《同》 源置勝《同》 源光慶《同》

營者 深升 改两尾

術(同) 橘氏興(同) 橘氏副(一八七) 橘氏橘定成(同) 橘林短(同) 橘重賢(同) 橘華賢(同) 橘華

養者 稱号諏訪

信義公司) 藤井信義公司) 藤井信成 司) 藤井信 (司) 藤井信章(司) 藤井信成 司) 藤井信

使部 田中後樋口

源死清(一九〇) 源賢壽(同) 源直常(同)

使部高野

使部 山田

使部 加藤

掃部寮史生 中大路

平好信(一六二) (爾號中大路源鄉雅・源鄉光 同) 源出台(二六二) 源正數。同) 配直施、同) 源嘉豐八同 源亞哥(同

內暨兼主鈴 源氏爾号渡邊

同 珍化(一六三) 珍亮(同) 珍賞同珍信(一六五) 验之(一六四) 珍香 珍術(同)

內野兼主鈴 源氏稱号林

貞休(一六七) 直降(一六六) (貞利)四 貞綱(同) 貞矩(同) 直望(同) 直忠(同) 貞旅(同)

陣官人

橘氏稱芳櫛田

久芳同) 久充(同) 宗昌(一六八) 泰倫(同) 久孝(同) 久治(一六九) 久連(同) 久時(一七〇) 宗久(同) 秀生(同) 篤敬、同 久貞、同 泰清、同人

地下家傳 目鉄

陣官人 性源氏科号音唱

七二) 元秀 同) 元善(同) 元章(同) 萬(一七三) 元賢(同) 元超(一七四) 源元朝(同) 源元數(一七〇) 秦重元(一七一) 源元行(同 元好.同) 元世(同) 元陳〇一

左馬寮 源氏稱号大嶋

七五) 友際(同) 友勝(同) 友明(同) 友貞一七四) 友質(同) 友連(同) 友慶(

右馬寮 源氏稱号大嶋

兵庫寮 立野武教(一七五) 立野武久(一七六) 立理興近(同) 源友積(同) 源友集(一七九) 藤原藩知(一七八) 源友武(同) 致安、同) 延(同) 立野武安(同) 源氏稱号川越 立理武成八一七七) 立野編政(同) 立種地道(同) 源友智。同) 藤原義見同 立野隆武 同) 源友忠八同 立野武

小野久古(同) 小野久遠(一四七) 小野久明(同) 小野久敬(同) 小野久短(一四四) 小野久定(同) 小野久要(四六) 小野韓久〇一四五 小野八永〇同 小野久視(同) 小野久雨(同)

大膳職史生 金川

で原幾成 同) ニュー 帯原富徳(一五一)
帯原貞徳(同) 菅原弘德(同)

大膳職史生 辻後岸本

酤占(同) 際原安能(一五一) 源至盛(一五三) 藤原當聰(同)藤原盈行(同) 藤原安敬(二五二) 藤原自

大膳職史生

藤原政珍八一五三

大炊寮史生 岡田

丹治勝厚(一五三) 丹治典則(同) 丹治延武(二

五四) 丹治義郁(同)

大炊寮史生 鈴木

源友高(一五四)

源爲清(同)

以友(同)

掃部寮 和号消水

晋(同) 藤原利延(五五) 利尹(同) 利益(同) 利泰(一五六) 利貞(同) 利有(同) 利

掃部寮 稱号平岡

利政(同)

方(三五八) 俊亮、同) 俊栗(同) 利品、同) 俊栗 和(一六〇) 五九)利置(同) 藤原利章(一五七) 利愛(同) 利品,同) 利常(同)

掃部寮史生 風田

重(同)藤原安秀(一六一)藤原信敬(同) 藤原軍友(及)、一六〇) 藤原幸政(同)

野二三つ 和氰藏質(同)

和氣暖比(同)

縫殿祭

騰原定弘、一三三) 際原直澄(二三二) 源据忠(同) 藤原昌橋(同) 源言忠(同) 源在忠(二三四) 藤原定數(同) 藤原直興へ同) 藤原定積(同) 藤原定昌(同)

縫以資 多田

好生(一三六)和氣好間(同) 和氣茂貞(一三四) 榮(同) 和氣爲行(同) 和領資經(一三五) 和氣尙之(間) 印屋印

縫門寮史生 原

平守友(一三七) 平高豐二三六 平美道(同) 平高幸(同) 平爲道(同) 平在明(同)

縫的資史生 西原

地下家傳 目録

> 邦(同) 藤原雅在一三七) 藤原安養(同) 藤原雅綱(一三八) 藤原安之(同)

式部省 谷口

平胤禄(一三九) 平胤典(同)

式部省史生 永田 源忠成(一三九) 源忠順(同)

頭忠篤(一四〇)

式部省史生 三崎

源克梅(一四〇) 源城暨(同) 源義道(同)

第四冊 (0341)

大膳職兼大炊祭 總岡

小野久次(同) 小野時重(一四二) 小野久長(一四三) 小野養久(同) 小野久勝(何) 小野冬康(同) 小野軍幸同) 小野久賢(同) 小野久盛(同) 小野久直(同) 小野家水(同 小野光久(同)

一七五一

江盛政(同) 盛醴(同) 大江貞久(一一八) 大江重吉(同) 大江近家(同) 大江重賢(同) 大江多直(同) 大江盛林(同) 大川盛敏(一二〇) 大江盛言(同) 大江冬長(同) 大江久次(同) 大江盛周(同) 大江盛隆 大江盛枝(同) 大江盛連(一一 大江多康(同) 大江軍正(同) 大江軍勝(同)

內藏寮史生後爲寮官人

(同) 清原久純(同) 清原武真(同) 清原武真(同) 清原武真(同)

內藏寮史生 好田

藤原信行(同) 藤原親信(同) 藤原秀幸(同) 藤原親信(同) 藤原親信(同) 藤原和信(同) 藤原和信(同) 藤原和信(同) 藤原

內藏寮史生 北川後改澤渡

源籌綱(同) 起廣繁(二二大) 藤原忠清(同)

造酒司史生柔酒波多村

藤原久游(二)大)藤原公嶽(同)藤原久宗(同)藤原久游(一)

造酒司史生氣酒波德美

際(同) 源公實(同) 源公成(同) 源公頃(同) 源公近(二九) 源公棟(同) 源公成(同) 源公頃(同)

縫殿寮 小林

(同) 系氣定矩(同) 和氣定灘(同) 和氣重倫

大舍人寮 近藤

大含人茶 姉小路

源行弘(同) 源輯有(同) 源輯久(同) 源輯 高橋榮承(同) 高橋榮錄(一〇九) 高橋榮騰(同) 高橋榮泰(同) 高橋榮錄(一〇九) 高橋榮騰(同) 高橋榮縣(同) 高橋榮騰(同) 高橋榮騰(同)

大合人寮 岩垣 : 《

(安廣 一一五) 高橋正慶(同) 高橋豐東(同) 高橋豐東(一一三) 高橋是東(同) 平安正(同) 原松苗(同) 原松苗(同) 原初算(一一四) 原新苗(同) 原杉苗(同) 原杨岐信 (安廣 一一五)

大舍人寮史生 鈴川

藤原清澗(二一五)藤原俊瀾(同)

大舍人寮史生 堀尾

高階三子(二五)高階光人(二十六)

內藏資兼造酒司 德岡

大江清平(同) 大江光久(同) 大江縣親(二一七)

地下家傳 目録

召使 青木

岡行文(九三) 宗岡行信(同) 宗岡行誠(同) 宗岡行鵬(同) 宗岡重吉(八九) 行春(同) 宗岡行賢(同) 宗岡行(同) 宗 (同) 宗岡行著(九二) 宗岡行徳(同) 宗岡 宗岡康二廉コ行(同) 宗岡行仲ハ九〇) 一) 宗岡庸行(同) 宗岡行篤(同) 宗岡行昌 宗岡行言(同) 宗岡行宜(同) 宗岡行知(同) 宗岡生行(同) 宗岡行富(九 宗問行實公同 宗岡行爲(同) 宗岡行助(同)

召使 青木

宗岡行延(九七) 宗岡行獎(同) 宗岡行從(同) 宋岡行姓(同) 宗岡行獎(同) 宗岡行奏(同) 宗岡行養(同) 宗岡行養(同) 宗岡行義(同) 宗岡行義(同) 宗岡行義(同) 宗岡行義(同) 宗岡行 [] (同) 宗田行 [] (同) 宗田行

少納言侍 川瀬後山根

内言・手 森源(像武(九人) 藤原輝昌(同) 郷實(九八)

源正義(九八) 正香(同)

源正篇(同)

第三冊(○甲本))

中務省史生 梶江

平景吉(100) 平孝(同) 平保道(同)

中務省史生 青山

大舎人寮 永井 大舎人寮 永井

藤井重長(同)藤井常祥(一〇二)・藤井重好(同)藤井東重(一〇一) 藤井東高(同)藤井東東(同)

加) 師歌(同) 師寒(同) 師身(六六) 師親(同) 師雅(六二) 師養(同) 師者(同) 師武(六四) 師養(同) 師我(六三) 師養(同) 師武(六四) 師教(六五) 師總(同) 師忠(六〇) 師定

平田權少外記職字

職等(七つ) 職等(骨) 職永(同) 永清 中原生職(六七) 職等(骨) 弘之(六九) 職之(同)

山口少外記两昌

中原生友(七五) 中原千俊(七七) 中原友範(七六) 中原生俊(七一) 中原友範(七二) 昌範(同) 中原致當 中原秀昌(七三) 中原邦昌(同) 牛慶同) 中原友興、同 中原英昌(同) 中原定友(同) 中原門昌(同) 中原辨昌(同) 定暦(同) 中原康敏(七 中原友俊(同) 中原发昌(同) 定清

(七九) 中原克昌(同) 中原展迎(同) 中原联昌

史生 青木治部少永宗岡 17光

宗岡行古、同) 宗岡行屠(同) 宗岡行志(八一) 宗岡行本(同) 宗岡行本(同) 宗岡行志(八一) 宗岡行志(八一) 宗岡信名(同)

史生 宗简宫內少丞縫成

| 「中原生態(八二) | 宗岡郷近(同) | 宗岡郷武(同) | 宗岡郷武(同) | 宗岡郷五(八四) | 宗岡郷元(経)直 | 宗岡郷武(同) | 宗岡常辰(同) | 宗岡部辰(同) | 宗岡部辰(元五) | 宗岡部辰(同) | 宗岡部辰(四) | 宗岡部辰(四) | 宗岡部辰(四) | 宗岡部辰(四) | 宗岡部辰(同) | 宗岡部辰(四) | 宗田部辰(四) | 宗田部辰(四) | 宗田部辰(四) | 宗田部辰(四) | 宗田部辰(四) | 宗田郎辰(四) | 宗田田辰(四) | 宗田田辰(四) | 宗田田辰(四)

主殿 青木

(同) 宗岡行純(八八) 宗岡行方(同) 宗岡行規(八八七) 宗閩行紀(同) 宗岡行親(同) 宗岡行親(同) 宗岡行親(同) 宗岡正時(八八八) 宗岡正行(同) 宗岡正行(同)

二)常典(同) 常芳(同) 元常(同) 賴春(同) 政朝(三) 常見つニー 義零(同 元春(同) 常有同 賴有同 常版同 常元(同) 政有(同) 俊氏(同) 賴長(同) 常誠(同) 常保(同) 政勝、同) 元有,同) 持有(二九) 公類(同) 常總(三 貴常(同)

姓春原後改藤原

助胤、三四) 成勝〇三三 成光(同) 助具(同) 助功(同)

藤嶋 姓秦後春原又藤原

宗順同) 忠貞(同) 規辰(三五) 成美(同) 親成(同) 忠正(同) 成直(同) 忠配〇三六 忠恒(同

源氏

松室 姓秦

重安(三七 軍村C三八 重焦同 重興(同) 重幅(同)

重義(同)

松室 重仲〇三八 秦氏

第一冊 (○甲本口 押小路大外記

師香(五八) 師胤(同) 師鄉(同) 中原師任(四一) 中原朝臣(四〇) 師象(五三) 師光(五四) 師宗(五五) 五七 師欄、九二) 師重(同) 師季(五二) 中原師安(四七) 師元(四八) 師晋(同) 中原師平(四二) 十市有象(同) 師千(同) 中原致時(同) 中原師遠、四 師當(五 師尚(四

地下家傳(目錄)

第一冊 (0年年1)

北小路家得

俊头(同) 俊水同一 維須(六) 国際(同) 大江晋人〇〇 一门 俊常、同) 俊方(一三) 俊坚(一四) 佐脈(同) 図盛一〇) 時人同一 俊名(同 俊真(同) 俊直(回) 上重(七) 維光同 學問行 千古八三 匡範(同) 魔忠へへ) 俊真(同) 成衡(同) 俊但(九) 俊幹、一一) 俊周(維時(同) 俊迟(同) 快俊(同) 医房(同) 俊泰八同) 周房(同) 軍光(四

北小路 大江氏

大) 俊冬同) 俊矩(一七) 俊卿(一八) 俊儿(一五) 俊任(同) 俊章(同) 俊興(一

地下家傳

日錄

小森家傳 姓丹波

使昌(同

忠行(同) 是基(二) 類豐(同) 重康(同) 康頓(二〇) 賴慶、愛」、同) 朝景(同) 賴充二二五) 賴重(同) 二六) 賴之(同) (賴永二七 賴平(二七 類是(山) 帝頓、同) が最近に同じ 類秀(同) 租房(同) **厨**只(同) 季服、同 重明、同) 類元(同) 法(量 亮(同) 綱梁 賴季八二四 朝東(二二 季景 同) 城康(同) 心紅河 忠野(同) 秀之(司) 損基(同) 忠姓(同 **個方**(同 頓真同 雅忠同 類出一同

細川源氏

築家(二人) 養國(同) 総服 同) 義誠(同)

七四五五

在俊里無足

算文型並

△廣胖廣資

同廣濟廣就

企廣勝廣篤

~ 同廣光

△局

△廣孟無足

□昌但(昌好)

同昌式 中絕 笛目億八德

常時無足八家 △印在住居 十一家 十一家

當時無足八家 △印在住居

笙 久敬 久住時之

商品學高宝

高安無是

同思彦 多简忠。 同一维心也爱忠氏

同忠元並 同胖秋

篳篥忠惟節女

简德秋

同景典世繁

同季光 **同季隨**並

安倍季良季賽(賢)

近黄

近雪近直

家 河近信 近陳

辻笙則是 川祭

近敦則賢

附錄

南都方舞辻一家傳余

余郷校曲ハ家々傳

篡英忠以忠克

芝△商易

為同

△落雅萬成

可近濟無足

東△友連友秋 近與紅節

外方好學

雞藥近後近理 同好文無是

近滿近和

△近兄近繁近

近方無足

天王寺方御扶持人十七家 並流家

七四三

南都方

笙舞則是 師匠家 笛近興 ニョル)

於舞者让家 八家々傳

篳篥季邑 笛昌福

天王寺方

8 同廣胖

賀茂祭哥忠誠 **忠彦** 同忠壽南北 忠壽琴持一同順番

近俊 光莧

附物

近興

人長 季良 忠彦

御神樂人長 忠誠

多家一同

附物 季良 三方師家隔番參勤 **人顯** 歌二人 忠惟 季邑

京都方御扶持人十五家 三方家別天保十五年改

七四

近興

近俊賀茂

総家 録(〇具請大夫権銀云セノ前ニアリ)

嚴有院殿寬文年中及第再興時大和國平群郡之

內賜高二千石樂人領配當御定目 家領米五百拾石 但三方ニテ五十一人 一人拾石宛

舞師匠料二拾石 一人宛同上

師匠料米九拾石 一人分同上

上中藝料米寬百石 五石宛 中礁二十人一人三

宛石

稽古料米或百石 三方十人宛 三方十人宛

配稽古料十人郊分配十七人之外公宛之 但藝料ハ雖爲二三男上首次第一〇三方十七人紹分

地下家傳 附餘

都合現米千二拾石

三節會小御所御學問所舞樂安韓 內侍所御前

以上

御扶持人參勤

御遊管弦多動 舞御覽諸寺社 御扶持人舞樂人家業御礼之上 勅會 正頻 舞樂人參動

発許

紅葉山樂人

現米八拾石拾五人扶持 太秦長城

右者常憲院殿御在世中已來在府其以前ハ樂人 **现米五拾石拾人扶持宛** 余 東儀越中守 同

一七四一

三方廻リヲ以テ年々替出府

坊官內侍原

本願寺

下間

同

二同

同

字野 金子 野田

辻

問 同同

下間 同 栗津

同東

佛光寺

稻田

中川 北小路

住心院

前田

小南

森田

福智院

喜多院

小嶋 同 松 坊

松林院

藤井 多喜坊

竹中後改多喜附屬于日戲院

侍法師井上坊 中司坊

大夫原

松木

杉田

(金上田

神足) 多田

理性院 報恩院

常住金剛院 勝安養院

七四〇

坊官四坊

古安八寺)

大夫中西

髙橋

侍陌間

坊官近滕

坊官雞務 坊官个小路 八嶋元侍法師改号藤木 岩坊 今大路 小野澤 前大路 磯田 大夫安田

藏井坊号北河原 大夫入谷

坊官芝之坊号松尾 (金山本)

侍日長 古守(寺)

古市

藤木

岸之坊号三好

侍片閩 柏村 辻

森山

大夫籐木

佐々木

侍富井

伊知地

宇佐美 世古 松尾 山本

(医大田 玉木

辻

大夫山田

華頂 地質 坊官怪田 角田 岩浪 小山

大夫松室 (金)順序不同) 三好 梅嶋 谷野

法相家

一七三九

坊官本問 坊官榎本 芝 侍岡本

小野

大夫河野 人保

矢嶋 八木

坊官大谷 隱岐 並河 鳥居小路

同

進藤

大夫武田 伊丹 渡邊

梅嶋

(附)侍人賀

望月 勝見

> 承仕坂堂(室) 山本 富小路 清水

> > 瀧口

長尾.

竹原

井上 承仕飛田

古畑

坊官菅谷 同 今小路 松井 同

侍初綱川 田山田 八木 伊丹 木崎 三上

山下

松井 脇屋 三谷

千種 内田 塩小路

西池

侍山田

御門跡方坊官諸大夫侍法師侍候人承仕家

大夫若林 坊官高橋 手嶋 成多喜 土橋 高橋 長尾 一條 小幡 橋本

御宝

言家 别

廣瀬 吉出 上田 水多 山崎 矢守 河窪

久富

嵯峨

坊官井崎 侍谷

野路井

衣笠

三上

地下家碑 附錄

醍醐

坊官大溪

飯田

同

坊官二松 山田

侍中澤

上野

田口 石塚

野路井

勘門

大夫山口 水谷 朝井 伊原 侍 大 音

井內 平井

左右田 北村

大夫北村

川川

一七三七

村田 甲村

醍醐家 大炊御門宝

第二十六册

廣幡家

三條家 然入江 森寺至常邦

柳田二代 丹羽至正庸四代 柏木二代 森嶋一代後中絕 村林一代

村上二代

井上〇月 濱崎 藤井至尚麗 蘆田 六代位

> 侍山久知五代 山本 一代 石田 逢利 中川 植田 FE

今出川家 代 湯口二代 高江一代

(中村一代) 長野 代

地一代

長谷川二代 川口一代

上原一代

山本至紙説 小川至祐信

中院家

岡本至清海 伊藤至倫賢

侍清水二代 大口至许善 野中二代 侍川中一代 荒木二代

中山家

三條四家 河村至季興

本庄

特横山一代 四手井三代 田中三代

實化葉二代後 柳一代

世堀川 奥川金桑孝四代 高津至求遠

醍醐家

侍川合五代 物加波 堀川三代後中絶當時久 神先一代 淡川 下司一代 小川至正富

德大寺室

侍芝本二代 山岡一代 香川 滋賀二代

水嶋一代

地下家門

附錄

廣幡家

岸水至至 長野一代

侍太田三代 谷口二C三C代

為西三代

念

第二十四卷

三條家 西國寺家

今出川家 德大寺家

第二十五册 花山院家

一七三五

浅井

平田

田中至正職

岡本一代

代

有栖川殿 侍高木大夫一代 新庄二代 山本 本五代基 一代塚田一代 度中川 栗津至清毅 牧一代 廣庭

H

侍青山一代 矢嶋三代後 府谷一代後 代 前四代 嶋岡四代 細川二代後 樋口一代 藥師寺三代後 田中 園井 代 代

大炊御門家 侍林四代 橋木 侍岩崎一代 見二代 春日 山本 場內三代 岡本一代 小嶋四代 竹村 松井五代 河原一代 上田

花族方已下以當時次第列之

田中

A

南部一代

岩田一代

藤木一代

山本 一 伊藤二代

小畑一代

介光一代

若松至永幅六代 大夫一代大夫一代

鳥山一代後

传佐々貴一代

八木原一代

坝內二代後斷絕

織田

一代後斷絕

田中至維性、維い

泉原二代

箕川二代

御牧八代

F 崎

岡本至保

應司殿

青木

小林

高橋

牧

熊谷 山本 難波 山 D 一代 代 野間一代 根岸二代 保田 小幡 四代 膈口 高田田

藤木 7

桂殿

嶋代

坂本 種田

一代

佐々木四代

下橋二代

伏見殿

鈴木八代 大開口三代 間 木 高城 大原 10 一代 15

井

7

三木 津田 小川三代後斷絕 集田一代 片山

朝倉二代後 生嶋 世生鳴 爪生三代後

七三三

地下家傳 附錄 信濃

小路別家

石井

藤木至經寬

松波至資施

朝山

際朝山 山本絕

塩小路 矢野

尾林同

吉村一代 仙石 松井 一代 代 一代 立野二代 岡屋 安平次公治二代 一代 鳉江 榊原 渡邊 代 一代 一代

上田

代

池永二代 茨木一代

田村

西村至世誠 隱岐 北小路 河野 五代图 津幡

櫛田二代後 廣瀬一代後 藤木 小西一代 中紀後 北大路一代後 山本中絕後 藤木中絕後 初川

侍村林五代

戶田三代

佐々木三代

平井二代

山田二代

伴代

日夏

嶋田四代

山村二代

七三二

伽厨子所領

高橋北八代 同膳部七軒

同小預大隅三代

同香衆 大隅廿一代

曹生奥 寺嶋 小林 (金)麻生 畑 伊良子 山山 和田 山科 岡本 高階 賀川 大町 馬嶋 河原 山本 三三角 問問 百々 太田 堤 守藤) 西尾 杉山 中山 111 川越 院雜色 盡所領 田中市四代 立入十五代 土佐三十二八三八代 九代

高三代

下鄉倉

高三代

村岸改松井 近衛殿 諸大夫舊家同族流(家)同新家所侍 度同五代 原田士二代 座田士三代

吉田十代

內膳司

同史生

齋藤元北川 濱嶋十九代

外絕家四軒

侍藤林二代 四中川 佐竹五代 進藤 山科 齋條 松本二代 田中一代 小山 北小八大路 今小八大い路 加治四代 佐久間代

院司

上北面

羽倉 小森 安田 梅辻

松宝 廣庭 吉田 [1] 吉田 岩橋 松下 松尾 赤塚 [1]

藤木

羽倉 藤木

松室 松宅 同

松尾 東辻

膝嶋 富川

鴨川

松室 森

橋本

秋川

金(松室)

(松室) 泉亭 膝嶋

陰陽寮

小泉 幸德井 至保源三十五代 繁原 星台

大黑 吉田 若杉 金

陰陽生

下北面

家別在其傳卷端(朱新附録ニョル)

藤木 福井 出山本 問司 御薗 馬同

高階 北小路 淺井

七三〇

廳官 主典代

井上

藏人所衆

嶋田至徳直

大石

佐々木

初川

南大路

山形 廣庭

小山北代

御壺召次

河北斷

山本 內滕

石川

III III

井上

壹岐

問初三代

鳥山八代

土山源氏

間代十一

村川八代

同家氏 度同十代 門八代 度富至武寬二十代後 同同五代

進藤三代

山中八代

岸大路四

三宅五代 山本五代

入谷二代 松宮三代 水口二代 進藤二代 橋本 田中 松田 河北二代 中川一代 水口 伊佐 上田 上田一代 三澤四代 水口三代 藤木二代 西居二代 川合 河合 土山 入江 山 中

同同七代

同同九代

同同五代

村雲十四代

四同四代

水口十七代

度同十一代 **阿同八代**

瀧口

姊小路至弘隆 澤村至成姓〇隆) 堀河 世二代 堀川主弘慶 町口再興後 小佐治圖書寮六代 高木至隆吉

年新附録ノ順ニ 河端四代

安見八代 三宅五代 津田六代 世續六代 中神元杉山 同三代 井上六代 石井六代

宇佐美六代 田原六代 水口五代 小野三代 六角三代 河野三代 林六代 坪田三代 か林七代 速水四代 山路四代 川口 伊良子五代 並河三代 藤林五代 荒木二代 水谷五代 木下五代 福井、四代

赤尾二代 戶田四代 **茨木二代** 岡田三代 平本三代 和田四代 西池二代

岡田四代

地下家何

大藏省兼 內匠寮史生 新見二代 堀川至弘慶 狩野二代

同史生 同史生 木工寮官人 佐野二代 篠田元大塚 柴田元上田 藤木初代 海野一代樹絕 新庄十代

同官人 件方中西六代 小野伴至東安 小笠原或初(編) 佐伯方池田三代 小野佐伯至職保 武田初代

伴方中田一代 佐伯方石原斯絕

同史生 廊井

同大森一代(を)官入中田、

局若林一代 同木村二代

佐伯方下村元大高(一代)(金)下村 周島 田元西村 同 山本同上 同池田同上(公新村初 同村上一代(冬今藤ノ

右生火官人 左生火官人 佐伯方岸提并政岸十代 **伴**方石塚六代 断絶 豐川武明五代畑

金衛士 使部 (多大崎一代 小田初代 金。藤井(改深海改電)十三代 安出一代

(宋: 左兵衛府駕與丁 中島初代

山

H

左小野十一代

召使 右座田十五代 左岩崎十一代 青木十一代 十二代

右峯 三年十一代 十代

三崎五代 神原 元濱崎改橋本 內海元駒井改多治見(沼) 和川四代

內含人

辨侍

座田(宝代) 後井元菊澤改 辻四代 荒木五代

五十川三代 吉村元白川

> 河副四代 中四代 废湘五二二代 河野七代 藤堂四代 齋藤五代 高屋、元內醫十九代至康氏 藤木三代 東辻五代

藤木三代 清水四代 大原五代 石田三代

CKD原二代 近藤三代 初川初代 藤林二代 山下三代 小島八代口

念上田初代 多小林初代 西村元澤九代同上 き時間初代 多高田二代 中嶋

地下家傳 附級

同史生 岡田三代 金川 齋藤 四代 元中神 岸本元大浦改辻

清水至利政 奥田元田中改岡嶋 平岡至利和 鈴 木

掃部寮

大炊寮史生

同史生

林至貞旅 富嶋至元賢

左馬寮

大嶋至友明

右馬寮

大嶋

十三代

陣官人

櫛田至久芳

渡邊至珍鏘

中大路元長改岡松

史 官務

官方

虫鹿主秀與 村田至豐春 王生至輔世 山名至亮功

山口元安倍姓 九代後斷絕御取立

營者 同史生 兵庫寮

使部余 八木元深井改西尾

高野

田山田 田田 田中(後樋口)三代 井上

加藤

山本

野々

村元惠美

五代

諏訪六代

大塚元中沿 泂

外記方

山口至昌言 大外記局務 **兼中務省平**田、 押小路至師身 至職学

志水改山口至邦昌

九代光 宗岡五經成

史生

青木

至行純

青木至行誠 三代根 十代 青木至行延

縫殿祭

召使

飯田、改永井 梶江 青山三代 小島改近藤

姊小路元牧改蓮池改戶塚

同史生 式陪省 同史生

中務省史生 少納言侍

> **造酒司** D 史生

官人服務

造酒 同史生 司史生

好川九代

澤波 元神足改北川又神

多村元德田改神足改中津川

德岡至盛校

川初代

岩垣元北川改佐摩改高橋改神田改山

城尾二代

谷口二代 永田二代 小森元小岛改 多村五代 原五代 多田元西村改八木 三崎二代 西原四代 西尾元安峰 德美元好出改中條

地下家得 附鉄

七三三

卷廿四 三條家 西園寺家 今出川家 徳

大寺家

卷廿六(七) 久我家 卷廿五C六〕花山院家 廣幡家 大炊御門家 醍醐家

卷廿九〇三七同 卷廿八(九) 門跡方 台家山門 言家 卷廿七八八八大臣家

中山家

卷州一(州二)同 卷三十八卅一〕同 同等門 法相淨土

卷卅二〇卅三一兩本願寺佛光寺坊官丼院家候

巻州三 ハナシロ営家傳

附錄

卷

同

一卷) 通計三十四(五)卷

知次任尾州守事未可等 等國守中古已來不拜任但於城藏二州子細可 因云諸國司之內除三太守之外山城尾張武藏

家傳目次當時以地下次第序班列之

卷 六位藏人 附

卷二 中務省史生以下至式部省史生 大外記以下至上召使

卷五 官務以下至上召使 卷四

大膳職以下至使部

卷六 内含人

卷七 內匠寮史生以下至使部

藏人方諸司至繪所

卷儿 樂人京都方 撿非違使 地下家傳

> 卷十一 卷十 同天王寺方 同南都方

卷十三 同在江戸 南都右方人

同寺侍

卷十五 近衛府 卷 十四

瀧口

卷十七 卷十六 院司 同

卷十八 下北面

卷十九

陰陽典樂二寮

卷山一 卷廿 卷二十 二條殿 近衛殿 內膳司以下至院雜色 九條殿諸大夫侍 條殿

. ;

應司殿

親王方

授子孫必經歷番長不可有直補事 番長之輩已後以二十余年勵勤之勢可有判

同月廿三日自兩大將御沙汰左注

上判授之事

已後當時有補新補之輩(之)子孫以十五歲已

安政元年十二月十日於非藏人口兩頭光愛朝臣 諸大夫官人等家傳自往古注進之處當夏御燒 以勞判授之事 舊家新家之章父子補府生事停止必經歷番長

失來年四月中(迄)"注進候樣被命候事

同五年二月八 日

上卵廣橋大納言胤定卿 一造改太政官印於陣 宣下 弁延光朝臣

行重能朔臣

文政六年十二月廿一日 太宰少「大」貮近年任之已來如八省輔可被任 宜

舊家之輩事

同 九年四月廿九日兩貫首以折紙於非藏人口被 若有氣國者以九箇國可被任事

達左記

地下蒙官階之輩皆悉家傳去文化二年已來之

傳來五月中注進之事

尤文化二年以後興家名之輩自其初代可注

地下派傳

附錄

進之事

自今七簡年之後二月中家傳注進之事

相違七億年宛限年次有無共可有注進事 但以來其度々不可有御沙汰之間以此順無

別段兩頭口達文化二年注進以

前書入度儀

於有之者此度子細書付可差出事

同年十二月十九日再興

補中務省

平田少外記中原職平

天保三年九月 同五年四月五日 **今度中務省位記捺印請印之節參勤被仰出事** 宣

自今停府隨身爲近衛府

左右近衛府生番長各以十二人爲員數

一七九九

此外之假服可准之

無服殤之事

之無服務本服三月約假三日一月之服二日七日之服房本服三月給假三日一月之服二日七日之服 日七歳以下之兒於爲內外親族之服

のである。 一年では、 一本では、

文化二年二月六日

來三月中兩貫首之內內可差出事

同三年十二月二十日 宣 右於非藏人口兩頭以折紙被達

地下諸家侍丼諸社祠官等為六位之輩自今猥

諸家諸大夫勿論雖侍猥不可有取立當任之輩追々他官可申上事

但於其家有勤功且於身元相正輩者非此限之

旨被仰出候事

右於非藏人口頭中將重能朝臣頭辨資愛朝臣

.同四年二月一日 宣

左右衛門 左右兵衛 權大少尉志 各十人

重能朝臣 爲永員數 上卿正親町中納言實光卿 左右馬 大少允 各十人

奉行

之通社司等任官諸門跡諸大夫 官位被許坊官

各以呼名可稱之由被仰出

寬延四年三月二日

為注進尤來十三日迄可出之事

被達之

寬政四年七月八日

一薨卒死稱呼之事

一减半假之事

一俗人出家假服之事

地下家傳附聲

一無服殤假之事

五位以上及皇親稱率六位以下達於族人稱死要奪令日凡百官身亡者親王及三位以上稱魏右四億條自來可守令條被仰出候事

减半假之事

一月(之)服可濟者五日過テ告來時ハ殘假五日一月(之)服可濟者五日過テ告來時ハ不假服

1 一月(之)服可膏者五日過テ告來時ハ殘假五日服二十可膏事

服二十日可淯事

同上七日過テ開死之類者假生減五日残服日敷十八日可着都合二十三日ヲ以吉服之事

服土日可着総合十五日ニ(過)テ吉服之事 ・ 同上十七八日過テ開死之類へ残日順假ニテ吉服土日可着総合十五日ニ(過)テ吉服之事

坊官 オメリ 候而可申上妄取立無用

可申上先如何法印舊号者不苦新家取立ノ輩へオメリ

橋(モ)オメリカでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

同月同日
右條々 櫻町院被定置仍今日被仰出

可申上

左右近衛府生各六人

右員數

櫻町院被定置未被仰出仍今日被仰出

同月廿五日

左右府生兩大將可爲判授事史生官掌一上可爲判授事

右二箇條依 櫻町院仰御治定

法眼坊官大紋指貫着用之事停止同月廿六日

大覺寺三寶院等坊官依爲永宣旨雖爲法印著

用無用

兩本願寺坊官雖爲法印着用無用

石清水以下社司官停止

右二箇條被仰出

同年十月

四年十二月廿七日 由被仰出蓮華光院。同事歟 由被仰出蓮華光院。同事歟

同年十二月廿七日

諸社々司官 諸門跡諸大夫 同坊官呼名

上北面 可申上兼官不可申上正四位上非常例妄不

着時雖無何用中後首 中五年於上階者八十歲以 上非常例

下北面 位 ョリ可申上於御取立者十五歲未滿、先達咱御定之通初位へ自今從六

申不上

右寬延二年十月十八 日御沙汰有之未被仰出

醫師 正四位下不可申上

召次 應官 內膳 司 陰陽祭 御厨 子所預 昇進

是迄之通

画所預 小預 於畵所預者自從六位上可申上從四位下不可申上初位自從六位下 河申上

諸大夫

親王家

於上階者七十歲以上种十臨時之御沙汰新家井二譜代七代後連續侯舊號之者共九歲以上可申上

地下家傳

取立候間先隨分六位(侍)三可取立事十歲以上神洋新的臨時之御沙汰近年安 更爲試大人正六位下官等可申上事於上階者八

三代連續候共収立家務者先六位侍ヲ經テ暫而

但 於舊家庶統者不經六位直 可爲路大夫事

取立但諸大夫一人モ 無之節可被取立之儀モ中六年初位從六位上妄取立 無用以 薄號可被 候様職事ョリロ達候間基通可被相心得

清華

中院 三條四 無用正四位下不可申上中七年初位從六位下妄取立

法親王 門跡方

唐專攝家門跡稱 諸大夫付置共寺用之節、呼名諸大夫如何妄無用之事承仕候〔組〕人ニ而可相

被仰出 大夫條々寬延三 新家取立ハ六位立是モ妄ニ部大夫無用ニ而可稱輸門ニヲヰテモ耕代斗五位立 年正月九日於洞中御沙汰未

諸

七五五

召使 官掌 正六位下不可申上 正六位上迄申上叙語 逝

左右馬寮 大会人祭 掃部祭 造酒司 內舍人

小舎人 **野不可申上** 一正六位上(下) 迄申 內豎 .t. 兵庫寮

主殿寮 匹五位下迄申上

大藏省史生 內藏寮官人 同史生

位階申間製 上官ハオメリ可申上 初位正七位下四十歲以

陳官人 從六位下可申上 是迄之涌昇進自 衛士

出納 以上正四位下妄不可申上中置御定之通從四位上七

圖書寮

爵不可申上

行事所 主水司

戶屋主 正六位下迄昇進 修理職 官位不

南座

右之頭申渡兼官(各)不可申上政官內舍人者本

可申上

府尉國介二厦可申上五位以前國守不可申上無 例願之分者兩局出納二元差留可然

九四

御隨身

撿非違使 若申上候者中下國(三)守國介可申上府叙顧五十歲以上加級不可申上兼官無用 正四位下八上一选中上正四位 非常例妄不可申上

上者

將可被補 生者自购大

不可申上大國者無用

龍口

大外記官務 攝家親王宮門跡諸大夫 中五

年

出納 藏人方諸司 官外記諸司 撿非違使 中 中六年於五位者中七八年 中七年於五位者中 六年 五年於四位者中七八年許 於四 者 1 1 九年 1-作餘

御隨身 瀧口 中院三條四諸大夫 中六年於五位者 中心年 中十年

中

17

自陰陽祭至御倉 樂人後院侍 中七年於四位者中九十年 中六年於四位者中八年

醫師 攝家門跡清華諸大夫 中六年於 中六年 19 位者中七八年

地下家傳

附解

中七年於法印者中八九年

寬保三年六月廿九日 左右近衛將監將曹 各二十人

左右衞門左右兵衛志 各十人

右員數被仰出

寬延三年九月廿四 兩局 五位立正四位上下透中五年

外記史 **| 設定へ轉大史叙録四十歳以上從五位上六正六位ドョリ申上標少外記へ轉少外記叙**

史生 加級不可申上 常例妄不可申上

七二三

家傳附銀白叙「○此佐ノ校異へスペテ男ト記人セシ回曹郎本ナリ今一、ノロラ略ス」

大則天下中則國小則一家其興廢存亡雖繫於氣數與○與〕時運然在其實主者業行矣嗚呼興者雖亡

者易夫有家者可不慎乎後裔者宜致意敬謹而勿忽云爾

地下諸家傳流布希少也於爰起余思念自天保(十)三壬寅歲九月上旬執筆已來方今都而三十三卷

集輯爲全部自後任遷兼叙補生死必可補書而勿懈怠矣不然則雖存傳亦有何益哉若有同志之人則

可許一見與妄仁心不可出於閩外子孫追致余志幸甚焉

維時 天保十五(年)甲 · 辰五月朔日 從四位下行大和守秦宿禰景文識

地下家傳附錄

1411



同日 同十五年八月六日 叙從五位下世二世 遷播磨守(大尉如元)

安政四年十一月廿四日 嘉永四年四月廿五日 平三十五歲 叙從五位上世九日

弘化三年

康壽弘僧男 [] "] 義教朝臣女

生 任河内介 叙從六位下+

同日 安政二年

內舍人 小林 藤原氏

祐之弘祐男

弘化元年十二月廿二日 任內舍人 事和三年二月一日 生

地下家傳 卅三

同二年二月十八日 同年同月十五日 嘉永五年正月十七日 同三年後五月廿九日

> 叙正六位下四十二 策左兵衛大志

轉大器 叙正六位上五十二

同年五月一日

為左兵衛府應頭

 去天保四平六月七日	同十二年九月廿七日	天保五年正月廿五日	同九年正月廿一日	同四年二月三十日	文政二年正月廿五日	同月廿三日	同十四年三月廿二日	同年七月十七日	去年十一月依御事也	同十一年五月十四日	同九年二月二日	同五年正月十七日	今般依六位被止國守	文化三年十二月廿七日	同三年十一月廿七日	同日	同年八月廿三日	
爲大宮御所御雇参勤之處去年	爲女院北面	叙正五位下四十六世	叙從五位上三十八世	遷大和守(大尉如元)	叙從五位下三十二世	布衣始出仕	補下北面(御護位日)	爲後院侍勤番		停下北面	叙正六位下#四世(中三年)	叙從六位上二十萬	守申督	遷尾張介(大尉如元)	任右衛門大尉(守如元)	任大隅守	叙從六位下十四章	

清和院)

弘化四年五月廿三日 同十四年正月十四日 去年六月依女院御事退散 叙從四位下五十六歲(去大尉)

嘉永二年二月朔日

免北面爲後院侍

為新清和(湖平門即)院北面

歸參于後院爲後院侍勤番

同年十月十三日

景偕景文男

同日 同十二年八月十三日 文政六年三月一日 叙從六位下七萬

天保四年三月四日 同八年正月廿一日 叙正六位下+五歲(中三年) 叙從六位上+1萬(中三年) 任右兵衞大尉

氣尾張介

同日

同十一年三月十八日 同十二年九月廿七日 今 旨 飨 補 東 宮 帶 刀 停下北面

去年十一月依仙院御事爲後院侍

十一月依仙院御事停下北面更伺候于女院御所(新

景康子相續被仰付

同日 同十二年十二月十九日 叙述六位下士五世 紀右近衛府生

安永元年十一月廿八日 明和六年三月一日 十三年五月十四日 補上北面 叙從六位上世三世 特左近將曹

同四年二月十三日 實父景則依病氣危駕下北面相體去府體身 任左衛門少尉

六年正月三十日 依岡本出雲守建清御改易賜闕所 賜所領

同年二月六日

叙正六位下三十四

同八年二月廿六日 同年八月廿八日 鮮所領 報河內守

建滑り活靜被補 下北面因之辦申 爲調家例即

同九年後七月廿五日 天明五年二月十八日 政四年五月十五日 平五十該 叙從五位下三十八章 叙從五位上四十五萬

卅三

景宏母質男元景德 臣女

安永六年八月十四日 天明三年二月八日 叙從六位卜七員

同五年二月廿三日 改量宏 积從六位上十三日

同四年六月十三日 寬政元年四月五日 任右衛門少尉

同日 同七年二月廿六日

任正六位下十九日

繁佐渡守

同九年後七月廿四日 父景資依所勞危篤也 家督相續

同年五月廿九日 享和二年正月廿二日 叙從五位下世大明

實政元年八月廿八日 學和二年五月廿六日 景宏依所勞危篇也 景文景空爲養子 家督相續

一七〇七

秦景康武量男實白并獅賽則男

同日 同日 正德元年七月廿四日 同七年正月十日 同月十八日 寶永四年四月十七日 享保二年四月三日 同年七月十二日 阿月廿六日 阿六年六月廿一日 同五年二月廿二日 元酸四年正月三十日 東山院御 柳雕伯補下北面 叙謂#七世(中五) 轉大尉 布衣始出仕 任有一方別衛門少志 叙從六位上十七萬 補下 承秋門院北面 補東宮帶刀 級正六位下二十二萬中三) 大尉如故 儲君御在所參劃

秦景则景康男實養子

同七年十一月三日 補下北面(去臘日)同五年二月廿二日 轉布(左卿)觸門太尉

同年十一月廿九日 死從六位上國主三國安永元年正月九日 死從六位上國主三國

秦景資景則男

寶曆三年七月卅九日 補府隨牙

改右府生武量次男右將曹兼雅樂牌助秦武福遺跡爲

明和六年五月九日

卒七十九歳

同年六月六日

同五年五月廿五日

派科門院即事停北面

同十年二月十六日 察從五位下

秦武重雄益男

第文十二年二月八日 | 叙從六位上s+g 明暦元年十月十三日 | 叙從六位下+三回 明暦元年十月十三日 | 叙從六位下+三回

寶永三年九月十四日 死主十四章 叙正六位上五十五章 叙正六位上五十五章 叙正六位上五十五章

秦武景武軍男實下北面

地下家傅 卅三

費永五年八月廿六日

死日九日

秦武福武量男

秦景資武福男

同 安永元年十一月廿八日 同日 明和六年三月一日 同十三年五月廿四日 **寶曆十二年十二月十九日** 寬延元年四 日 月六日 去本府 補下北面 叙從六位上#二世 博左將臂 4 爲有府生 叙從大位下+五

年月日

秦武友武廣男

年月日 女明十一 文體二年十二月廿一日 同日 (五期)年十二月廿四日 兼左衛門少尉 任左將監 4 叙正六位上

年月日 同日 漱宮內少輔

永正二年十二月廿五日

叙從四位下 叙從五位下

一武友男

年月日 永正十 生

一年七月十二日 叙正六位上 任左將監

同日

同十五年五月十五日 二年十二月廿二日 叙從五位下 皱越前守 漱左德門少尉

同三年二月三日

K一氏武一男

年月日

年月日 天正 年 月 日

叙從四位下

慶長十六年十一月廿一日 一氏男 任式部少輔 容:

年月日 秦武俊山調子伯耆守下毛野武直女 生

同日 同八年十二月廿六日 **元和三年二月七日** 任左將監 叙從五位下 叙正六位上

實一氏公武一門次男

年月日

年月日

秦建益武俊男

叙正六位上

任左將曹

同日山 年月日

年月日 年月日 秦賴種

爲左番長

爲左番長

年月日

任下野介

爲右府生

年月日

年月日

秦武將

年月日 同日 永享九年七月十一日

叙從五位下

長縣二年八月五日

叙正五位下 任石將監

1001

秦兼有

任左將曹

年月日

右長用以來二十二世之間記錄燒失不分明

任左將監

秦武廣兼任男

年月日

年月日

爲左府生

年月日

爲右番長

秦兼任

秦兼技

秦武供

任右將曹

年月日

秦武文

年月日

秦武成

地下家傳 卅三

秦氏三上家譜

小總位大花上秦造河勝廣隆後胤

寬平三年二八一月月七日 任左近衞將曹

秦公長

秦公里

任右將曹

秦兼[廣問康罪]重

秦長用依饒亡不分明

年月日

任右將曹

年月日

任左特監

年月日

爲右番長

秦近重

年月日 秦賴次

任左將曹

秦賴武 爲左番長

年月日

任左將曹

年月日

爲右近衛番長

年月日

爲右府生

秦兼清

年月日

年月日

高家侍三上 秦氏三上家譜 秦氏三上家譜

地下家傳

卅三

1001

報恩院候人

葛西政純

安永六年六月廿二日 與和七年六月十八日 同年八月廿八日 叙法眼セナセ 叙法橋七十里

森若狹守治晴不男稱号葛西也

當院動仕之者候處

右

明和七年取立候人以來限一代及中絕雖然右葛西家

之地跡當院所持有之也

大塚

泰慶

文政八年 嘉永四年八月廿八日 月 B 生 叙法橋二十七世

醍醐寺院家 無量壽院候人

寬永之比勤仕日忌日不知 石見上座淨意

辻

少貮孝知

延寶二年五月十六日 死(不知位階)

元祿三年七月十日 同十七年七月廿八日 大貳宗政 叙法橋五十三世 死(不知生日)

少貳宗親

死八十二世(不知位階)

當院普代之者江右家右家名相續申其子孫子今動仕 い也此外先代候人有之候得洪當時及中絕い也 初祖不知且宗熙之後中絕仍之寬政十年正月三十日

元嗾十一年八月廿一日 死六十一世

宗圓宗貞男

元藤十一年二月八日 同年十二月二十六日 延享四年十一月十五日 寶曆八年十二月十二日 叙法橋 死六十一位 得度九十世

義隆宗円男

天明四年七月二日 明和五年三月十四日 寶濟十三年十二月三日 享保九年五月十八日 4: 死六十一篇 叙法衙門十五回 得度四十世

敬忠義隆男

文化九年四月六日 同年十二月十一日 明和七年八月十一日 三年十二月八日 叙法橋 得度 生 叙法胆四十三

地下家專 卅二

> 女化十一年 近後衛心男

月 日 得度 4

叙法橋

報恩院候人

宇野宗景

寶曆八年六月十二日 文政四年九月十七日 誕生 叙法橋六十四日

い。世 院灣代者候處文政四年從近習歷類掌役所立,候人 宇野七一親治之末葉而民部卿法眼實端子孫也 右

一六九九

惟純酸敬男 元惟敬

同十一年三月十日 寬政元年二八三異月十六日 叙法限四十六四 天明七年正月廿三日 安永五年十月廿二日 延享元年 月 日 卒五十六世 叙法橋三十三員 改名性熱

篤敬惟純男

享和三年二月三日 安永八年九月十三日 文政二年十月廿六日 叙法眼四十一段 叙法橋二十五員 生

文化八年

叙法橋 生

寫永三年十月廿八日 平四十四 叙法眼

常住金剛院候人

野田方穀

同年二月三日 天明七年正月廿二日 寶曆元年 月 H 叙法橋三十九日 得度

同年七月廿日 右大佛殿炎上之節方瀔以前之鑄記紛失三十不相

理性院候人

同年十二月廿六日 貞享四年十一月廿一日 寬永十五年三月十日 金子宗貞念子十郎源家定十六代後胤 生 得度 叙法橋五十四

安永七年十月 享保十四年 月 H

同年 H

退分 得度 叙法橋玉十四

右大佛殿炎上之節平章以前。舊肥紛失。有不相

知候事

多喜坊

法橋玄意

同十年五月廿八日 寬政四年閏二月 死七十九世 從勝安養院日殿院工附属

勝安養院候人

地下家傳 卅二

竹中正意雜點頒重敬男

實層七年三月九日 享保五年 月 H 生 叙法橋三十八世

同十二年六月十九日 寬政四年開二月

候。付不書數甲候 門室院家日嚴院附屬以後之儀者從日嚴院注進 改多寫坊

勝安養院候人

寶曆十二年六月十五日 正德三年 月 濱崎嚴敬雖學桶良安養子 實泉州和泉郡 B 叙法橋五十世

一六九七

同五年六月廿三日 安永四年八月十日

平六十四個

叙法眼六十三世

喜多院候人

上田慶樂

天正七年 正保三年七月 元和八年十月廿五日 生 死六十八世 叙法橋四十四日

慶利

慶安元年

生

享保四年十一月 延寶四年五月 中絕相 海侍法師 喜多院譜代無住 死七十二日 叙法橋二十九世

賴常賴深男

天保二年六月十四日 安永三年八月五日 生 叙法橋五十八世

興福寺院家

六九六

松林院候人

山本宗秀

年月日 同年十一月二日 正保四年 費永三年十月廿一日 月 日 叙法橋 死 得度六十世 生

右宗秀以後今"不被取立候事

藤井

日嚴院候人

平章

定知舊記憶失

定能

定盛

寬永十年

年月日 延寶四年六月七日 生 叙法精四十四萬

盛胤定躬男

延寶二年

享保十九年十二月廿四日 月 日 死六十九世 叙法橋六十二萬

盛存盛胤男

西斯北年二月 元文五年五月廿二日 元禄十一年

死六十二世 叙法橋門十三日 生

盛與終春り

延享三年 天明七年十二月十九日

文化五年四月廿三日 買政七年十二月廿六日 平大十五日 叙法眼五十一日 叙法橋四十二世

盛祐盛與男

文政五年十月十九日 文化十三年十二月十一日 天明元年 死四十二萬 叙法橋三十六篇

盛榮盛帖男

弘化三年正月廿五日 文政元年 叙法橋二十九世

一大九五

享和二年十一月十八日 安永六年六月廿八日 同八年三月六日 寶曆五年四月廿一日 平六十七世 叙法眼四十二章 叙法橋二十三日 得度二十萬

奉雄春善男

天明六年二月十五日 明和四年十月十七日 寬政七年二月一日 同七年三月十五日 同年三月十七日 得度 死二十九員 改名春彭 叙法橋三十一世 十段

乔 東 泰 美 男

同年十月廿日 安永二年七月十三日 文化七年六月十二日 寬政七年九月廿八日 叙法橋 得度二十三萬 死三十八歲

春道春軍男

同九年九月廿六日 文化八年閏二月十四日 天保三年正月廿七日 寬政五年十一月七日 叙法眼四十世 叙法橋二十世 得度十九段 生

春海春道男

天保三年十月朔日 文化十一年九月十八日 得度 4: 叙法橋十九四

興福寺院家

文 政十二年二月十二日 文化十四年正月廿七日 同年十二月十九日 夏政八年十一月廿五日 安永七年十月十一日 平五十貫 叙法福 叙法眼日十二 得度十九四

玄泰玄學男

同年十一月二十六日 同十年閩六月廿五日 文政九年三月廿二日 文政五年十月五日 玄作故法眼玄郢男 叙法橋二十百 得度十九世

天保四年二月十三日 文化十二年七月廿日 叙法橋十九四

地下家傳 卅二

天保十四年二月十日 文政元年

玄延故法限玄縣男

叙法橋二十六章 得度

小嶋

春積法橋春端男

同年六月七日 享保五年五月十二日 元 以六年 月 得度 叙法橋二十八世

日

同五年十一月廿七日 明和四年六月二六日 本七十大世 叙法眼七十五世

养善者植男

元文元年 月。日 生

一大九三

文化十三年二月四日 卒三十八

同十四年正月廿七日 叙法眼四十三郎 双化五年十二月十八日 稱岸坊文化五年十二月十八日 稱岸坊文化五年十二月十八日 稱岸坊

快常法眼快順男

同六年三月一日 安化十三年十一月三日: 生 文化十三年十一月三日: 生

住心院候人

內藤玄良法橋玄秀男

安永二年五月十九日 死六十人員 等保十八年正月廿日 得度二十人員 報法橋

玄節玄良男

同九年二月廿一日 程度二十三十四年 一年 一十二章

玄貞玄良男

實政七年八月廿三日 名法縣三十五歲安永二年七月十一日 很速三十五歲安永二年七月十一日 很速三十五歲安永二年七月十七日 叙法縣三十五歲

章立法橋美元男

貞學三年 延享四年十月廿二日 月 日 得度

實體六年九月六日 同年三八十二萬)月十六日 死七十一世 叙法橋六十二章

Il more I' . 伊藤

快尚法衛快弁男

142

年月日 寬文八年 享保十二年十二月廿七日 叙法橋六十四 **克保三年三月十九日** H 得度 死七十六世

地下家專

快長快尚男

寬政四年十月二日。 安永三年五月廿三日 同七年正月廿六日 實曆二年三月十九日 享保二年 月 H 卒七十大賞 叙法橋四十一世 得度三十六世 **叙法眼五十八**■

快道快長男復伊藤

同年十二月十九日 明和七年三月一日 元文二年十二月十二日 實政九年七月十九日 天明八年十二月廿四日 叙法橋 4 叙法眼五十一世 得度三十三世

快榮快道男

寬政十一年四月廿二日 安永八年十二月二十六日 享和元年三月廿三日 得度 叙法橋二十三世 十一旗

一六九一

三上 稱松坊

珍秀法橋秀延男

秀睦珍秀男

同十年五月十九日 容玉+六章 實政四年十月十九日 叙法縣三十章 安永三年五月十九日 叙法縣三十章 安永三年五月十九日 名法縣三十章

秀舜秀睦男

天明四年正月廿三日 生

同四年五月二日 死二十四章 文化二年七月八日 叙法橋二十二章

秀堅秀睦男

文政十二年三月四日 叙法眼宫十章 文政十二年三月四日 御送馬二十三章 文化八年閏二月十四日 御送馬二十三章 文化八年閏二月十四日 御送馬二十三章

秀賀法眼秀堅男

若王子候人 三上

定應法橋秀安男

元文五年九月十五日 死人十三國 真字四年十二月廿五日 得度 有法的元年正月廿日 生

將應定應男

寶曆二年七月廿二日 卒五十七章 李保十五年十二月十五日 御法橋三十七章 李保十五年十二月十五日 御法橋三十七章 李保十五年十五月廿三日 生

秀伯將應另

寶幡七年正月二十日 得度三十日 享保十九年十二月廿二日 生

地下家牌 卅二

實政六年三月六日 和法院五十二章 實政六年三月六日 和法院五十二章 天明七年十二月十九日 和法院五十二章

淳應秀伯奶

源秀淳應男

同年六月十九日 改名秀学文化小四年三月二日 叙法稿三十五文化小四年三月二日 叙法稿三十五文化十四年三月十日 得度

六八九

叙法限

文政四年八月廿六日 同月廿七日 死 叙法橋四十六世

元好故元陣男

天保九年十二月三十日 寬政十二年 月日 生 落餝(元近艦家侍 從六位上) 因幡介

同年七月廿三日 同十三年七月廿三日 叙法橋四十三世 返上位記

稻田

一六八八

政觀二條家侍隱岐守源政率男 生

文化六年三月四日 同十四年八月十八日 天保二年三月廿八日 寬政四年七月二日 叙法橋十八歲 **卒五十二黄** 叙法眼四十二

自若王子 至無量壽院

佛光寺坊官家傳

候人

粗一類粥男

天保二年 弘化三年十月五日 生 叙法橋十六世

下間

賴敏法印賴靜男

天明七年十二月十六日 天保四年五月十一日 **文**政七年九月十七日 文化七年二月廿八日 享和二年七月廿七日 4 卒四十七篇 叙法印三十八日 叙法眼二十四世 叙法橋士六貫

地下家傳 卅二

天保五年九月廿五日 文政九年十二月十九日 文化八年二月一日 類功頓數男 生 叙法眼世日 **叙法橋十六章**

賴世級功男

嘉永五年九月廿四日 天保十五年五月六日 文政十二年 生 叙法眼世二 叙法福士大震

栗津

安永五年 月 元庫近衞家侍日向守元昭男 H 生

二六八七

賴尚賴房男

賴篤賴尚男

同十一年十月十四日 一年十月十四日 一年十月十四日 一家法眼五十二 家法眼五十二 家法縣百十三家

傾靜頻篤男

賴與賴靜男

文化六年二月十五日 卒五十以 教法稿二十七章 穿和元年十二月十九日 叙法眼三十四章 天明六年後十月三十日 叙法眼三十四章 天明六年後十月三十日 叙法稿二十七章 文化六年二月十五日 卒五十以

賴隆賴與男

天保十四年六月十三日 卒六十四世 文政四年十二月十九日 叙法眼三十一世 文政四年十二月十九日 叙法眼三十一世 安永九年四月三日 年六十四世 安永九年四月三日 生

賴船頻隆男

死 叙法情

賴良法眼

正保四年十二月十八日 寬永十四年二月三日 元和四年十一月廿二日 天正十九年 月 日 本并十七段 叙法印四十七篇 叙法眼二十八世 生

天和三年正月廿八日 延保七年二月十日 寬永十四年 慶安四年六月廿三日 月 四十一次 叙法眼日十三世 叙法橋十五世

賴房賴祐男

元祿四年十二月廿一日 寬永十七年 同十五年二月十九日 H 死六十三世 叙法福五十二世 生

地下家傳 卅二

一六八五

寬政九年十二月廿六日 安永二年 享和三年四月七日 月 H 死三十一歲 生 叙法橋二十五萬

仲之 仲 等男 實 汇 州 朽 木 領 主

天明四年

月

H

生

同十三年正月廿八日 文化五年正月十七日 文政五年九月六日 卒四十世 叙法眼三十四 叙法橋二十六章

仲稠仲之五男侍從

天保三年二月三日 文化十四年三月九日 生

弘化三年十月廿八日 叙法橋十大司 叙法眼三十日

下間

少進家庶流

年月日 慶長五年九月十五日

年月日 年月日

仲以仲納男大貳

叙法橋

仲好仲以男大貳

年月日

年月日 年月日

仲長仲好男大貳

年月日 年月日 年月日

叙法儒

一六八四

同十年三月廿二日 位階辦退文化四年十二月十七日 叙法橋三千章 天明三年十月三日 生

仲潔・仲書男 實丹州經部、郡事)領主 少進

天保八年十二月廿六日 叙法即三十四届 叙法称十六四 叙法称十六四 叙法称十六四

仲充仲潔男

弘化四年十二月十七日 叙法橋十六章 于保三年 月 日 生

C

下間 少進家庶流

仲短仲英 大鶴

地下家傳

#

安永九年六月廿三日 李六十九章 安永九年六月廿三日 叙法赐三十五章 穿保十五年十二月廿六日 叙法赐三十五章 安保十五年十二月廿六日 叙法稿十九章

仲香仲对時從

同七年十二月八日 卒二十一章 安永五年正月廿一日 叙法眼二十五章明和四年二月四日 叙法稿十六章

仲曹仲香男 實仲短三男大貳

寛政八年八月十九日 死三十四年 寛政八年八月十九日 死三十四年 天明元年八月十九日 死三十四年 大明元年八月十九日 死三十四年 大明元年八月十九日 死三十四年 大明元年八月十九日 死三十四年

一六八三

元和二年五月十五日 叙法明三十二章 和法称十二月十五日 叙法明三十二章

仲此仲孝男少進

第文十一年七月十九日 ~ 本十六歲 正保二年十月十八日 叙法职五十三歲 正保二年十月十八日 叙法职五十三歲 医水十二年十二月廿四日 叙法精三十三歲 医长九年 月 日 生

仲令仲此二男少進

正德二年十一月十一日 卒*+=章

仲英仲令三男ル進

安永四年九月五日生安永四年九月五日生

事和三年六月廿三日 位階離退三十八日 安沃橋二十県 電政大年十二月廿一日 安沃橋二十県

仲一仲懲養子 實攝州脈田領主

以上不叙僧位

賴玄仲寫男

享保十五年十一月十二日 質文十一年 費永八年二月廿八日 月 日 叙法橋四十二章 生 死六十世

賴英賴玄男

年月日 元文四年七月十日 安永四年十月 H 叙法橋 4

賴 寬 賴 英男 曾播州縣田領主

天明三年十二月廿三日 明和八年三月十七日 同十二年正月廿八日 享保二十年 **西曆四年五月一日** 月 H 平門十九四 叙法橋二十世 4 叙法印三十七世 叙法眼世八世

地下家傳 卅二

賴明賴實男

文化七年十月十日 寬政八年三月一日 天明二年二月八日 安永二年正月廿五日 寶曆七年 月 日 生 本五十四世 叙法印四十四 叙法眼#大篇 叙法精十七日

賴之戲明二男

文政十一年十月十五日 享和二年 13 日 死非大理(不叙僧位) 4:

下間

天文二十年 月 兵庫項三位入道賴政十四代孫述賴嫡男 仲孝(小淮里)

B

4

一六八一

寬文十二年八月十九日

叙法橋

類深伸弘弟勝時男 部期

正保三年十一月十九日 卒六十二萬 實永十四年十二月廿八日 叙法印五十三章 同日 慶長 天正十三年 九月十二日 叙法眼 4 叙法橋二十萬

仲虎仲玄男刑部卿

年月日 寬永十四年十二月十八日 叙法橋 寬文三年二月十九日 医安二年六月廿八日 叙法眼

仲弘仲虎男刑部闡

年月日 寬文十年九月廿三日 慶安二年六月廿八日 賴利仲以男

年月日

寶永八年一〇二里)月廿八日 叙法橋

享保二年三月一日 同六年七月廿三日 叙法眼

下間 刑部卿家庶流

仲俊仲玄二男

寬文八年六月廿九日 恩長十年 月 仲富仲俊男 H 死六十四歲 生

寬永八年 延續三年十月廿三日 月 死四十五世

年月日

生

同十五年八月十六日 享保五年八月十三日 延寶二年 月 日 生 死五十七世 叙法精四十七

賴孝朝經男內內

明和九年七月廿一日 享保五年 月 B 死五十三世(不叙贈位) 實同姓大廠劑

五年 月 賴玉柳楚二男 日

同二年九月十一日 天明元年十月三日 死世八世 叙法橋 世七世

賴和賴玉男 實三州奧嚴領主 刑部卿 生

天保三年正月廿八日 文政七年八月廿一日 文化二年十二月十四日 叙法眼二十八世 叙法橋二十世

賴恭報

天保三年 月 H 叙法稿

下間

兵庫頭三位入道賴政十三代孫從五位下右兵衛尉賴康男 賴廉刑部卿

年月日 年月日 天文五年

叙法眼 叙法橋

寬永三年十月廿日 卒九十一世 叙法印

年月日

仲玄賴康二八三具男刑部卿

一六七九

下間

兵庫頭三位入道賴政十四代孫光輯二男

賴藝宮內卿

元和二年九月一日 本++食 一年九月十九日 叙法职《+元章 大平十二月 日 叙法职《+元章 大正十九年十一月 日 叙法职《+元章 大正十九年十一月 日 叙法代《日本章 大正十九年十一月 日 生

仲 友 賴藝男 實同姓

寛文二年五月三十日 卒五十□寛永十三年十一月廿一日 叙法職⇒五章慶長十七 月 日 生

仲雪仲友二男宮內卿

常憲仲雪男大進

同四年十二月 寶永三年十二月十六日 ~四·人以 同十二年二月十三日 叙法眼 元禄二年十二月十六日 ~四·人以

賴永常憲男大進

享保十五年七月廿日 死三十七章 在镇五年三月五日 叙法橋十二章

賴經 賴永男 實際體第 宮內鄉

本願寺 東本願寺 佛光寺 本願寺 中本願寺 佛光寺 本願寺 住心院 喜多院 松林院 日殿院 勝安養院 整住金剛院 理性院 報恩院

本願寺坊官家傳

地下家傳

卅二 (卅三十)

【〇い本此俗以下ナシ】

上田 源 侍

喜村(源喜長男人)

同日 窓永五年後二月二十日 叙從六位下五十三 家政十二年〔十三年八月廿一日襄〕 生 電政十二年〔十三年八月廿一日襄〕 生

0

神足 源 侍

直詮(源直承男 實際原正令男異)

安政二年三月十八日 死人+曾 安永七年二八年十一月廿二日景〕 生 安永七年二八年十一月廿二日景〕 生

仲連源周直男

安永三年五月廿三日 解官返上位記明和元(九小)年三月十三日 伊叙從六位下三十三 据保元年十一月廿六日 生

同十年二月廿八日 叙從五位下門十二同日 任長門守 任長門守

同四年正月十九日

卒六十七世

渡邊 源 侍 (〇以下以本十七)

直源寫男

同日 文化九年四月十六日 叙從六位下#九章 天明四年十一月十七日 生

0

文政十二年十一月十六日

醉官返上位肥日十六日

中御門 藤原 侍

嘉永三年三月十八日 死失主義 (華原胤高男 男) 在近江介 (正県)月(十一県)日 生 近江介 (正県)月(十一県)日 生 (正江介 (正県)月(十一県)日 生 (世紀) (東原胤高男 男)

地下家傳 卅二

喜収喜昌男

文化十一年八月十四日 辭官返上位記 任右儒門(兵儒聚)少尉同日 任右儒門(兵儒聚)少尉明和元年十一月四日 毕宫返上位記

同日 「大夫叙正六位下五十二歳

同日

同日 (中七) (中七) (中七)

任和泉守

天保二年三月廿八日 任伊豆守六十人家同十一年八月廿一日 辭兩官

同四年七月三十日 叙從五位上六十九年

文化五年(十一月二日_{異)}生

天保十二年十月六日 侍叙從六位下三十四章

同十四年五月十二日 辭官返上位記 任左衞門八兵衞署]權少尉

宣喜故邦敬男

同日 安政二年九月廿四日 叙從六位下世四屆 天保三年 月 日 生

0

解号(2)

多田 源姓

忠慎忠成男

天保十年(六月十九日書) 弘化四年八月十八日 級正六位下九世 4

嘉永七年六月十日 叙從五位下十六世

任伊勢守

(稱号じ)

松本 源姓

勝豐源勝允男

享保七年九月八日 世居十三年十月十四日 生 传叙從六位下日十二世

明和二年六月十五日 同日 辭官返上位肥 任有兵衛少尉

地下家傅 卅二

同二年八月十日 同日 明和元年六月二十日 侍般從六位下三十五日 辭官返上位記

享保十五年八月十二日

同日

同九年八月十日 任和泉守

同日

要天夫叙止六位下四十四世

同九年二月十三日

同日

叙從五位下五十一世 任能登守

安永三年五月十三日 卒五十三日 任左兵術大尉(守如元)

稱号じ

杉田 源姓

喜昌源喜承男

任左衞門少尉

野失我 正六位下三十六章

叙從五位下西十三世(中六)

一六七三

安永五年九月廿二日 日四日 同七年十二月廿二日 大明二年十二月四日 天夫叙正六位下廿二段 侍 叙從六位下二十日 任若狹守 辭官返上位記 任伊勢介 解官返上位記

武行貞紀男 實源恒義男

同出 同六年十二月廿二日 文化二年十二月十九日 實層六年十一月十六日 同十四年二月廿五日 間大夫叙正六位下五 侍叙從六位下五十章 叙從五位下六十二歲 任若狹守 辦官返上位記 任若狹介

忠行武行男

文政五年十二月七日

平六十七世

同日

任左京大進(守如元)

同日 文政 天明五年四月六日 同四年正月十七日 安政三年二月十九日 同十二年四月十四日 天保五年三月十六日 同日 后日 文化十二年七月廿八日 磊永二年九月廿三日 七年正月十二日 然大夫叙正六位下四十段 卒七十三官 侍叙從六位下三十二世 生 叙從四位下七十二章(中六 叙正五位下六十五歲(中六 叙從五位上五十八世(中七) 任修理少進、守如元) 叙從五位下五十世(中九) 任若狹守 辭官返上位記 任伊勢介

弘化三年正月十八日 寫永三年九月十六日 天保十四年八月六日 文化八年(正月六日異) 忠成忠行男 實聖護院官 生 選遠江守三十六日 叙正六位下三十三章 叙從五位下四十世 任伊勢守 實聖護院宮諸大夫

忠眞(橘忠大男童)

同日 任若狹守 阿曆二年四月二日 经工术位下产生 经职务工年四月二日 经一能家民大夫候大乘院御門隊 明曆二年四月二日 生

忠貞忠眞男 元忠起

同十二年十一月二日同十年十二月十五日

本七十二日

叙從五位下七十世

同年十二月廿四日

同十四年三月三十日

群官返上位記 當大乘院禪門跡諸大夫 寶曆六年七月廿七日 卒五十三世 聯大尉

忠直忠貞男 元忠英

實延三二章3年十一月廿八日 辭權助同日 任圖書權助任圖書權助任圖書權助

實際七年 月 日 生實際七年 月 日 生實際七年 月 日 生

地下家傳 卅二

寬延元年間十月十九日實保二年二月十七日

叙正五位下四十四日 叙從五位上三十八世

(年月日不分明

力見

)(〇以上)

.

特法師・岩井上坊(姓橘澤)上北面・岩

正慶山前之儀者燒失二而不相知

天明元年十月三十日 - 死人+九章 安永八年八月廿七日 - 叙法橋人+七章 宏永八年八月廿七日 - 叙法橋人+七章

榮慶正慶男

享和三年十月二日 死五十七章 實政八年二月十日 叙法稿五十章 叙法稿五十章

面(宋) 中司坊 (姓藤原*) 侍法師

專清專亮男

同十年正月十三日 死五十九日 寛政元年五月一日 叙法稽五十日

專房專消男

專信專房男

降消法眼永有男

同四年七月十六日 同十四年十二月十一日 文化二〇三萬)年十一月十五日 實政五华五月廿三日 **文政六年二月三日** 卒三十二章 叙法限世五世 叙法橋士五世 得度十三(四 馬)世

隆盘法眼隆淵男(實永有二男事)

寫永三年七八六書)月四日 同十四年正月十四日 天保三年正月廿七日 同十三年二月廿五日 同五年正月廿五日 文政四年四月廿三日 享和二年二月十五日 叙法印四十二世 叙法眼三十二 得度二十世 改隆想(〇八本前十入カハル) 叙法橋廿一世 本四十九世

降延降惠男

文政九年十月十八日 地下家傳 4:

> 同十四年五月九日 天保八年四月一日 年正月十二日 返上位肥十人世 叙法橋十五世 得度十二日

實際原質維男

弘化二年八月三日 弘化一年四月廿五日 歸永六年五月八日 文政十年(十二世)月(廿五里)日 隆賢峰思男實 叙法眼世七四 叙法橋十九世

(上北面)

(城戶坊 侍法師也

專站

年月日不分明 明脚十年十二月十九日

一六六九

貞享四年三月十四日 叙法印五十七月

淵春淵英男

寶永五年九月六日 寶永五年九月六日 寶永五年九月六日 次孫門三十九日 次孫稱書四貫 天和元年十二月十五日 初法即三十九貫 次孫稱書四貫

隆英淵春男

元文五年正月廿七日 卒三十九員 司士年十二月七日 叙法职士之章 司士年十二月七日 叙法职士之章 司士年十二月七日 名法职士之章

實際尾、前界、大納言隆照(之馬)剛男

實保三年十一〇二萬八月十五日 得度十二萬寶保三年十一〇二萬八月十五日 叙法稱土五章寶歷六年十月三日 叙法和曹十章 叙法即曹十章 叙法和曹十章 和大年正月廿二日 叙法和曹十章 和法和曹州司 中,一年一月四日 李五十章

同八年二月十一日 明和三年二月十一日 初法橋+五章 同十四年三月廿八日 得度十三章

實政九年五月廿二日 卒三十人章 實政九年五月廿二日 叙法稿十五章 安永二年十二〇一里月十九日 得度十百章 安永二年十二〇一里月十九日 得度十百章 安永二年十二〇一里月十九日 得度十百章

年月日不分明

4

年月日不分明 文館元年六月廿三日

叙法印

任齋永満男

年月日不分明

叙法橋 叙法眼

元配三年九月三十日 本六十九世

年月日不分明 年月日不分明 大永七年 月 B

叙法眼

地下家傳 卅二

叙法橋(眼車)

大永三年八月九日

永正元二五皇二年月 日生

叙法印

淵灣任齋男

叙法橋

天正十八年十一月十日 卒六十四日

同十九年十月廿九日 歷長十八年三月十日 永祿八年 月 B 卒五十五 段江橋四十九百 4

口宣等雙失二村元和以前之儀委難相知候 元和五年南都大火之節松井家類燒依之肥饑

任濟淵永男

寬文六年四月一日 万治二年十二月十二日 **隐安二年八月十四日** 文献四年 月 B 叙法眼六十五世 叙法橋五十五世 本七十二四

淵英任濟男

寛永八年 月 日 牛:

置文十三年二月十九日 万治二年 月 日 叙法眼四十三世 叙法橋出九日

一六六七

地下家傳

安永四年六月廿三日 卒五十二家

賴恭舞尚男

同十二年十二月十二日 卒 四十七章 安永七年十二月十二日 叙法限□□章 安永七年十二月十二日 叙法限□□章 明和四年十一月十二日 叙法限□□章

弘恕賴泰男

高永六年三月廿五日 叙法阳昌士章 文政四年十一月十八日 得度人章 文政四年十一月十二日 敬法橋士章 天保四年二月廿三日 敬愛敬甘 被愛敬甘 敬法橋士章

庸德愛敬男 實愛敬弟

屬永三年三月十一日 叙法眼〔橋舞〕+±♥ ハガ年十一月十四日 得度+≡♥ 天保七年三月廿三日 生

松井姓源

同十一年三月十四日 寬永元年三月 B 卒六十六世 任間上座五十大了

年月日不分明

万治元年十一月

任寺主

籍官退職

年月日不分明 生卒任叙

舜恕源成清男

寬永十七年 月 H 得度四十七世

年月日不分明 貞享三年二月

任寺主

元祿四年後八月廿一日 平五十二章 叙法橋

地下家傳 州二

> 實平老屋男 生

寶水六年十月廿三日 元祿六年二月五日 寬文十一年 月 H 叙法眼三十九世 叙法橋世三貫

享保五年七月廿三日 年月日不分明 本五十世 **那上棚任**

成美舜義男 資源成良男

同八年二月十三日 享保七年十一月廿四日 寶永元年 月 B 得胜十九世 叙法橋二十世

年月日不分明 享保十三年五月十一日 任寺主 本世 1 世

享保九年二月九日 同廿一年三月八日 同十七年四月廿六日 舜尚成美男 得度九日 叙法橋十三首

一六六五

叙法橋

嘉吉元年四月 女安三年 腮仁元年 三月十七日 月 日 日 叙法眼 任上座

弉舜隆舜男

年月日不分明 永正二年五月二十一日 女明十八年 寬正六年 月 月 B H 任寺主 叙法眼 叙法橋

興舜排舜男

永正十七年後六月十四日 同年 女明三年 H H B 叙法橋 任權寺主三十二章 卒五十段

胤舜典舜男

生

年月日不分明

同年 大永元年 同四年二月十四日 月 月 B 日 任上座 叙法眼

尊舜與舜男

亭禄三年 永正六年 水祿八年二月八日 月 月 H 日 卒五十七歲 任寺主北二

實。舜國舜男

天正五年二月十一日 元鶴元年 天文三年 月 月 日 B 任權上座三十七 卒四十四歲

年月日不分明 永祿十二年 **顾長十六年十二月十日** 月 長舜實高橋維金男 叙法橋 叙法眼四十三

弘安元年十一月五日 月 日 H 卒四十八重 任都維那 4: 十五世

嘉曆二年

頁治七年二月十五日

本四十二世 任寺主三十五日

日 H

正和二年 月 年月日不分明 弘長三年 月 何四年 月 文保元年八月五日 : 本五十五章 日 F H 叙法橋 任寺主五十一世 叙法眼五十三萬

年月日不分明 正磯三年 文和三年六月卅日 同年九月十三日 貞和二年六月四日 中大十五四 任寺主 叙法橋 叙法眼*+七日

專舜泰舜男

至德二年七月廿五日 年月日不分明 任都難鄉

年月日不分明

任照寺主

年月日不分明 间三十一年三月八日 間水十九年 日 叙法眼 叙法橋

地下家傳 卅二

一大六三

天保五年正月十三日 嘉永二年後四月九日 同七年八月六日 叙法印四十二 叙法眼#五 叙法橋十五副

福智院姓源 三綱職

信實從五位下親安男

年月日不分明 平台二年 年月日不分明 保元三年 月 立實信實男 日 任寺主 叙法橋 生 配伊豆园

年月日不分明 平治二年 月 久安三年 B 日 任權寺主 **坚居住福智堂**

治承五年三月十二日 久安六年 承安三年 月 日 H 卒三十二費 任上座中日改

玄能玄實男

安貞元年十二月十四日 承久元年 保元二年 **融**航元年十月十七日 月日 月 日 平七十九段 任上座六十三世 叙法橋七十一貫

良舜玄能男

同年五月十六日 同年 文永五年 建保元年 H 日 叙法橋 任寺主五十大 生

良義良舜男

正德三年二月廿五日 辭官返上位肥退職四十三日 年月日不分明 任權上座

彰迪了舜男

同九年三月廿三日 卒#大課 享保七年 月 日 任權上座#回顧

專舜法橋義迪男

寶曆三年十月四日 卒三十二章 程曆二年十月十五日 得度大章 同十三年十一月十五日 得度大章 原代入年九月廿五日 生

專盈法限專舜男

地下家傳 卅二

延享四年六月廿三日

文舜法印管靜男

天保七年正月十九日 卒六十章 安永六年六月十六日 叙法嗣母十章 安永六年六月十二日 叙法嗣母十章 安永六年四月廿五日 叙法嗣母十章 安永六年六月十六日 安永六年六月十六日 生

文政六年九月十一日 得度+Eg 文化七年五月廿三日 生 定庸法師貞恭男

盛舜英舜男

年月日不分明 天文十五年七月廿八日 年月日不分明 得度 叙法眼 叙法橋

年月日不分明 天正十八年十一月十一日 任都維那 年月日不分明 慶長八年八月八日 任寺主

良舜極舜男

年月日不分明 質永十一年七月十九日 元和五年三月 生: 得度任都維那

中絕

同十六年二月六日

叙法眼三十三四

意春

年月日不分明 延寶元年 万治二年六月五日 月 日 任權寺主 得度任都維那

月 H

宣舜 意春男 元宗舜

元禄四年八月六日 年月日不分明 延寶九年八〇六月月廿三日 **頁享三年** 月 寬文十二年 月 日 日 244 得度 生 任權寺主

寬文十一年 同六年二月五日 元祿四年九月十日 月 了舜宣舜男 日 生 叙法橋世三世 得度#一世

大大〇

至德元年五月十三日 永德二年十二月廿六日 同四年後五月七日 月 卒六十二世 任排上座五十八世 叙法眼五十五章 叙法橋五十三世

實舜自舜男

明德二年三月十六日 三十年十月五日 **永八年九月四日** 月 H 任權寺主三十三世 本五十五贯 任開和維那十三日

懷舜寬舜男 元貞

永亭四年正月八日 年月日不分明 年月日不分明 永廿一年五月十三日 任都維那 任權寺主

網舜以舜男

應永什五年 月日 生

卅二

宜舜鄉舜男

長亭元年十一月四日 文明十一年 月 同年五月八日 殿仁元年五月七日 永亭四年正月

卒七十世

B

叙法眼六十二級

叙法橋 任上座五十四 任都維那十五日

日

年月日不分明 文明元年十二月廿三日 康正元年 月 B 叙法橋 得度十五世

任上座

叙法眼

英舜宜舜男

永正十七年七月十三日 年月日不分明 年月日不分明 任權上座

六五九

多門院、東三網雕

泰實藏人大夫入道仲行男

中絕相承不分明 中絕相承不分明 中絕相承不分明

青華

建武五年八月十二日 任上座大十九贯 年月日不分明 叙法版五十二章 双法版五十二章 文永七年 月 日 生

延文五年十月廿二日 卒九十二世

範舜清舜

歴安元年五月十九日 マネナニは を変元年五月十九日 任上座ネーは 原暦四年八月十四日 叙法橋 ミーコは 原暦四年八月十四日 叙法橋 ミーコは ので変元年十月十九日 任上座ネーロ を変元年五月十九日 マネナニは

源舜範舜男

應安元年十一月廿八日 年期 在鄉北 # 5 章 展安元年八月廿五日 任瀬寺主 # 5 章 展安元年十一月廿八日 卒三十二章

貞舜 源舜男 質闆智院法眼來舜男

應安元年三月廿八日 任 二都維那三十九日 元億二年 月 日 生

明和六年正月十八日 叙法即四十萬實際四年後二月廿四日 叙法版书本章 實保三年四月十九日 叙法版书本章

夏曆五年 月 日 生

安永元年六月十四日

2年四十三世

實政八年十一月十八日 卒四十二回 网络八年三月廿二日 叙法橋十九回 叙法属世五回 网络八年三月廿二日 叙法属世五回

泰雄[宣靜] 泰衡男

實政十年二月十五日 叙法版世大郎五年正月十三日 得度十三章 安永二年 月 日 生

泰康泰姓男

天保十三年六月十四日 叙法嗣母士宣献文政十一年十二月十八日 叙法稿 以法稿 以法稿

泰慶泰康男

嘉永六年五月廿七日 叙法眼### 同C十五票3年八月六日 叙法橋 天保十五年C十二年十二月十六日票) 得度十六日票3章 文政十二年(正月廿三日票) 生

地下家傳 卅二

泰弘泰重二男

年月日不分明 寬永十八年十二月十七日 元和八年 月 H 叙法橋 生 得度二十日

叙法眼

同九年 同五年六月廿一日 元禄四年七月八日 月 H 卒七十五数 叙法印七十一章 任上座七十四

泰宣泰弘男

年月日不分明 年月日不分明 寬文十年十一月十一日 得度任權都維那

泰性泰弘男

元祿四年後八月八日 年月日不分明 七年十二月廿七日 叙法橋 得度 生

> 年月日不分明 同十一年七月 泰雅泰弘男 H 任權上座

元禄五二六異〕年 月 日 生

年月日不分明 正德三年五月 寶永六年八月廿八日 日 卒廿二世 叙法橋十八世 任都維那

泰特男 實源正信男 元秀衛八衡事

同年十二月廿四日 同四年二月十二日 享保二年十二月十八日 元祿十四年 買延四年後六月二日 元文五年十二月廿四日 同十一年三月廿八日 月 H 叙法眼 4 卒五十一日 叙法印四十二 任上座#六 叙法橋十九郎 得度十七日

泰有泰與男

永正十七年六月廿七日 平人十百

同年十二月三十日 長殿四年七月八日 年月日不分明 夏正四年六月三日 任都維那 任機都維那 生

年月日不分明 年月日不分明 明應三年七月廿四日 長享二年七月十六日 生 任權寺主 任權者維那

年月日不分明 永正三年 月 H B H 任上座五十五章 叙法橋 生

地下家傅 州二

同七年八月一日

年月日不分明 天文十八年六月廿三日 年月日不分明 得度任都維那

年月日不分明 天正八年 月 H

寬永二十年六月十五日 叙法眼 叙法標 任上座。十日食

明曆三年十一月九日 卒七十八日

泰舜墨斯男

年月日不分明 寬永六年十二月廿一日 年月日不分明 得度任都維那 生

一六五五

康安元年五月廿四日 同六年七月廿二日 慶安兀年七月廿一日 卒六十歲 任上座四十八章 叙法眼五十五世

泰實泰學男

貞和二年

月日

生

同六年八月一日 一一年十二月十五日 泰專養學男 卒廿八郎 任權寺主#四萬

康永三年 月日 任等主四十八段 福智院

明德二年四月廿一日

永二年九月廿三日 泰清泰專男 實泰尊男 卒五十二篇

應永 一年十月 至德三年正月十九日 貞治二年 月 日 B 生 任都維那井四良 任機寺主三十三貫

同八年三月十五日

卒三十九段

泰緣 泰專男

年月日不分明 年月日不分明 應永二年九月 H 生 任曜上座 任都維那

泰祐泰絲男

年月日不分明 應永十年 亨德三年八月廿一日 月 H 任上座 叙法橋 生 本五十二篇

年月日不分明 享德二年十一月四日 月 日

最享元年

延德四年三月六日 叙法眼 任極上座五十二世

叙法橋

任權然維那十三章

泰弘泰帖男

六五四

南院建藤原

年月日不分明 文永六年八月廿八日 文態一年正月十四日 正嘉二年五月八日 建久八年 月 日 任上座六十二世 叙法橋 卒七十三章 叙法眼六十五章

泰經玄經男

弘安一年六月廿七日 建治二年正月十七日 同七年十月廿五日 文永六年十月二日 安貞元年 本五十三世 任上座四十四日 叙法限力十四 叙法精四十三

泰學泰科男

年月日不分明

年月日不分明 文永七年十一月

任松維那

泰深泰經二男

建武五年八月六日 正和二年正月十九日 延慶二年四月九日 正安三年正月廿日 建長七年 **卒入十四世** 任上座五十九日 叙法橋門十七世 叙以眼五十五世

泰德泰深男

年月日不分明 年月日不分明 元亨四平 月 B 任都維那

泰律泰深二男

月 B 日 日 叙法橋三二四四 任都維那十七日 4

正和三年

一六五三

4

地下家傳 州二

文政二年二月廿八日 文化十四年二月廿五日 安永元年 月 政治政美男 H 生 辭官返上位記 任尾張介 叙從六位下四十六日

嘉永二年三月十二日 天明七年 月 日

叙從六位下六十三世

生

同五年四月七日 死六十六世 任能登介

同.日

森田 藤原氏 侍

則名

同日 天保七年三月廿一日 安永七年十一月十三日 生 任越後介 叙從六位下

> 嘉永元年四月十日 則賀則名男 死七十一世

嘉永二年八月廿八日

同六年正月二十日 同日

死四十二章

文化九年 月 B 叙從六位 丁三十八世 生 任大隅介

大乘院門跡

坊官 諸大夫 侍 家傳

朝岡 藤原氏

寶曆五年五月三日 方章三十七代孫正令男 生

同日 實政元年十二月十九日 天明七年四月七日 于時侍叙從六位下三十三日 辭官返上位記 任左兵衞少尉

同五年十一月三十日 于時間大夫叙正六位下三十五 辭官返上位記《之後隱居 任讃岐守 宮有思召也い)

同日

專方

廳永元年後二月二十日 文化十三年 叙從六位下三十七萬 生

卅二

同日

任左兵衛少尉

字野 源氏 侍

昌勝·鏡守府將軍(蔣仲第·)五十二代稱

實政六年二月廿八日 寶曆七年正月十六日 于時侍叙從六位下三十八 生

同十年十二月

同日

任筑前守

思召也心 辭官返上位記《之後隱居

宮有

文化元年二月十四日 死四十人世

小南 藤原氏 侍 【〇八下い本ナシン

政美

一大五一

同日 同六年四月六日 文政三年十二月四日 文化元年二月十八日 寬政四年後二月廿六日 十年九月廿三日 于時語大夫叙正六位下十六日 卒五十世 辭官返上位記 叙從五位下#二世 任伯耆守 叙正五位下三十四世 **叙從五位上#入**該

光訓諸豐男

同日 同六年十月廿八日 文政三年十一月廿五日 文化三年五月八日 于時間大夫叙正六位下十八世 辭官返上位記 任長門介(守事) 任長門介 于時侍叙從六位下十五世

女政十二年 天保元年七月十七日 吉康光訓男 生 死世七世

> 同日 弘化二年九月廿四日 同日 天保十四年六月十八日 同日 于時間天夫叙正六位下十一章 于時侍叙從六位下十五世 任肥後守 辭官返上位記 任肥後介 叙從五位下廿三世

中川(河流) 藤原氏

贈太政大臣武智麿公三十代孫重方男い

同日 同日 同日 同十二年三月廿九日 **管曆十一年七月十七日** 享保三年七月四日 于時態大夫叙正六位下西十五世 生 辭官返上位記 任右兵衛少尉 于時侍叙從六位下日十四世

秀苗秀永明

天保十四年

最永四年三月十日 任世馬守 叙正六位下九章

同日

前田 菅原氏

元禄十 一年七月四日 光親正四位下右馬頭景長十七代 誕生

同年六月十二日 一年二月廿八日 辭官返上位記 任不工少允

于時時叙從六位下六十四百

同日 于時間失夫叙正六位下 任伯耆守

明和三年正月十八日 同十二年三二二班月 叙從五位下六十九日 改光親

地下家鄉州二

同十年三月廿五日 安永八年五月四日 同九年十月廿六日 卒人十四日. 叙正五位下八十二 叙從 /位上七十五以

古壽光親男

安永元年十一月十六日 同日 天明五年三月十六日 同九年十二月十七日 明和三年二月五日 資曆十三年十二月四日 元文三年七月三十日 于時語失夫叙正六位下世九世 平四十八日 叙從五位上四十三世 叙從五位下三十五日 任日向守 辭官返上位記 任修理少進 于時度叙從六位下十六世

同日 天明五年三月十四日 明和八年正月廿五日 于時母叙從六位下十五世 任木工少允

一六四九

同四年 同五年四月 同二年正月廿六八八い日 元文元年三月十九日 同年五月十五日 同十六年三月廿七日 一十一年正月廿六日 十四年八月二十日 月 退隱(後稱湘鶯) 節權少輔三十九四 叙從四位下三十六萬 叙正五位下三十二章 任右京大進(介如元)世九世 叙從五位上世六歲 轉任權克(介如元) 任兵部權少輔三十七歲

秀延男光 [元・] 與頭長頭線子

夏延元年正月七日

誕生

同九年年二月六日 辭官返上位記(宮有思名(也)) 爾和五年六月廿六日 叙正六位下井。 俄近衞關白內前公合命 一乘院尊映法親王御再興明和五年六月廿六日 《長顯澹子中沼家相續十五章

秀成秀巡男

智曆二年三月九日 生

文化二年後八月二十日 辭官返上位記 同十三年正月廿三日 叙從五位下五十四 同日 任上總介

秀常秀成男

文化二年後八月二十日 解官返上位記 第政元年三月三十日 叙正六位下十三章 第政元年十一月四日 生

秀永秀常男

秀澄元辰男

秀尚秀澄男

秀壽秀尚男

元祿五年二月九日 叙從五位上百十五章 夏季四年十二月二三月二十二日 叙從五位下三十六章 民主年八月五日 叙述五位下三十六章 天和三年八月五日 叙述五位下三十六章 医安元年 誕生

秀福秀壽男 元秀相

實永三年正月十六日 叙從五位上中4萬同十二年三月廿七日 任近江守二十章同十二月廿七日 任近江守二十章同年三月六日 叙述五位下十八章同年三月六日 任繼部正 任繼部正

地下家傳 卅二

秀與秀陽男

同日 同十六年三月廿七日 同十一年正月廿六日 享保六年二月二十日 同日 正總五年三月三日 寶永六年三月廿二日 元文元年三月十九日 依近衞前關白家久公合命稱但馬前司 月 叙正六位下五十二世 誕生 任玄蒂尤 叙從四位上七十八世 叙從五位上六十三章 任但馬守 叙從五位下五十七萬 致仕七十九世 叙從四位下七十三世 叙正五位下六十人 点

秀延秀雕朝二男

享保六年二月二十日 叙從五位下#二屆正總五年三月九日 叙正六位下+五屆正總五年三月九日 叙正六位下+五屆

一六四七

北小路 (0)等之

信乘。以二條故法印奉乘男

文化二年後八月二十日 辭位 阿科王月廿八日 叙法稿中九章 阿政三年 月 日 得度中人章 明和元年 月 日 誕生

善乘信乘男

盆乘

文政元年

誕生

嘉永元年八月九日 叙法版三十1g 天保十一年八月十三日 叙法橋 # 三 读

C

中沼 藤原氏

元知[和累]征東將軍秀鄉(稱俵緣太小)

依近衛左大臣信輔公合命 一乘院尊勞准后御取立天正十九年三月十一日 以舊号中沼御取立士 三元總八年

電泳十六年二月十七日 叙從五位上×+章 総諸大夫 総諸大夫

元辰元知男

天明六年三月 日 明和九年十月八日 同十二年二月廿六日 寶曆八年十一月十二日 寬延元年 月 日 誕生 叙法印二十九世 叙法眼廿五世 叙法橋十五世 得度十一世

永乘陽乘男

寬政九年六月八日

卒五十一世

文化十四年正月八日 享和四年正月廿三日 同年十月四日 質政十年八月十五日 天明三年 月 日 卒三十五世 叙法 得度 誕生 叙法眼#二章 公橋十六數

實政十一年 文化十四年(十異)二月□九(五異)日 月 日 誕生 得度十九世

地下家傳 卅二

同十五年二月十九日 文政三年十一月十六日 辭位 叙法眼(橋具)二十四

長乘故法眼永乘男

文化九年十一月廿五日 誕生

嘉永二年十二月十九日 同八年正月廿一日 天保二年三月廿八日 文政十一年二月十七日 得度十七世 叙法印三十八世 叙法眼#大量 叙法橋二十世

天保八年

誕生

安政二年二月十七日 嘉永二年後四月九日 得度 叙法眼十九以 叙法橋十三世

一六四五

實政八年五月廿四日 天明二年四月七日 文化十四年十一月廿四日 卒六十一日 叙法眼#大郎 叙法印 二十

常政章政男

同九平四月十六日 文化二年十二月十九日 同年十月廿五日 贾政十年八月十五日 天明四年八月六日 叙法橋 平十九歲 誕生 叙法眼#二 得度十五歲

良政党政男

天保十一年八月十三日 文政七年十二月十九日 同十四年六月十七日 同十二年九月廿七日 文化元年二月十八日 叙法印三十七萬 誕生 叙法橋十四段 得度十二世 叙法眼#一歲

善政長〔良異〕政男

文政十一年 誕生

得度

磊永四年二月四日

弘化二年十月廿二日 叙法眼#四段(中五) 叙法橋十八郎

條 (のい本ナシン

孝乘故法印憲乘男

安永五年正月二十日 元文三年八月廿七日 享保十一年十一月十一日 實曆四年八月七日 同十二年八月三十日 正總四年 月 H 平六十三世 誕生 叙法眼 十五 叙法橋十四世 叙法印1十一世 得度十三世

好甫教長男

高天のふまから

好章故法印好意(實異)男

十月廿四日 叙法印

元文五年四月十八日 辭位 一天文五年四月十八日 都位 一天文五年四月十八日 和法嗣三十五 和法嗣三十五 和法嗣三十五 和法副三十五 和法副三年五 和法副三年五 和法副三年五 和法副三年五 和法副三年五 和法副三年 和法国三年 和法国国三年 和法国三年 和法国三年 和法国三年 和法国三年 和法国三年 和法国三年 和法国三年 和法国主

好長好意男

章政好長男

一六四三

同日 嘉永五年三月八日 文化十一年

生 叙從六位下三十九員

任駿河介

乘院宫

坊官 諸大夫

侍 家傳

內侍原 (05*十七)

長專故法印恭專男

同十一年四月廿六日 享保元年六月廿八日 得度 誕生

明和九年六月十五日 同二十年二月十八日 同年六月八日 卒五十七世 叙法眼二十章 叙法橋十一日

永雄故法眼長專男

同五年八月二日 延享四年 天明四年六月廿七日 明和三年十月十五日 月日 得度 誕生 叙法眼三十八世 叙法橋廿二世

教長永維男

月

H

辭位

安永八年八月廿三日 誕生

一六四二

同六年八月二十日 離官返上位記 同日 任能登介 任能登介

常朝常喜男

同日 文化十年三月四日 母叙從六位下+五 電政十一年二月十五日 生 石見守

同年十月廿二日 | 辭官返上位記

文政二年六月十三日 - 叙從五位下世間日

地下家傅 卅二

常彰常朝男

天保十年五月三十日 # 叙從六位下十五日 生

同日 "大人叙正六位下十二章 附官返上位記 现化二年正月十八日 醉官返上位記 唯一

0

安政四年五月十一日

叙從五位上三十三

叙從五位下中七世

岡本 賀茂 〇以本ナシン

尙房

一六四一

諸厚父舊記不分明

同日 安永六年五月四日 實保元年六月十五日 侍叙從六位下三十七世 任內匠體助

同七年十二月廿二日 辭官返上位記

天明六年十一月廿五日 同日 天夫叙正六位下三十八萬 任相摸守 解官返上位記

寬政四年十二月十九日 同年十二月八日 同月十六日 叙法橋四十六段 刺髮爲坊官(法名号了海)

同十一年四月十七日 仙覺了海男 2年五十九段 叙法眼五十二世(中五年い)

安永三年七月五日 生

寬政三年三月十日 叙法橋十八日

文化二年二月廿七日 一年十月廿六日 返上位記 叙法眼世六章

覺辨仙覺男

文化三年十二月十九日 寬政四年二月十日 同十年五月十一日 叙法橋十五萬 生 返上位記

俊德實兵部權大輔俊彥朝臣二男

同日 同日 弘化元年十二月廿二日 同日 天保十年二月廿九日 文政八年 間大夫叙正六位下二十**回** 作叙從六位下十五世 辭官返上位記 任州賀守 任加賀介

安政三年十二月一日 嘉永三年十一月廿九日

秋從五位上三十二農 叙從五位下#六世

谷野 藤原

同日 田田 同年八月廿四日 置大夫叙正六位下 辭官返上位記 任左兵傷大尉

同月十四日 安永四年十二月十三日 同日 同五年十月十四日 同月十九日 剃髮寫坊官 任甲斐守 返上位記 叙法橋廿四萬 辭官返上位記

泰凞泰草男

同十年二月五日 同日 文政六年正月廿八日 天明五年十二月十二日 侍叙從六位下三十九歲 生 任太宰少監 辦官返上位記

同月廿七日 叙法橋四十三世 剃髮爲坊官、法名号寄

同月六日

寫水(₹、W六月二十日 天保三年開十一月廿一日 一年正月廿二日 本六十八世 叙法印书+六点(中七) 叙法即四十八章(中四)

地下家傳

泰弘泰览男

天保十五年七月五日 文政六年 嘉永五年正月十七日 4: 叙法眼三十岁(中七) 叙法橋#二世

安藤 藤原氏 (のい本ナシ)

誠之

文化五年

天保十五年六月廿九日 生 任插醬介 叙從六位下三十七世

寫永五年五月八日 叙從六位上四-五日

角田 橋氏

一六三九

重高軍勝孫

重遠軍高男

同六年五月十日 扇六年五月十日 原永三年二月三日 伊叙從六位下++# 天保五年 生第前介 生第前介

小山 字多源氏

泰隆源重賢(男專)

同月八日 同年六月七日 同日 同日 同月十三日 同五年二月二CII-J日 明和三年十二月十九日 享保二年七月廿四日 天夫叙正六位下五十二世 叙法橋 群官返上位記 任甲斐守 任西市佑 侍 叙從六位下五十四 解官返上位記 刺髮為坊官

秦章泰隆男

安永四年正月十九日

叙法即

十九世(中六年い)

同年八月廿八日

明和七年六月十八日 侍叙從六位下+九章

炭林乘白男

同四年二〇三署3月廿五日 死++a 實政三年二月十八日 叙法橋+大皇 安永五年七月五日 生

孟白乘白男 獨写武田

享和二年六月七日 返上位記 安永八年二月廿八日 生

立人。而日男

天保三年十月十六日 安永九年八月八日 叙法即三十九章(中七)
文政元年十月五日 叙法即三十九章(中七)

地下家傳 卅二

立隆玄久男

安政元年十二月 日 叙法称·宝商 原元年五月十四日 叙法牒·宝商 原元年十月十八日 叙法牒·宝商 (中七)

0

梅鳴藤原

重勝藤原軍房男

一六三七

同年四月一日 文政元年二月廿七日 立通玄善男 死六十一歲 叙法橋五十八日

同日 文政

母叙從六位下

寸.條.故豐後介源玄通男

弘化二年四月廿五日 文化五年 侍叙從六位下三十八章 死四十三歲

薗 源「〇い本ナシン

昌白源廣白男

元祿八年十二月一日 元文二年三月十九日 叙法橋四十三章

同八年八月廿一日 實曆元年十二月廿二日 常白[昌]]昌白男 卒六十日世 叙法眼五十七世(中十三)

明和五年六月廿六日 **齊曆** 几年十二月廿四日 享保二十年八月一日 叙法橋甘五典

安永九年十一月廿七日 天明六年九月廿六日 死五十二世 叙法眼三十四世 返上位記

乘[康畢]白常白男

天明六年九月廿三日 同七年十一月廿九日 安永三年十二月十九日 寶曆六年五月十五日 本三十二章 叙法眼#三世(中三) 叙法橋十九世

文政三年正月廿八日 五年四月廿一日 卒并十三世 叙從五位下五十一貫

清雄男

同日 同十二年十二月廿一日 文化二年八月一日 同日 文政五年二月廿日 **略大夫叙正六位下廿五世** 侍叙從六位下十八章 辭官返上位記 任大和介

同日 弘化四年六月十日 同十二年八月廿九日 天保六年十一月廿四日 叙正五位下四十三章 叙從五位上三十七萬 叙從五位下三十二章 任近江守

同六年三月廿五日 嘉永二年十一月廿七日 七年六月十日 五月十日 任近江守 領兩官 叙從四位下四十九首 任主税助、守如元

安政二年十二月廿五日

卒五十二世

三好 清和源氏

話大夫じ善長

元祿十一年四月六日 4:

日日 元文元年八月十三日 死四十世 任若狹守 叙正六位下三十九世

立善善長男

同二年七月廿三日

寶曆九年二月四日 4

同日 文化元年八月廿一日 侍叙從六位下四十七四 任壹飯守

同日 同日 同六年八月七日

同四年二月十三日

遭豐後介

唐大夫叙正六位下五十二章 任若狹守 既官返上位記

十二年三月十日 確官返上位記

同月十一日

剃髮弯坊官(不稱法名)

7大三五

同日 同日 同十一年十二月廿二日 嘉永六年九月 同十五年三月廿四日 天保七年十二月十九日 同月十六日 同日 **留大夫叙正六位下サス賞** 辭官返上位記 任伊劉守 改名庸得 叙法印四十八章(中七) 叙法眼日十萬(中七) 叙法橋三十二世 剃髮爲坊官(不稱法名)

O

同七年十一月

B

松室秦

敬忠秦重賢二男

宽保二年四月廿九日 死#+# 写保二年四月廿九日 死#+# 生

日本大臣三手十二手 · 化三十属 · 在文五年九月十四日 生

明和六年三月廿二日 死三十歳

好謙

同十一年十一月廿三日 死五十章 寛政四年十一月廿三日 作叙從六位下昌十三章

清雄好識男

六三四

直靖古空末子

岩波 (清和・)源(氏・)

地下家傳

卅二

延張源延增操门男

同九年十二月十九日 死六十章 完变三年八月五日 叙法腿至十章 完变三年八月五日 叙法腿至十章 京保十八年二月十九日 返上位記

(侍じ庸重

同日 任越後介文化十二年三月廿二日 母叙從六位下+4個第政九年間七月廿三日 生

大田田

文政七年四月廿六日

辭官返上位記

同年十一月廿七日 辭官返上位記 同日 任越後守

同七年八月三日 辭官返上位記同日

文化十四年十二月三日 卒六+五章 寛政五年十月五日 叙法印四十二章(中九)

古月古空男

同十二年八月十八日 返上位記 寛政八年五月十日 叙法橋·五章 天明二年八月十五日 生

立道古空男

文化二年九月廿二日 叙法橋書書 天明二年 月 日 生

直之)古空男 正之)古空男

安永五年六月十一日

同日 文化五年十二月十九日 母叙從六位下三十三章

同十二年正月廿八日 叙從五位下四十章

同年七月廿四日 叙法精 □+□■ 刻髪爲坊官(法名号古溫)文政元年六月十八日 辭官返上位記

同十一年十月五日 「信友 古溫男

六年十月廿八日

叙法橋上十八世(中四)

文化十三年六月七日 生

樫田 (清和心)源(氏心)

(諸大夫上下四) 直嘉源直房男

等保十五年五月廿六日 野夫教正六位下五十八回 野保十五年五月廿六日 野夫教正六位下五十八回 開日 任安房守 任安房守 任安房守 (任安房守) 叙法橋太十一度(領民部卿) 叙法橋太十一度(領民部卿) 叙法橋太十一度(領民部卿) 叙法橋太十一度(領民部卿) 叙法橋太十一度(領民部卿) 紀太十九回 野皇原元 (大十九回) 東京 (京田) が太十九回

直興(法橋)眞「直で嘉男

地下家傳 卅二

直維直嘉養子、直興男

寶曆九年九月十一日 死二千九章 **寶經二年二月廿七日 叙正六位下 #九章 宴經二年三月廿三日** 生志學守

直然直雄養子、男・コ

等保十六年九月十九日 生 を探十一年九月廿八日 母叙從六位下三十二回 同年十二月廿四日 離六夫叙正六位下 同日 は大夫叙正六位下 同日 に大夫叙正六位下 に安房守 に安房守 に安房守 になる正六位下

安永四年正月廿二日 作叙從六位下#三爾寶曆三年十二月十五日 生

知恩院宮

大乘院門跡 一乘院宫

(坊官 諸大夫

侍法師 侍男)

知(智。)恩院宮

侍,

家傳

地下家傳

卅二

坊官 諸大夫

一大三〇

芳寔故器文男 死四十九世

文化元年 臨永四年三月四日

作叙從六位下日十八日 任出初介

同日

同日

矢嶋 源

传

仲利

女政八年十月十日 叙從六位下

天保三年八月廿二日 音網

生

天明八年

任石見介

同日

地下家傳 卅一

源 侍

義陳父源義利

文政八年十月廿八日 寬政八年十月十五日 4: 任長門介 叙從六位下

一六二九

嘉永元年11月廿七日 同日 任淡路守 叙從五位下

(稱号し)榎本(姓じ)越智

秀成法印秀實男

同日 同六年十月廿七日 寬政元年三月十六日 質暦十つ一心年 任但馬介 叙從六位下 辭官返上位記

秀俊法橋秀全男

寬政八年十二月十九日 天明二年六月三日 4: 任大和介 叙從六位下十五世

同九年六月(ニッ)日

辭官返上位記

同日

同日

秀厚法印秀貿男

享和二年三月廿八日 天明二年十二十二月五二十二日 叙從六位下#一世

同三年十二月十五日 任美濃介 解官返上位記

同日

久保 源 侍(O以下い本ナシ)

蕃文

生

安永元年

文化十四年九月十八日 任因幡介 叙從六位下

任遠江守 辭官返上位記 級正六位下

一六二人

带大夫叙正六位下三十首 任將歸守

寬政元年十二月十九日 同七年二月廿六日 天明二年十二月廿二日 叙從五位上四十二世 爲蓮華光院門跡語大夫 叙從五位下三十六世

同日 同十一年三月廿六日 秘追 落舒五十二世

泰之泰貫男

寬政四年二月十四日 明和七年 (子時件い) 叙從六位下二十三百 任出初介

同六年十月廿七日 節官返上位記

泰喬泰廣男 實養

第政十一年十月廿六日 明和八年十月十九日 侍叙從六位下二十九日 任近江介

41:

地下家傳州一

文化元年十二月十八日

辟官返上位記

同日 同日 同四年四月廿四日 明大夫 叙正六位下二十四日 部官返上位配 任飛驅守

泰輔泰廣學

文化十一年正月廿七日 寬政四年四月八日 你叙從六位下

同日 旧日 文政三年三月十九日 熊大央殿正六位下 任出法介 辭官返上位記

同日 同五年二月廿七日 平三十一世 任讚肢守

秀[季以野葵輔男

同日 同十一年二月廿四日 天保五年十二月廿二日 文政二年 月 H 株大夫叙正六位下 4: 叙從六位下 辭官返上位祀 任越後介

一六二七

享和三年十月十二三日 秀原秀實男 返上位記

文化七年八月廿八日 同日 享和三年十二月十九日 天明二年十月五日 叙法橋 叙法眼 改名秀保

同十二年十月十五日

24三十四章

(稱号じ河野(姓じ)越智 陳司家諸大夫

秀(季い)貫父越智通真(善い) 元英軍

同十六年十二月十四日 同日 天和元年十二月廿二〇三、日 元融十年十一月十五日 永五年十二月廿一日 叙正六位下二十三世 叙從五位下二十八世 叙從六位上十七歲 4:

> 寬延二年五月十三日 同十四年十二月十四日 享保五年十二月十一日 正德四年二月廿四日 本六十九歲 叙 促四位下四十九章 叙山五位下四十日 叙從五位上三十四歲

泰丁秀李い貫男 質養子

同十三年十一月十五日 同日 延享二年十月廿九日 同十一年三月十五日 寬延三年十一月廿九日 正德元年九月一日 寶曆十年十二月廿六日 卒五十三贯 叙正六位下三十五章 叙從五位下五十一日 守本位復列 被除諸大夫列 任飛騨守

同日 安永二年九月廿五日 延享四年四月十七日 泰廣泰貫男 侍 叙從六位下世七段 生 任木工少允

實養子

同五年十二月十九日

辭官返上位記

蓮華光院門跡 坊官諸大夫侍家傳

榎本 越智(ロルホナシ)

秀質

年月日 正聽四年 享和二年十二月二日 明和元年後十二月十九日 叙法印 寶曆三年十二月廿二日 月 日 卒七十二日 叙法眼 叙法橋 4:

秀全秀實男

同十一年正月十日 寬政八年十一月廿八日 寶曆七年 月日 叙法稿 4 返上位記

秀俊秀全男

天明二年六月三日 同日 寬政九年十二月廿六日 叙法橋 生 改名秀菜

地下家傳 州一

一六二元

岡本 源 侍

彈堪

安永八年二月一日 同日 費永五年六月九日 生

天明二年六月九日 死七十五歲 任伊豆守 叙從六位下七十三

溫之彈場男

同日 文政二年三月十三日 **西**居六年一月十五日 生 任加賀介 叙從六位下

同十年二月九日 死七十五段

義卿溫之男

同日 文政九年十二 月十九日 月廿二日 生 任尾張介 叙從六位下日十四日

同日

天保六年十二月十八日 任右衛門權大尉 叙從六位上五十三章(中人)

義昵 義鄉男

同日 天保十年七月四日 文政三年 月 H 生 叙從六位下

弘化二年十二月三日 辭官返上位記 任豐前介

長尾 源 侍 (〇)、本ナシン

都章 字多源氏佐々木源三秀義後胤淨字多源氏佐々木源三秀義後胤

文政六年十二月十九日 天明元年十二月二日 生 叙從六位下四十二日

一六二四

简年十二月廿五日 資曆八年二月廿四日 叙法稿++==

快俊快邦男

快深快俊男

文政七年四月三日 卒8十入g 第和元年十二月十八日 叙法眼 第政六年十二月十一日 叙法眼 第政六年十二月十一日 叙法眼

快明快深男

文化二年十二月十三日 生

地下家傅州一

天保三年三月廿二日 谷本人 叙法鹏十五官

時敏快源弟

時邁時做男

本間 「〇い本ナシ」

新良元<u>余雅(男男)</u>

寬政八年十二月二十四日 同三年五月 享保十八年十二月十七日 正德五年十月十八日 寶曆四年三月廿九日 寬保二年十二月廿四日 叙法眼 共 改帖良 叙法印四十章 生 卒八十二萬 叙法橋十九萬

所壽城良男

同四年六月十三日 安永元年十二月十九日 延享三年十月十九日 **費**曆十二年十二月十九日 卒三十段 叙法眼二十七世 叙法橋十七日

祐源 麻壽弟

明和四年十月五日 生

> 同十二年二月廿八日 寬政三年十二月廿一日 天明元年十二月十九日 卒三十四章 叙法眼二十五世 叙法橋十五世

新幸藏源男

同八年十二月九日 文政二年閏四月十五日 寬政四年五月九日 叙法眼三十四章 叙法橋世八歲 ·#:

天保十三年十一月十七日 叙法橋十五章 文政十一年

快邦法印帖良弟

芝

中部以前選記不分明「〇い本ナシン

同日日

正朗正敬男

任大和介

任大和介

天保十四年十月二十六日 叙從六位下

實政十年

生

同日

弘化三年五月廿八日

櫻井 櫻井

忠貞

質政元年 月 日 生

天保八年十一月廿六日 叙從六位下 任甌津介

同日

同日 寬政二年

弘化四年八月十二日

生 任越後介 叙從六位下

隨心院門跡 坊官

諸大夫 侍家傳

地下家傳 卅一

1411

藪

源

豐春

卅一

(解号で)村田 藤原 坊官[侍ご]

縣代不知 寺主良範

義居父

文化元年六月八日 元文二年正月五日 同三年正月十九日 侍叙從六位下六十八章 死七十世 生. 任相摸介

同日

義嗣 故義居男 稱号藤井

天保三年五月廿日 天明五年二月十二日 叙從六位下

同十三年四月十日 同日 任出羽介

左右田 藤原 〇〇以下い本ナシ

實絡

天保三年三月十六日 文政二年五月十日 明和八年四月十六日 生 死六十二世 叙從六位下 任近江介

實績質格男

文政十年十二月十九日 文化元年七月十二日 生 任加賀介 叙從六位下

北村 源

正敬

天保二年十二月十九日 實際三年二月十三日 叙從六位下 生

六二〇

法印 長盛

法印長蓮

定言元璧鼓守定言 法橋長增

天明五年七月五日 享保十七年正月六日 實政五年二月十九日 叙法橋

定俊定言男

同六年二月廿日 實政二年五月一日 明和六年十月十日 文化元年六月十六日 叙法橋 死三十五百 改名定明

為美父母

十年十一月十五日 卒六十段 叙法眼

同日 同日 同日 同年同月七日 同九年二月六日 叙正六位下 任内匠植助 叙從五位下 新州门 任酸河守

為舜為美男

天保七年十二月廿六日 **文政**九年十二月三十日 文化九年九月十二日 嘉永四年八月九日 叙法印 叙法眼 叙法橋 生

一六一九

理暦三年二月廿一日 文化七年七月五日 **叙省六位下**

同十三年二月十九日

同年十月二十日

于此天人一里 四

任綾河介 改山田湖号舞遊

正與正常男

下明三年九月六日 生文化二年十二月十七日 参入叙法稿字和二年十二月十二日 故宣軍 一次上位記 医上位記 医上位記 医上位記 医直盲重男

天保九年三月十六日 死 電日 任筑前介 電子 年 日十六日 任筑前介

正備

天保九年四月廿一日 死六十六日 经入叙法橋安永二年二月廿一日 生

(稱号)梅津 源 坊官[侍]

歷代不知 上座賢慶

武廣災

安永四年八月十五日 年級從六位下五十五章 事保元年九月十日 生越後介 任越後介

C

歷代飯田州家

山田

源氏

坊官 「〇い本ナミ

法橋長順

弘化三年十一月七日 同年十二月廿八日 改宜正 叙法眼

稱号じ喜多村

家矛脈代

移住御門室議薨御代召出 先祖喜多村加賀守春喜同伊賀守正喜宇多源氏江為吳津 住居屬佐々木有故而江為退去永祿十年城州字治郡醍醐

伊賀守正喜

法橋 正房 法橋

正盛

法橋 宣經 正英

正信父

安永三年十月廿九日 **宽保元年十** 一月六日 作 叙從六位下三十四世 生

同日 同日 同九年七月十日 辭退八官一边返上位記 任上總介

第大夫叙正六位下四十四

天明二年十一月廿一日 籍官四十二四 任出羽守

同日

同十二年八月廿一日 實政十一年二月五日 死六十四 落餘

正齊

實政十一年四月六日 天明五年九月十九日 **寶曆二年四月八日** 候人叙法橋 生 死四十八日

一六一七

正之

同日 任阿波守天保十四年十月七日 叙從六位下

_

平井 源 坊官 (05本+2)

歷代法印正真

法眼正政

法眼正詮

正慶受

寶曆三年三月五日 叙法即属四年七月四日 叙法眼延享元年十二月廿七日 叙法概算保十五年二月十五日 生

同十二年八月廿八日 改名軍慶

宣重、法橋宣重

天保三年三月廿二日 叙法明文化十三年二月廿四日 叙法代文化十三年二月廿四日 叙法代

重順宣軍男

天保五年十月十二日 返上位記文政五年十一月三十日 叙法情文化五年十一月十五日 生

官献宣軍男

天保七年十月廿八日 叙法橋文政元年八月廿三日 生

一六一六

同日 (同日じ) 質大夫叙正六位下四十二世 任人和守

天明四年二月九日 天明三年十二月十八日 、安水十年正月二十六日 改井内稱号姓藤原い 叙從五位下 日十八日い) 死五十一世

経宜定國男のい本ナシン

安永七年 寬政九年八月廿八日 叙法檔 生

文化元年十二月十八日 十三年七月十日 平四十九日 叙法眼

甲村 「原「〇い本コレラ前項ノ分トシ「定言」ラ別採ニ絹グ」

定國母父

享和十九年十一月十四日 生

同日 明和六年五月十五日 同三年十月廿四日 安永元年十二月十四日 大夫叙正六位下四十二篇 叙從六位下三十六日 任常隆介 解官返上位記 也飯田一個号

19

同日 同日 任大和守

同四年二月九日 天明三年十二月十八日 同十年正月十六日 本五十一日 改井內稱品 叙從五位下四十八世

享保十七年正月六日 定言父

同日 同五年六月廿八日 天明四年三月十六日

叙從六位下四十六日

解官返上位肥 **結坊官(改山田禰多)** 任堂岐守

同年七月十日

長基定言男

生

寬政六年

六二五

保春保邦男

生

天保元年 同十五年七月五日 蓝大夫叙正六位下 任伊勢守

嘉永四年八月廿八日 叙從五位下

井內 藤原

聖珎無苗親王付八自異」御入室之節爲坊官被仰付候

上座經所

法橋經長 寺主經甚

> 法印經範 上座經光

法印經運

法橋經紹

法印經信

至于此時斷絕 法眼經詳

(明和六年五月二十五日 于#穆叙從六位下三十六章) 10以下以三寸字補之 享保十九年十一月十四日 生 無号甲村じ父

安永三年十月廿四日 (安永元年十二月廿四日 同日 (辞官返上位記い) 改飯出稱号)[○以上] 任常陸介

六一四

季保季行男

同日 文化九年十月廿七日 同十一年五月八日 见政四年二月廿五日 同五年九月十五日 同日 天明二年三月八日 明和六年十一月廿二日 传叙從六位下十四章 天夫叙正六位下十七章 卒四十四世 任左京大進 叙從五位上三十一篇 任長門守 辭官返上位記 叙從九位下二十四章

邦季季保男

地下家鸣州一

實政九年十一月十八日 生 實政九年十月十三日 母級從六位下 同日 同十四年九月十八日 離官返上位配 同十四年九月十八日 離官返上位配 同十四年九月十八日 離官返上位配 「一日日 一年一日 数億五位下 で政四年四月十二日 数综信 同七年十月七日 数億五位下

保邦故季保男

貞享一年九月廿七日 (年月日 生じ

宗和宗圓男

(年月日 元祿四年十二月廿一日

寬文七年正月廿六日

宗重宗和男

同日 (同年十一月二日じ) **贷永三年十月** 叙正六位下四十四 爲應司家諮大夫

享保九年六月八日 死 任長門守

宗[季] 邦宗東男 元宗件

同日 正德元年六月廿四日 享保十六年五月三日 于時間可家語大夫叙正六位下二十二篇 生 任伊賀守

元文三年十二月廿四日

叙從五位下二十人員

同年十二月廿二日 延享元年十一月六日 實曆十年十二月 改季邦 叙從五位上三十日歲

同十一年五月十六日 叙正五位下五十一章 爲二條家諸大夫

同年十二月 爲寺門諸大夫

明和五年二月三日 安永四年九月廿六日 宗雅季邦男 本六十五家 叙從四位下五十八章

寶曆十二年正月廿八日 同年十二月十九日 同日 延享三年十月廿一日 **傅叙從六位下十七** 辭官返上位記 任主計大允

明和四年三月六日 同日 (子時語大夫い)叙正六位下十七世 解官返上位記二十二章 任長門守

延享一年六月五日 宗行季邦男 生

明盛

同十二年五月四日 實政八年十一月九日 叙法橋 返上位肥 生

春澄

同日 天保五年三月廿七日 文化十四年五月四日 **理曆八年二月十八日** 你叙從六位下 死七十八世 生 任河內介

旧雍故奉澄男

同日 弘化四年九月十六日 文政七年 任河內介 叙從六位下

慶長三年二月十七日

宗則宗久男

(年月日

生じ

地下家傳 州一

北村 源

江州栗本北村城主後移 住い)于醍醐

年月日 -天女十九年十二月六日

4:

伊賀守

死

一實院御門跡

年月日

永祿九年二月十日

伊勢守

一六一一

明夫亥母

同三年十二月八日 夏政五年十二月廿二日 同十二年十二月三日 寬延元年八月廿二日 費永七年九月廿二日 何月十五日 實曆三年十二月廿八日 卒入十四黄 叙法印 叙法眼 叙法橋 任能登守 叙正六位下 **鮮官返上位記**

秀夫明夫男

明和二年十二月十一日 享保十八年八月三十日 層七年九月十四日 死三十三世

胤明

明和七年十二月十九日 寶曆五年六月十三日 叙法橋

同八年十月廿七日

峻明

安永五年六月五日 天明二年十二月廿二日 寶曆十二年二月廿三日 叙法橋

經明(法印明文男))

同日 同十一年十二月十二日 同日 質政元年八月廿二日 暂曆元年四月十一日 (于時語大夫い) 侍叙從六位下三十九 叙正六位下四十九世 任周防守 辭官返上位記 任備後介

經夫

同五年九月十五日 文化元年十一月廿日

死五十八世

發官

天明六年七月六日

生

豪圓豪正男

屬水四年七月三日 天保七年十二月十九日 文化九年十二月廿五日 **文政九年十二月十九日** 叙法眼 叙法橋 4

一種号ご飯田 源氏

京公用之有故而於山城國字治郡南小栗栖小城,樂平家 即派養之孫源山郎家秀 **海和源氏信器飯田之城主鎮守府將軍伊豆守滿政正嫡五** 我相國具道公御猶子二被成爲坊官被附置候 太郎共歸國被仰付俊永次男次郎妻越中守後治部腳永盛 聚滿公御納子三響院御門跡准二后滿濟從御入寺之節久 秀嫡子俊永共致在住候然處襲詮公御代嫡子俊永 其長子 足利大將軍尊氏公為供奉致上

覺定御代

初左近後備後 初左近後備後

家進 1 御代 御代

家信何

左近

同御代る高賢御代迄

初左近後備

而後家貞 一 家里同

地下家傅 卅一

同 12 承薨御代 政紹明代 義演師代 同御代る政紹御代迄 補資卸代 義智御代 護賢御代 部代 御代 治部卿法印家胤 從五位下左近大夫家清有髮 大貳法橋良盛 宮內卿法印舜盛 宮內卿法橋純盛 大貳法眼宗純 治部卿法印州盛 越中守後治部卿法印永盛 越中法眼承盛 家純同

一宗〇九

高賀脳代

左近

法眼寬慶

同日 資曆十一年十月五日 真延元年七月廿四日 元滁十四年三月十五日 数大夫叙正六位下**四十入** 死六十一歲 生 任對馬守

豪方

同日 同八年五月五日 同七年六月四日 天明五年八月十三日 延亭三年十一月一日 寬政六年正月十三日 同年十二月十四日 H 新大夫叙正六位下四十二萬 侍叙從六位下日十世 生 任勘解由判官(守如元) 任兵庫權助《守如舊》) 任日向守 解官返上位記 任日向守 叙從五位下四十九段

> 同八年三月十九日 同九年八月十二日 縮兩官 卒五十二世

正名疆方男

同日 同日 文政二年五月三十日 同八年三月十九日 同六年正月廿八日 阿日 寬政二年八月十三日 寶曆十年十月十一日 天夫叙正六位下三十五世 **传叙從六位下三十二章** 任因婚守 辭官返上位記 任伊豫介 落餝五十九日 獨官三十七個

豪正正名男

天保元年十二月十九日 同五年六月十六日 **文政四年十一月十八日** 文化八年六月十五日 質政三年九月廿二日 叙法印 叙法眼 叙法橋 生 卒四十四級

豐義人音豐詩男

交政十年十月廿八日 明和元年十一月一日

生

叙從六位下

寶院門跡

坊官諸大夫家傳

同日 天保十年十月十八日 嘉永二年七月廿九日

死入十六旗 任出初介 叙從六位上

落合 源 侍

直輔

同十三年七月廿二日 天保十年七月四日 天明五年 生 任備中介 叙從六位下

同日

辭官止位記

地下家傳 州一

(稱号ご大溪

姓高階

至于此時斷絕

一六〇七

曆代

法印豪意

寺主豪甚

法印豪仲 上座家俊

同九年八月廿六日 寬政五年正月廿日 安永三年五月三日 生 辭官返上位記 任常陸介(于時侍じ) 叙從六位下世段

學和元年五月六日 **新大夫叙正六位下#四歲** 死廿八世 任和泉守

同日

興起依歸男

文政十年十 買政上二年 一月十六日 月 日 叙從六位下 生

同日 天保二年五月十六日 任大和介 依病氣難官返上位記

植田 大神侍法師 (〇い本以下ナシ)

信達濃州石津郡多良三部一鄉土

明和二年三月廿三日 正德四年九月四日 同月二十日 叙法稿 得度法名号信芳 生 改名信好

一六〇六

天明五年三月十八日 同六年六月六日

死七十二萬

水谷 侍法師

同年十二月十八日 文政十一年十一月十七日 得度法名号軍昌 九年四月十三日 重完水谷軍純男 生 死七十三歲 叙法橋七十段

天保二年正月四日

大音 伊香侍

同日 明和四年三月廿九日

享保十八年

月

4

传叙從六位下三十世

同日

同七年二月十三日

書大夫叙正六位下

辭官返上位記 任右兵偏大尉 **# 叙從六位下**

天明八年九月廿六日

同十四年七月十日 天保元年十二月十九日

平五十六世

叙從五位下

景逸景命男

安永元年十 -二月十九日 天叙 正六位下四十二世 辭官返上位記 任左兵衛大尉

同日

同日 天明五年十二月二日

任對馬守

五世いし **樂石兵衢大尉**(叙從五位下五十

同六年九月廿八日

叙從五位下 〇兼任右兵衙少尉

、對馬守如元)と

享和元年九月廿二日 同九年二月十三日 實政三年十月廿六日 卒七十二世 叙從五位上六十一日 叙正五位下六十七章

依歸依與男

一六〇五

地下家傳 州一

縣大夫叙正六位下

辭官返上位記

任陸奥守

同四年八月廿八日

同日

嘉永二年五月三十日

件叙從六位下

任選江介

天保元年

月

H

天保七年正月十五日 同十三年七月十二日 解官返上位記 叙正五位下

成美敬德男

同十一年正月廿二日 同日 文政四年 天保十年五月三十日 **新大夫叙正六位下** 侍叙從六位下 任因幡守 解官返上位記 任播磨介

同十三年七月廿二日

解官止位記

朝井 元奥田 藤原

影長 (有壽。) 浅井清貞男新規御物 (稱治部卿。即)

西曆四年十二月十六日 得度法名号有資 稱号改朝井

明和五年十一月七日 同月十六日 同十二年五月十五日 平八十五世 叙法眼七十九員 叙法橋七十一貫

景福(法眼・)有壽男

同年五月十六日 同日 **暫曆十一年二月**廿八日 享保十九年五月十九日 叙從六位下#大 辭官返上位記 任石兵衛大尉(子時侍い) 生

天明六年十二月十九日 同日 寬政四年十二月十九日 于時所大夫叙正六位下 (策じ)任修理權亮(土佐守如元じ) 叙從五位上五十九世 叙從五位下五十五章 任土佐守

景命景福男

文化十年二月廿一日

卒八十歲

貞享元年十一月十六日 生

同日 經東三年十月廿九日 經大夫叙正六位下#日 (右實保三年之度注進:) (右實保三年之度注進:) (右實保三年之度注進:)

一慶一長男

實延三年八月廿八日

辭官返上位記四十四章

成裕一慶男 元一(淵)

地下家傅州一

實曆八年七月四日

享和三年八月十八日 同九年四月廿四日 實政三年十二月廿一日 同日 同日 同七年五月一日 安永三年二月十九日 天明五年十二月十六日 大夫叙正六位下廿一世 件叙從六位下十七萬 解官返上位記四十六日 叙正五位下四十二 **叙從五位上以內以** 任川摸河 叙從五以下廿八世 任内匠大允 辦官返上位記

蚁德 成裕男

同日 同日 同十四年十二月廿一日 同子 四年十二月廿一日 同子四年十二月廿一日 三大級正六位下 同日 三大級正六位下 任建河介 同日 三大級正六位下 任近江守 女政六年十月十四日 叙從五位下

同十一年九月十三日 被止位退身

康哉康定男

天保二年十月廿一日 同年六月七日

叙法眼#三世 叙法橋+五世

文化六年二月一日 實政三年 月 H 得度

同十一年九月十三日 同月十日 被止位退身 叙法橋十九世

長保長康男

文政五年十月廿三日 同年二月十三日 文化十三年正月十九日 夏政四年三月十八日 得度 叙法橋廿五世

長榮長盛男

同十三年十一月三日 同七年二月廿五日

卒三十九以

叙法眼三十三章

改名長盛

文化六年三月十九日 文政六年三月九日

文政十年

天保十二年 同年八月十九日

得度

嘉永四年三月廿二日 叙法眼#五世(中九) 叙法橋十五以

山口 源

長一暉男

寶永四年十月四日 享保十三年十一月三日

任志趣守 侍叙從六位下廿二歲

同日

一六〇二

元文四年四月廿二日 寬保三年十月十日 同年十一月廿二日 得度 依何短醉官退身 叙法眼三十二

作战邦常男

享保十六年四月十日

同平四月二日 延享三年二月九日 曆五年十二月廿四日 叙法职业五贯 叙法橋十六世

源康兼 坊官法限し作康男 同十四年三月三日

卒三十四歲

明和七年正月廿三〇二七日 子時母叙從六位下十六章 實際五年二月八日 4

安永五年六月十八日 同日 辦官返上位記 得度法名号公時改心康保 任常陸介

同月廿九日 同月十九日 叙法橋世二世

天明二年六月八日

叙法限世人世

地下家傳

同八年八月十四日 享和三年八月廿八日 實政四年十二月廿六八七七日 同五年十月廿二日 文政元年八月廿七日 卒七十一日 復叙法印六十四世 佐病氣醉法印四十九世 改名長康 叙法印三十人思

康年是康男

實政六年二月八日 安永三年 月 日 得度

同月十五日 叙法抵

一世

月十七日

實政十年二月三十日 安永元年十月九日 康明康保妇 于時作叙從六位下世七世 任伊豆守

同月廿七日 文化二年八月十七日 同年閏八月廿八日 叙法橋 辦官返土位記 **得度法名号康定**

一大〇一

同七年九月十八日 寬政六年十二月十一日 叙法眼

榮豐榮隆男

同十二年三月廿七日 文化元年六月八日 天明元年十二月十二日 **享和元年七月五日** 同年十二月十九日 真政八年十一月廿四日 本三十五萬 叙法眼 叙法橋

文政二年四月十八日 實政六年七月十四日 天保四年十月六日 阿年五月十日 十年十月十三日 叙法印 叙法眼 叙法橋

九年正月一日

改名隆房

年月日 同月十六日 天保八年二月十日 文政六年六月廿九日 同九年正月一日 得度 叙法橋 叙法眼 改名光辉

山田

康長

享保元年十二月廿三日 夏曆二年五月廿五日 卒入十四段 叙法印四十八四

寶永七年十一月廿四日 生

勸修寺宮

侍法師 坊官諸大夫 侍 家傅

一松 505本

實曆七年正月五日 享保十九年二月十一日 叙法印 平六十九日

地下家傳

州

隆賢榮廉男

安永三年二月九日

助和六年十二月卅日 實曆元年十二月廿二日 同年十一〇二書2月二十四日 叙法構

叙法眼

政學語

寬保二年三月十四日 學保十二年八月七日

天明五年七月廿日

平五十九世 叙法印

明和二年九月十九日 寬延三年二月十日 得度

安永八年十二月二日 同年十月廿九日 同八年十二月十八日 卒三十四 叙法眼 叙法橋

隆盛桑隆男

天明六年十一月十八日 安永元年正月十一日 同年十二月八日 叙法橋 得度

一五九九

文化七年二月十三日 侍叙從六位下 明和五年七月十六日 天保十四年壬九月十七日 死七十六章 生 任丹後介

弘澄弘道男

弘化三年五月一日 文政十三年四月二日 寬政五年四月八日 传叙從六位下 任若狭介 死五十四歲

同日

細川 源

元雄

同日 弘化三年後五月廿九日 文政元年 月 日 生 任右馬大九 叙從六位下

武田 源

信成

文化十二年

弘化三年八月廿七日 生 叙從六位下

任伊勢介

同日

同日 同年十二月十九日 同日 **文**政元年五月廿二日 安水一年六月三日 體大夫叙正六位下 侍叙從六位下 4 任左馬大允 辭官返上位配

同日 同十一年八月三日 辭官返上位記 任安房守

亭學男

質政九年八月廿五日 4:

同日 同十四年十月廿六日 天保八年十二月廿六日 辭官返上位記 任左衞門權大尉 母叙從六位下

第大夫叙正六位下

任安房守

地下家仰 升一

同日 同日

寫水二年十二月十九日 叙從五位下

森 加茂

清啓

天保三年八月四日 文政十二年六月廿日 安永四年十月十五日 生 死五十七世 任安房介 叙從六位下

同日

清有清啓男

弘化三年五月廿八日 文化九年 月 H 生

叙從六位下 任左馬大允

同日

一五九七

或化二年九月廿四日 叙证五位下 同日 (任右衞門權大尉) 同五年八月十日 (報行) 同日 (任右衞門權大尉) 同日 (任右島守 任石見守 任石見守 任石見守 任石見守

康年康訓男

同日 任右衛門權大尉 天保十四年十二月廿二日 侍叙從六位下文化九年 生

C

諸大夫な) 藤原

次章

寛政六年十一月三十日 叙從五位下 年 教 後 五位下 日 叙 を 1 名 を 1

次盈次章男

同日 任長門介 任長門介 生人 生 生

同日 安永八年二月一日 母叙從六位下三十二

邓收八年七月十八日 離宮返上位記 年近江守

孝誼盛老男

C

林鳴

康忠

寶政四年三月廿六日 叙從五位下三十六同日 紅光大叙正六位下三十六

同五年八月廿二二二

」日 翻省返上位記

文化图字四月旧五日 一級正五位下同十二年十二月廿二日 叙述五位上

間大年三月十七日 類子改成田 文化四年四月十五日 級正五位下

世限)

落辭餝官

文政二年止月十五日

间月四日

-70

天明二年十月十七日 生

五九五

卅一

同日 同日 同日 天保九年正月廿一日 文政四年正月廿日 侍叙從六位下 辭官返上位記 任筑煎介 局諸大夫改勢多

弘化二年五月六日 叙從五位下 任筑前守 叙正六位下

同日

同月七日

元祥元賢男

弘化二年十月八日 女政四年 母叙從六位下 生

嘉永二年三月二日 死二十九世 任陸奥介

同日

諸大夫。

藤原

同日 安永六年十一月廿六日 寶曆六年十月三日

生 任大和介 件 叙從六位下二十二

同八年十一月四日

鮮官返上位記

恒隆

文化元年十二月十八日 寬延三年九月九日

生

文政元年十月廿四日 传從叙六位下五十五 死六十九數 任越前介

同日

野路井 藤原

生

寬延二年八月二日

一五九四

0

諸大夫心

勢多藤原

則輝

地下家傳 卅一

實政方年二月廿一日 死水十六章 任因精守 任因精守

が

同日 同三年十一月廿一日 文政元年九月廿六日 同八年閏二月五日 文化元年十二月十七日 享和三年十一月廿七日 同日 寛政八年九月十八三十七日 同日 天明五年二月十七日 實曆十二年正月六日 大夫叙正六位下三十五 你叙從六位下二十四 华五十九贯 叙正五位下 稱号改對多 叙從五位下 任出初守 任美濃介 叙從五位上 聯官返上位記

天明四年

元隣元相多津崎

生

一五九三

文化六年三月十七日 文政二年正月十五日 同十年二月三日 卒七十段 翻官(同四日落飾) 當家相續

(諸大夫)

川淮

秀伯

明和元年二月七日 同年六月十五日 元文五年二月十六日 侍叙從六位下二十五 生 任左兵衞大尉 辭官返上位記

在綱

文化二年正月十六日 寬保元年二月廿二日 生

同四年八月十九日

辭官返上位記剃髮号等容

同日

侍叙從六位下六十五 任備中へ前いう介

文化三年八月十七日 死八十世

石塚 藤原

兼延

同日 明和九年三月十二日 元文四年六月五日 侍叙從六位下三十四 生

安永二年九月十六日 辭官返上位記 任越前介

元敦正因男

安永二〇三七二年五月十二日 死三十四日

曹大美叙正六位下

任大隅守

一五九二

性總親王御以立法眼

元休

天明五年八月十二十二二日 死六十二世 同日 同日 同年四月廿五日 同日 同月八日 哲曆十一年二月 享保十年(十一月三日、作) **苗大夫叙正六位下** 倕 任左兵衛大尉 叙從六位下三十七日 以三上個号碑取立 任和泉守 辭官返上位記 生

有信元源元暉

地下家傳 州一

永田 藤原氏 野路井底流

法限(稱台部権・)

法眼(開充知じ)後元男

秀成(法限*)尹云男

康昌

同日 同年六月十二日 同日 明和三年正月廿五日 同日 同月十五日 **寶曆十一年三月** 元祿九年(五月十日 (生 **斯大夫叙正六位下** 作叙從六位下六十六世 死七十一世 任能登守 任石兵師大尉 以永田舊多御取立 歸了返上位肥

康忠元林正五位下肥後守

貞清

年月日 年月日 ... 寬延三年八月九日 法橋 法眼

平六十一贯

貞候貞清男

享保十二年十一月廿八日 只保元年十二月十二日 延二年二月十七日 曆十二年十月廿九日 叙法眼 叙法印 被止法印

文化九年十二月十九日 明和元年正月六日 4: 特叙從六位下

文政三年十二月廿一日 后日 任備中守 器 大 叙 正 六 位 下 任播響介

同十一年五月一日

死六十五世

貞慎自儀男

文化五年

生

同日 弘化二年二月十八日 侍叙從六位下 任播磨介

(諸大夫じ

三上 藤原氏 井關庶流

法眼常秀

大廠區陸元 法眼・常秀男

大蔵極時房(越前守い)員光男 越前守員光、大殿亟り陸元男

法眼守順(大變極、)陸房男

五九〇

實際五年正月四日 卒五十三章

盛恭盛補男

安永二年三月十七日 卒四十二四 同十二年十一月二十七日 叙法印 同十年十二月三十日 **基保十八年四月二日 基**語三年九月十三日 叙法眼 叙法橋

天明元年十二月十五日 明和七年八月廿七日 寶曆九年三月十八日 實政四年九月十一日 叙法印 叙法眼 叙法橋

地下家傅 州一

文化十年十月八日

文政十年四月十四日 文化十一年間八月十日 享和元年十二月廿一日 質政二年七月九日 天明二年正月廿一日 叙法印 叙法职 叙达橋 4:

盛彩盛舜男

同九年十月廿二日 本宣資法印 天保五年三月十八日 文政十一年七月廿七日 文化十三年十月廿八日 叙法眼 叙法橋

衣笠 藤原 COS#ナシン

一五八九

井關のシーキャン

宣清鹽淳男

寶曆六年正月十四日 卒三十七章 篡任二年八月五日 叙法稿章原五年六月五日 叙法稿章

宣辰宣清男

文化七年十二月廿七日 卒水十七度 医保三年三月十八日 叙法师明和七年十二月廿五日 叙法职明和七年十二月廿五日 叙法属置保三年三月十八日 生

文化三年八月一日 叙法橋實政四年二月十六日 生

官隆宣辰男

宣**派**同男

被止法橋

同年十月四日 被比法文化七年二月廿一日 叙法橋安永四年三月廿日 生

宣慶同男

同五年七月十七日 叙文政元年二月七日 叙文政元年二月七日 叙世荣 世

天保五年三月十八日 叙法眼三十章 文政元年二月七日 叙法眼三十章

安永三年

同日 天保十二年三月三十日

母叙從六位下六十八世 生

死 任日向介

村上 齋藤

直忠

弘化四年正月十三日 區永元年九月十九日

同日

享和元年

任出選介

死四十八世

香山 源

地下家傳

卅一

生

叙從六位下日十七日

大覺寺宮

坊官諸大夫侍家傳

一五八七

剛德

同日 寫水元年九月廿五日 寛永六年二月は八日

同月廿七日

生 二十元

死 任举川介 叙從六位下五十五日

篤武

同日 寛政門年八月十七日 叙從六位下+人以 安永四年二月十二日 生

九年開七月十日

0

٣

山崎(姓)極

此經

實政八年二月十六日 - 叙從六位下五十四延享四年八月十六日 生

任右京少進

文化元年十二月十八日 叙從六位上至十八日 紀十二年七月廿四日 任石見守五年以(離石泉少進二)

文政二、関四月十一日 - 叙正六位下同十一年三月廿八日 - 叙正六位下同四年二月廿八日 - 叙正六位下

文理武經男

同日 在近江介 任近江介

同年十二月 日 死命六位上

武和文理男

扇子 经二月廿日 叙從六位下文化十四年 月 日 生

0

河窪 中原 〇學 本

同月十四日 安永七年二月三日 任上總介六十二旦(辭大炊大九い) 任大饮大允 改名)季雄

同日

死六十三世 叙從六位上

同九年四月十八日

年八月十四日

李剛季光男

女化四年三月十六日 亨和三年正月十七日 延享元年八月十六日 同十三年十一月廿三日 同八年三月十一日 死七十四世 叙從六位下六十日 遷郎前介 任上總介 叙從六位上

李尚季剛男

天明元年七月十五日 **女政九年六月廿五日** 叙從六位下 生 任越前介

同年七月十六日

死

廣瀬

合彦

同九年六月十六日 實政二年十二月十八日 享保十二年八月十六日 生 叙從六位下六十四世 任東市佐(佑い)

出 (姓い)源

一五八五

待じ

實政四年十一月廿三日 叙從六位上五十員實保三年五月廿六日 任伊豆(質い)守酉+4員(離右兵両大尉・)實保三年五月廿六日 生伊豆(質い)守酉+4員(離右兵両大尉・)

平康平昌男

享和元年七月廿二日

死五十九員

同日 「年十二月廿七日 叙從六位下三十百世 明和六年八月一日 生

同日 文政十年正月廿一日 辭官返上位記 文政十年正月廿一日 辭官返上位記

平充平康男

0

(侍じ)

谷 (姓・)源

季光

明和九年二月十九日 叙從六位下五十五章

同十五年 月日 死六十三世

尚行順止男

文政元年 月 日

同日 疆永九年三月八日 侍叙從六位下三十五日 生: 任尾張介

本多

(姓、藤原

寬延二年四月一日

同日 寬政八年三月一日

同十二年八月七日

文化元年十月八日 翻官返上位肥 任丹後守 離出羽介い

地下家傳 卅一

諸大夫じ

同日 同月廿九日

文政十二年正月廿五日《叙從六位下日十八日

任出羽介

天明二年五月五日

生.

侍 叙從六位下四十八 生

任川羽介

(待じ)

矢守 (姓)源

平昌

同日 同日

韩大夫叙正六位下五十六章

任總後守 叙從五位下

同七年五月十一日

文政三年六月十七日 同十三年二月廿四日 卒七十二世 **叙從**五位上

邦彦當義男

一五八三

文光文連男

0

(諸大夫で)

吉田(姓じ源

應門

實政五年正月廿日 停叙從六位下四十二章 寶曆二年二月七日 生

同日 同日 同七年正月廿五日 女政五年十二月廿一日 同十三年二月十三日 文化七年二月廿八日 同四年正月十三日 同年十(ニシ)月十九日 享和二年十一月廿八日 十二年七月一日 能大夫叙正六位下五十三段 任日向守四十九成(群左兵衛大尉い) (本七十三世 品) (叙正五位下異) 改名い近之 任左兵億大尉 (叙促五位上事) 任近江守 解官返上位記 叙從六位上五十一覧(于時侍い) 叙從五位下

(順正正之男異

同日 (紫天 暴) 叙正六位下 (朱) 以正年二月十四日 (朱) 从六位上 同十一年二月廿四日 (朱) 从六位上 一年二月廿四日 (朱) 从六位上 一年二月廿四日 (朱) 以正年二月廿四日 (朱) 以

小幡 (姓)秦

同日 天明七年二月廿七日 安永六年元月三日 41: 叙從六位下十一世 任備前介

實政八年正月十九日 辭官返上位記

諸大夫じ)

久富 (姓)源

夫明二年七月十六日 實保元年十 月二日 特 叙從六位下四十二章 生.

任

地下家傳

實政三年正月廿五日 同八年八月十日 任體肢守四十八世二階右衛門少尉が 任右衛門少尉 叙從六位上五十二世 于時侍一)

同五年十二月十二日 改名保

同月十九日

醉官返上位記 叙正六位下五十三世

同日

享和元年九月十一日 同十一年二月十日 一十年正月廿八日 任木工少允五十八四二河守如元 本六十一世 叙從五位下五十九世 任参河守《于時諸大夫い》

同日 同十二年十月十一日 同七年十二月十九日 同日 文政九年間正月十八日 作叙從六位下 寶曆十一年十一月十八日 生 株大夫叙正六位下 叙從五位下 任遠江守 任因幡介 辭官返上位記

一五八一

義克

0

(諸大夫じ)

小幡 (姓)奏

忠福

明和六年十二月十八日 特叙從六位下三十二章 元文四年正月一日 生

同日 (李玉十四月) (李玉十四章) 同四年十一月廿四日 (李玉十四章) 同日 (李玉十四章) 同日 (李玉十四章) 包括。 一种 (李玉十四章) 包括。

忠貞忠福男

同日 同十一年十二月廿日 同十一年十二月廿五日 一年十二月廿五日 一年十二月廿五日 一年十二月廿五日 一年七世野介 一年七世正月十五日 一年七世野介 一年七世四月廿日 一年七世四月廿日 一年七世四月廿日

新之(姓平 務号杉木)

同日 解决失叙正六位下四十人员同五年十月廿日 解官返上位肥 保定兵衞少尉 任左兵衞少尉

前光配之男

同日

任右衞門少尉任右衞門少尉

天明二年六月廿一日 同九年三月四日

卒六十二章 ・

級從五位上六十世

間日

三年正月十五日

地下家傳 卅一

耐 憲 麻 光 男

同十一年正月廿六日 株 叙從六位下木十五章 民相換介 任相換介

乘懿帖您男

(諸大夫じ)

高橋 (姓)源

一五七九

泰章公島 誠章男の養子い

姓享五年六月七日 1000年十月十五日 **特叙從六位下十五歲**

同年十二月廿五日 任揺部大允 辭官返上位記

明和五年十月一日 同日 同日 大夫叙從六位上 叙正六位下#一萬 任伊豆守

安永一年正月廿四日 同九年三月一日 遷加賀守州五世 矢守家相續(被仰付二)官位如

同三年四月十七日 叙從五位下#世世 **兀改名** 平 延

同七年 月 H 改名平明

天明六年閏十月廿三日 同九年三月廿六日 叙正五位下二 叙從五位上三十三3 十九四

卒四十一段

同八年三月十日

船直原で 可爲稱号若林被仰出改姓縣

> 同年十月廿二日 安永九年九月廿三日 明和元年九月十五日 同年十二月廿六日 天明五年八月七日 稀大夫叙正六位下 件叙從六位下 叙從五位下世二世 任擒被守 任因婚介 生 辦官返上位記 改姓齊原

盛之前故讚阪守弼直为

夏政二年二月一日

解官返上位記

同年九月廿二日 同日 嘉永四年七月廿八日 侍 任三奥介 叙從六位下

諸大夫も

文化十一年四月十四日 享和三年三月七日 卒三十二章 叙法眼#一世

永劭慶音男

文政五年九月六日 同十四年三月十七日 文化二年十月廿一日 同十二年三月七日 叙法橋十三世 得度

同八年正月廿五日

改行敬

隆長永劭男

公二年

得度

同十四年十二月廿二日 叙法橋 叙法眼世一世

同

(諸大夫じ)

若林 源氏

川章

元祿六年八月十日

4:

同日 享保三年間十月五日

叙正六位下世六世

十四年十一月三日

辭官位

任佐渡守

同日 **西**唐十一年三月十五日 享保五年二月上六日 特級從六位下四十三日

同年六月十二日 辭官返上位記 任辯部大允

安永四年七月十三日 大夫叙止六位下 辭官返上位記 任佐渡守

同日

同日

五七七

同四年五月廿五日 返上位記

一男

天保六年十二月十八日 文政十年六月七日 日代 1878年 弘化三年五月廿五日 文政三年二月二日 同九年十二月廿三日 文化五年十二月八日 辭仙 叙法印三十六歲 叙法眼#一日 叙法橋十三世

德裕 最紹男

天保八年 月 日

同四年正月十一日 島永二年二月廿八日 得度 叙法橋十三世

橋本 元鳴瀧 「○い本ナシ」

慶俊

安永三年十二月十日 寶曆六年正月二日 同十二年三月廿日 同八年五月廿五日 寬政二年二月七日 天明二年二月七日 同四年正月九日 叙法橋 叙法眼 得度

叙法印

辭總在寶 補總在經 改稱步橋本

辭總在廳 還補總斤應

文政五年九月廿六日 文化七年四月廿四日

同八年九月十五日

慶音塵俊男

同七年二月廿六日 寬政二年十一月十九日 天明三年十月十二日 得度

取男

實政十年十二月十二日夫明八年八月五日 安政二年十一月廿九日 同五年九月十五日 同年五月十七日 文化五年正月山八日 同十二年六月七日 **攻政三年正月十二日** 四年五月一日 平大十八世 生 後止總在廳 補總在廳 改義章 叙法橋十三 叙法印三十三世 叙法眼书一

志章義成男

同十二年十二月廿二日 五年 叙法橋世一書 得度

嘉永四年三月廿一日 叙山眼

珉

元土橋「つい本ナシ

同十二年二月十八日 同四年三月廿七日 實政二年十一月十八日 同月十九日 究永二年十二月十日 同六年十月廿三日 天明二年正月十四日 寶曆十三年十月六日 得度 辭總在軍 補總在應 叙法印サ人世 叙法思山 做維舊号是尾 赵法信十二日

最純最現男

天明六年正月十四日

文化三年二月廿五日 同十年二月五日 實政六年二月十四日 得度 叙法眼#一日 叙法橋十三世

五七五

文政二年六月一日 文化六年正月三十日 十二年三月四日 四年十二月十九日 叙法眼 叙法橋

天保十二年

廿二日

叙法印

溫理文煥男

天保十一年

嘉永五年二月廿一日

手島 のい本ナシュ

法橋宗慶

享保三年正月三十日 **政曆**六年五月廿六日 竟延四年二月十四日 叙法橋三十月世 生 返上位記

土橋 つい本ナシ

證珉

安永四年三月廿四日 明和五年二月廿六日 寬延四年二月三日 置政十一年九月十七日 同十一年七月九日 寶曆九年正月廿四日 同年十月一日 享保十九年八月十八日 卒五十八百 叙法印 叙法橋 得度 叙法眼 辭總在經 州總在庫

五七四

法橋秀線

元文五年十月廿三日 返上位記

0

芝築地 (05年十七

生粋

嚴順隆榮男

九年十月十四日 生

州下家傳 卅一

文政七年十一月八日 本六十大章 政士年十一月十九日 叙法[1] 同六年三月十一日 叙法[1] 司六年十二月十九日 叙法[1] 司六年二月十九日 叙法[1] 初法[1] 初述[1] 初述[1] 初述[1] 和规在[1] 和规在[1]

字課嚴照男

天保八年十二月廿八日 同八年九月十四日 文政三年十二月廿八日 同十一年十二月廿八日 文化七年五月十日 享和二年五月廿五日 同六年正月廿八日 寬政二年十一月十四日 天明二年六月十五日 得度 叙法印三十三 叙法眼十一 還補總在廳 群總在應 補總在廳 叙法橋十三世

五七三

同年九月十四日 返上位記 安水四年五月十六日 得度 安水四年五月十六日 叙法稿+食

幸寬幸秀次男

院海 幸寬男

幸昌曉暹里

嘉永二年二月十四日 叙法师三十三章 文政十二年九月十九日 得度 文政十二年九月十二日 叙法稿十三章

幸教幸昌男

0

一條のいますら

元文元年九月廿四日 法印維仙

何五年十月廿三日 同十二月廿二日 元文二年九月廿七日 叙法眼 改雜章 返上位肥

維昌維仙男

成多喜《いまから

法印幸淳

同四年四月三日 元文元年九月廿五日 改鳴瀧 補總在縣及四寺別當

地下家傳 州一

聯納在即

同月十二日

曹曆 二年五月十日

永淳幸祥男

元文二年十二月廿二日 叙法橋

同五年十月廿三日 同四年三月廿七日 改淳死 返上位記

幸俊幸淳次则

置保二年五月十日

生

同十年九月五日 **被唇**六年十月廿九日 寬延二年九月三日 叙法橋十五日 得度

改幸秀 叙法眼 五萬

明和三年二月五日

補總在應作西寺別當

卒五十三世 辭總在鄉

寬政六年七月三日 天明五年七月廿九日 安永四年四月七日

幸雄幸秀男

一五七一

仁和寺宮

大覺寺宮

勸修寺門跡 三寶院門跡

隨心院門跡

蓮華光院門跡

坊官 諸大夫

侍法師

卅

地下家傳

仁和寺宮

坊官諸大夫家傳

盛力

天保十年八月六日 享和元年

同日

小南

藤原

叙從六位下三十九日

生

政治

天明七年

嘉永二年三月廿二日

任能登介 担 叙從六位下六十三日

同日

地下家傳 廿九

一五六九

同六年四月廿三日 本五十四篇

安政二年八月十二日 文政九年 月 日 生

任日向守 叙正六位下#大量

(侍じ)

磯田 源

種連

寬政元年五月一日 処享元年 特 叙從六位下四十大章 生

同九年十月十一日 死五十四世 任近江介

同日

侍叙從六位下

天保四年六月廿六日 辭官返上位記 任近江介

我大夫叙正六位下四十五歲 任伊勢守

同日

同日

弘化二年三月五日 同十年四月八日 叙從五位下五十一 **赵從五位上五十七日**

同三年八月廿七日 同五年十二月十一日 永四年四月廿五日 卒六十四世 叙正五位下六十三世 透豐川守

種美種昌男

嘉永五年三月八日 文政八年 月 B

同日

生 叙正六位下サ八世

同四年二月廿七日 **卒五十**段

義利 證成男 電井伊掃部頭家士眼義**服**男

同日 天保四年八月十日 享和元年七月廿一日 生 任備非守 叙從五位下三十三世

同十二十二十四月八日 叙從五位上三十九日

諸大夫じ

藤原·

同日 安永元年十一月十九日 實保二年五月五日 生 叙從五位下三十一 萬

七年十一月廿九日 叙從五位上三十十日 任日向守

廿九

天明四 同八年六月十二日 同七年十月十三日 年十一月十 日日 出家(法名空明)四十七萬 叙從四位下四十六日 叙正五位下四十三世

善基務福男

安永四年四月十六日 4:

同日 . 年四月五日

叙正六位下#人

任日向守

善起為基男

文政九年四月七日 寬政十一年

叙正六位下 #人間

同日

同九年三月廿一日 天保三年三月四日 任大和守 叙從五位下三十四

語永川C1 男ンで三月十一日 | 叙從四位下五十三 月 H 叙正正位下四十六世 叙從五位上四十二

同十五年

一五六七

天保九年 月 承久承明男 B

器永五年三月廿七日 得度 叙法橋十五日

諸大夫じ

安田

滿義

延寶元年十一月十四日

享保九年六月廿一日 叙正六位下五十二章

同十四年二月十五日 日日 任确津介(守い) 叙從五位下五十七世

> 同十九年二月十六日 元文元年四月六日

卒六十四次 叙從五位上六十二章

義專施義孫

享和三年十一月十二日 同十年五月一日 寬政四年二月十四日 同日 元文三年一月二十日 天明六年三月六日 明和四年二月四日 平六十六家 任伊賀守 家相續 叙從五位上六十二 叙從五位下五十五世 叙正六位下四十九年

義成義勢男

天保三年三月四日 文政三年五月八日 同日 天明四年 同九年二月廿九日 文化十二八十男二年二月二日 叙正六位下三十二 叙正五位下四十九世 叙從五位下三十七回 任伊賀守 叙從五位上 日十三萬

文政二年九月廿五日 安永五年正月十五日 同十二月十九日 明和七年七月廿九日 寬保三年九月十五日 天明三年二月三日 卒七十七世 得度 叙法印四十一章 叙法橋甘人數 叙法限三十四章

水衛 承興男

同十三年八月廿一日 文政八年正月七日 女化六年四月廿九日 同十年三月廿九日 同六月一日 寬政二年五月三日 安永五年九月四日 叙法橋 得度十五世 叙法印四十四世 叙法眼三十三世 職居に号洞溪

承政派德義子 省舍弟

文化十三年三月十一日 寬政六年正月十五日 得度世三國

廿九.

同月十九日 **奖政元年四月十五日** 北廿五世 叙法橋

承式飛衛 五子

天保三年三月四日 同月十九日 文政七年十一月十三日 文化十一年十月四日 一五年十月三日 叙法橋 得度十一日 叙法眼十九 群位(叙法印書)

承明實今大路故範光男

應居(等有樂)

弘化四年七月九日 同月九日 天保四年七月一日 文化七年九月十一日 叙法眼 叙法橋 4: 得度世 叙法印三十八章 W

二五六五

定範範光男

嘉永三年七月一日室末+人食京政六年三月十一日(日本)<

範成

安政二年八月十二日 叙法精世四章 生 (得度異)

0

前大路 (0:**)

承政曹江洲高線郡万木村鄉士万木母隆男

承尹寶神祇道一木職宇野(都男)善成男

享保九年

月

日

承船承尹男

天明二年十二月八日 死三十年代 割延元年 月 日 生

承興、承弼養子〔男異〕

一五六四

毘沙門堂門跡

坊官 諸大夫 侍 家傳

今小路 505年183

為範法印範邦男

地下家傳 廿九

明和元年七月五日 卒四十四 叙述即四十四 叙述即四十四 叙述即四十四 叙述即四十四 叙述即四十四 知述即四十四 知述即四十四 知识则是一年四月十二日 叙述职业书回

七山村政軍八首馬以男

效证证

明和六年十一月一日 生 第一時, 生 一月一日 生

文政八年八月廿二日 | 谷康世書等(叙從六位下書) 室改五年五月七日 | 叙法順三十二章 文化六年八月廿七日 | 叙法順三十二章 第政五年五月七日 | 叙法順三十二章

一五六二

享保八年二月十七日 生

(同日 寬政九年四月廿四日 任能登介 叙從六位下七十五萬)

同十年九月廿三日 享和一年十月廿三日 (上下〇)(大 任和泉守七十六章)

俊人範久男

暂曆十年二月七日 生

同十三〇二里)年二月十八日 叙從六位上七十 同日 文政四年二月十六日 任能登介 叙從六位下六十二章

天保五年四月二十日 同廿一日 辭介 落餝七十五世

年六月廿八日

久時俊久男

同日 實政元年六月八日 天保五年十二八 異月十七日 叙從六位下日十六日 任州波、後夏介

> 弘化二年 同十四年六月十八日 叙從六位上五十五世 死メッ七蔵

久公故久時男

同日 嘉永四年十月二十日 文化九年 月 H 叙從六位下三十七萬 任豐煎後男」介

五六二

同年十二月十九日 第大夫叙正六位下 任下野守 辦官返上位肥 任播響介

同日 同日

一师母正四位下賀茂保仲女

同十三年九月十六日 同十一年九月十五日 女政四年三月十一日

李五十黄

叙從五位上四十八章

叙從五位下四十二世

同日 女政七年間八月十一日 文化七年四月廿七日 任大和介 **特 叙從六位下十五世**

同年九月十七日 籍大夫叙正六位下 辦官返上位肥

同日

同日 同八年七月廿九日 同日 天保二年五月十九日 叙從五位上#八 叙從五位下廿二世 任出初守 超遠江守

十九九

同十五年十月

叙正五位下三十五世

李繁季祥男

天保七年

寫永三年二月三日 特 叙從六位下十五世

同日

同年三月四日

辭官返上位肥 任紀伊介

安政四年正月廿五日 天夫叙正六位下 任越後守 叙從五位下#二世

同日 同日

小島

和氣氏

侍

(範人)

一五六一

同日 同平十二月廿八日 寬延三年九月廿九日 層十二年九月廿八日 叙正五位下五十五段 官位失關 復任下野守 **促叙從五位上** 日十三世

安永三年十月八日 同五年九月二日 卒六十九課 叙從四位上六十七萬 叙從四位下六十一世

明和五年三月廿六日

改季遊

寬延元年四月九日 李端季選男

明和三年十二月十九日 侍叙從六位下十九世

同日 同四年正月十六日 辭官返上位記 任大藏大錢

同日 **艺大夫叙正六位下二十世** 任土佐守

天明六年二月三十日 同八年二月一日 安永二年十二月十九日 叙正元位下三十九世(中六) 叙從五位上三十二世(中五) 叙從五位下#六貫(中五)

> 文化二年正月廿六日 寬政四年二月二日 文政十三年二月廿二日 同十年三月廿七日 卒入十三百 叙正四位下五十八歲(中六) 叙從四位下四十五世(中五) 叙從四位上五十二章(中五)

五六〇

同日 寬政五年十二月十九日 安永八年十一月五日 季紀季端男 传叙從六位下十二 2 任下野介

同十一年九月八日 文化四年十二月十九日 同十二年三月十四日 同日 同日 同六年正月廿八日 **第大夫叙正六位下十六读** 叙從五位上世九日 卒三十六世 任越前守 叙從五位下#二章 辭官返上位記

天明元年十二月十一日 恒季母嗣上

文化十一年十月三十日 侍叙從六位下三十日章

天保二年六月十四日

叙從五位下世九八中六 任,从前下

同八年七月五日

改正龍

叙從五位上三十五日

十五年正月廿五日 叙止五位下四十二世

永四年正月十八日 **叙從四位下四十九回(中六)**

市、風重龍

天伴五年七月八日 文政九年三月十五日 4: 叙正六位下九四

任参河守

叙從五位下十五章 叙從五位上世二世

同日

弘化四年二月十三日 十一年十月廿九日

選近江守

西池 賀茂氏

別雷紅神主質茂在實廿一 世孫賞改委へ秀い典 一男

依季母十種宮內駒法眼良由女

資水元年十一〇二・月廿六日 明層元年五月十五日 叙正六位下五十世

享保十平十月七日 正德五年十二月廿七日 十八年三月三十日 卒七十九世 任伊豆守 叙從五位上七十一章 叙從五位下六十一員

同日

季珍依季男

同日 **享保十七年六月一日** 資永五年六月一日 叙正六位下#五世

延導四年十二月廿六日 元文四年十二月廿五日 叙從五位上日十日 叙從五位下三十二章 任下野守

一五五九

十九九

同日 同年九月十四日 明和七年八月廿四日 宣曆四年九月十三日 大夫叙正六位下 母 叙從六位下十七世 生 辭官返上位記 任右兵衛(衞門・)少尉

安永五年正月廿五日 天明二年二月二十日 任備後守 叙從五位上#九世 **叙從五位下#三版**

同八年正月十五日 見政元平二月五日 本三十六歲 叙正五位下三十五章

安永七年十月三十日 保方保弼男

寬政三年五月廿三日 侍叙從六位下十四世

同年六月十九日 人夫叙正六位下 任伊勢介 辭官返上位記

夏政九年正月廿二日 叙從五位下二十章 任伊勢守

> 同九年八月八日 文化七年十二月一日 亨和三年九月廿六日 本三十五歲 叙止五位下三十三日 叙從五位上#六世

保敬保方男

同日 文化十三年十二月廿一日 作叙從六位下十四章 和二年二月四日 任因幡介

同日 同日 同十四年正月廿七日 **蓝大夫叙正六位下十五章** 辟官返上位記 任伊豫守

重龍保方男 元軍全

文政七年八月廿七日

死#二世

同日 同年十一月十九日 文政七年十月廿八日 享和三年三月廿七日 新大夫叙正六位下 侍叙從六位下世二世 辭官返上位記 任備後介「守事」

一五五八

期電社神主賀茂在實二十世孫賀茂兼友(一・)男

東方田千種宮內駒法眼良由女

寶永七年六月四日 叙述五位下四十九郎同十四年三月十六日 叙正六位下四十九郎

同十五年七月五日 本六十九章 同十年九月十四日 叙正五位下六十四章 同十年九月十四日 叙正五位下六十四章

樂躬兼方男

元文二年三月十一日 卒8十三章 「日十六年十一月廿一〇〇〇〇日 叙従五位下三十六章 「日十六年十一月廿一〇〇〇〇日 叙述六位下★九章 「元祿九年十月十五日 生 叙述六位下★九章

地下家傳 廿九

ト保住役ア朝正云の所を任力へ **客曆十二年十月十七日** 同日 同年十二月廿八日 同年九月廿九日 延享元年十二月四日 同日 質延三年三月四日 寬保三年十二月廿七日 享保八年十月十八日 清任(住 任第前守二十二日 叙正六位下#一世 叙從五位上四十二 任縫殿少九 復任第前守 復叙從五位下 百位失關 級從五位下十八世 母從四位上賀茂氏共女 被外列

保船清住男

叙述四位下去+B#教徒四位下去+B#教徒四位下五十八章

五五七

享保二十年正月八日 同年二月二日 寶永四年五月七日 得度 叙法橋廿九世

延享元年五月廿五日

互曆八年十二月十八日

叙法印五十二

叙法眼三十口

安永三年八月廿六日 啓蓮輝憲男 卒六十八員

同十二年正月十日 同九年二月廿七日 質保元年九月十七日 **政曆八年十二月十七日** 死廿二歲 叙法橋十九章 得度

應溪應憲男

大明三年七月十三日 同三年二月十九日 安永二年十月廿八日 **|唇九年二月廿六日** 得度 叙法眼世五世 叙法橋十六

寬政七年六月六日

卒三十七曲

應行應後男

五五六六

文化五年五月廿八日 同年十月廿八日 寬政六年正月元日 得度 叙法橋十五貫

同六年八月廿四日 文政元年十二月十九日 卒三十章 叙法眼#土蔵

文政四年四月三日 集母正五位下小野久明女

天保三年八月十一日 同十三年十二月廿二日 同年閏十一月廿一日 **岛永三年十二月十九日** 得度 叙法印四十二 叙法橋十二 叙法眼#二

、諸大夫じ

山本 賀茂氏

內 選 母 藤 原 正 移 女

天保三年七月八日 同月十九日 文政六年十二月四日 文化九年二月二日 十一年四月廿九日 得度 辭位 叙法眼#一章 叙法橋十二萬

讓中學變男

弘化五年正月廿七日 **父**政四年 叙法橋 叙法眼世八世 生: (得度)

塩小路 「〇い本ナシ」

聖護院宮御家來青田主成男

同七年六月四日 資永二年十一月十七日 同十七年八月十九日 享保元年十二月廿三日 同年十二月十八日 寬文十一年 日 平十二日 叙法印五十六 但度 叙法眼五十四 叙法橋四十五世

應淳以範男

同十六年六月十九日 同月廿一日 享保九年六月十七日 天和二年 月 B 死五十世 得度 叙法橋四十三日

應戀與尊男

不不无

地下家傳 廿九

買享三年開三月十八日 寶永七年——月十九日 卒入十四贯 叙法印六十章

買文六年 月 尚宜[言]尚堅男 一份良由女

贾永一年十一月六日 同十二年十二月廿八日 元祿六年九月三日 同年十一月廿一日 叙法印四十四 叙法橋廿八世 級法眼三十四■

元文三年四月十六月 卒七十二世

啓迪尚宜(宣異)男 元泰宜(宣異)

延享二年八月日 元文四年十一月十二日 同年十二月廿五日 西永二年 日 改啓迪 叙法橋

寬延元年十二月廿六日

叙法眼四十四號

質曆四年七月八日

卒于十百

啓道 母源 停信 女

五五四

同十二年十二月十九日 同年十二月廿二日 元文三年 實曆三年五月八日 月 叙法橋十六日 得度

啓貞啓道男

文化十二年七月廿一日 安永六年正月十九日

3年七十八段

叙法印四十萬 叙法眼 #五萬

同七年十一月十二日 寬政三年五月十三日 同年九月三十日 天明三年五月十七日 明和六年 月 H 卒廿七段 得度 叙法眼世三 叙法橋十五

啓殿野道男

天明五年正月元日

生

坊官 諸大夫 侍 家傳

塩川のきまむ

良曉父田不知

元和三年六月十一日 叙法稿 共成年月日 得度

同十四年二月五日 - 叙法即西土成 寛永六年七月廿三日 - 叙法职西土成

地下家傳 十九

千種 0

年月日

干種 001*12

夏百秀賴公幕下千種又三萬源顯理切

年月日 得度 得 月 日 生

叙法精

尚堅·良·由男 民主的

寬永四年

月

日

延續四年十二月九日 叙法眼五十四 第文二年十二月十七日 叙法精三十六四年月日

五五三

同十三年七月二十日 死五十六章

C

堀部 藤原 承仕

吉當堀洞雪男

常务 青當男 實五十川高弘男政四年間二月廿六日 死 + 九京

安永三年二月十一日 生

質政十年十二月十九日 叙法橋#無報年月日

當純當秀男

天保二年八月廿八日 叙法精甘夏文政五年十月十五日 得度十五章文化五年二月廿五日 生

.0

内田 承仕

就次

嘉永七年四月十六日 - 叙法稿七十章安永三年 - 生

就俊就次男

或化四年二月廿二日 叙法橋四+ 文化四年 生

五五二

寛政八年三月一日(テ時侍い)叙従六位下五十五世 寛保二年(九じ月(十二七)日 生

同日 享和元年二月十四日 死六十日 任大和守

重弘旗直男

同日 嘉永二年二月十四日 天明七年 月 B 叙從六位下六十三世 任陸奥介

安政四年六月五日 死七十一点

脇屋 源 侍 「〇以下い本ナシ」

利音利章男 實三谷源重矩六男

文政三年四月八日 **野暦六年三月六日** 叙從六位下六十五世

地下家傳 計丸

同日

任四前介

同月十五日 利貞和晉男

質渡過河內守源珍之五男

安永八年九月十六日 4:

同日 天保六年十月八日

嘉永四年十月二十日

任下統介

叙從六位上七十三八中十五)

叙從六位下五十七世

三谷 源 侍

渝質明 實度邊河內守源珍之四男

交政九年五月廿五日 安永四年四月三日

41: **叙從六位下五十二世**

任出憲介

同日

五元

(姓で)賀茂

貨(宜じ)顯字顯男

同日 寬延三年七月十六日 文化五年正月三日 寬政三年正月廿五日 (子時侍公) 叙從六位下日十二章 死五十九歲 任上總介

保祿故宣願男

嘉永四年十一月九日 文化五年 天保十三年七月五日 任尾張介 死四十四改 叙從六位下三十五世

三上(姓少源氏) 侍

保教保健男

同日 質政七年八月九日 (于時代以叙從六位下七十六世 享保五年六月十八日 生 任伊賀守

爲保保数男

享和三年五月三十日

死入十四 版

天保六年七月廿六日 同十一月廿一日 文政十三年八月三十日 安永六年五月十一日 生 叙從六位下五十四世 改為康 任左馬大允 死五十九歲

山下 (姓で)源(氏で) 侍

重直清経男、實(養子・)早苗藤原

一五五〇

年月日 何日 享保二年十二月九日 4: 叙正六位下十八日

同日

天保十五年八月六日

叙從六位下六十一章

天明四年

生

安政三年五月三日 語水五年三月廿七日

死七十三世

叙從六位上

任極津介

同七年二月九日

退分 任等狭守

木崎

正達正方男

安永三年十二月十九日 年月日 正體三年 月 B 传法師叙法橋六十二世 生 得度

夏政四年五月廿八日 天明三年六月八日 本八十世 叙法眼七十一

正宜[宣異]故正達男

源氏

初瀬川

宗邦宗勝男

質 養子・) 稍垣源幸尚風

(姓)源氏 侍

安永十年十二月十九日 寬政六年五月十五日 同日 元文五年五月廿八日 性 死五十五世 (子時件) 叙從六位下四十二員 任三河介

地下家傳一十九

一五四九

同三年十二月十一日 天保二年二月四日 同十三年十一月廿 同八年七月五日 同六年九月廿八日 十三年十月三日 日 改隆澄 叙從五位下三十六篇 叙從五位上四十二歲 選日向守 改名復弘澄 鮮官返上位記 經坊官得度(法名弘澄)

同日 同十四年五月十二日 同日 文政五年正月十三日 天保六年二月十九日 器大夫叙正 六位下世二世 作叙從六位下 生 任伊勢介 辭官返上位記

> 嘉永 同日 安政三年五月十一日 一年後四月九日 **叙從五位下サス**■ 任筑後守 **赵從五位上三十五章**

源氏

重貞

弘化二年八月廿八日

年十一月廿七日

叙法橋四十七日

永七年後七月十五日

叙法印五十九日 叙法眼五十萬

同九年十二月十一日 同年間十月 同日 年月日 同日 同三年十月廿二日 正德二年十二月十六日 寶永四年七月八日 是保二年十二月 日 B 退身 爲坊官 叙法橋三十六世 得度(法名号貞重) 任飛驒守 叙正六位下#五世 叙從五位上三十五章 叙從五位下三十萬

澄香澄秀男

享保九年九月十日 政府十四年二月八日 (子時作い) 叙從六位下四十一曲

明和八年十二月八日 任主計大允 辭官返上位肥

同月十四〇八い日 為坊官得度「御坂立い 、法名号澄玄)

安永四年九月二十日 同月十八日 十年正月二日 **卒五十八**世 叙法眼五十二章 以法橋四十八世

長澄澄玄高い男

明和八年十二月三日 寬延三年十月一日 侍叙從六位下廿二世 生

安永六年九月十四日 何日 辭官返上位記二十八章 任大學大允

地下家鄉 廿九 政澄澄玄(喬い)次男

> 安永七年間七月十一日 博曆九年九月廿五日 申叙從六位下二十日 任大炊大允

头明六年二月廿三日 節言返上位記

同年三月十五〇十六)日 爲坊官(御坂立上)、冊号改小川

岡日 同月十六日 得度, 法名号纯方) 叙法精士入世

寬政六年二月六日

享和二年二月廿八日 改育澄 拟法眼三十六世

文政七年八月二日

同年三月五日 本六十八世 叙法印西十四章

弘澄 意證男 稱多復山田

同日 同八年六月十三日 文政三年十二月五日 寬政八年十月廿三日 作叙從六位下サ二世 任肥後介

爾大夫叙正六位下三十世 任備後守 辟官返上位記

同日

一五四七

同四年九月十九日 (依病辭官返上位記 同日 (任和模守)

十一年八月十六日 卒三十八章 叙從五位下三十七章

· 水 寧 · 小島能養介和口俊久次男

同日 任若狹介 任若狹介

天保十一年

月

H

死世七世

永與永知男

嘉永三年六月廿二日 死三十二 任安徽守 居日 任安徽守

永言故永興男

同日 任伊豫介安政四年六月廿四日 叙從六位下+六章

(侍じ)

山田 源氏

年三月十九二五一日 #大夫叙 正六位下 辭言返上位肥

同日 任大隅守

明和五年十月二十日 叙從五位上日十七日 叙從五位下日十二日

同日 安永三年正月廿三日 任左衛門大尉(守如元)

同年八月二十日 平日十七里

明和八年十二月十四日 實曆二年三月十日 永明文小男(〇い赤州、永利ノニ人ラ仲トシテ明版) 宝(養子い) 細木源藤苔(淳 生 传叙從六位下二十二

永事永貞男 賞(養子し)遠藤源高数次男

安永三年八月三十日

死世三世

任木工大允

同日

質曆三年七月十九日 4:

同日 安永七年八月九日 侍 叙從六位下廿六歲 任木工少允

地下家庭 小九九 夫明二年八月十

B

辭官返上位記

同八年四月三日 同日 #大夫叙正六位下三十世 任村模守 叙從五位下三十六日

同日 逼伊豫守

寬政三年十二月廿二六 ○日 任右衛門大尉(守元如) 三十

同六年四月六日 同十二年三月十四日 叙從五位上四十二日 級正五位下四十人世

文化元年九月廿一日 辭官返上位記

同日 同年十月八日 同月廿二日〇十月八日い 叙法橋五一二世 得度(法号永胤) 爲「于時で」坊官、御取立で

同八年閏二月廿七日 死五十九

永利永胤(享じ)男 質(養宅で)森山區

同二年十二月八日 同日 文化元年二月十八日 天明四年九月三日 作叙從六位下#二章 生 際了返上位記 任近江介

一五四五

永圓忠圓男

長十年三月九日 生

年月日

侍法師、永信永円男

年月日 寬永七年十一月廿三日 死 4 得度 叙法橋

永忠永信男

年月日 寬永十一年十月二日 生 得度

永長永忠男

寬文十二年 元和四年 月 月 日 日

元祿四年九月六日 同年八月十九日 死七十四歳 叙法橋五十五段

正德五年 同年二月十五日 享保十十年九月十五日 死 十九日 月 H H 得度 叙法橋四十二世

永範永淳男

貞享五年三月一日

生

同日 元文三年十二月廿七日 延享三年十二月三十日 同五年三月廿二日 享保十九年十二月十四日 卒五十九歲 叙從五位下五十三世 選佐渡守五十二 任能登守 新大夫叙正六位下四十七章

永貞永範男

同日 資曆十一年正月廿四日 享保十三年三月廿九日 侍叙從六位下三十四日 任采女佑

同日 同十元年四月五日 禁大夫叙正六位下十四世 任若狹守 辭官返上位記 任若狭介

同日 同月小四日 女政六年十月二十日 爲坊官 辭官返上位記 得度法名永雄

同十三年 天保九年三月廿一日 同十一年十二月十八日 同月廿八日 卒三十八京 叙法印三十四世 叙法眼#四萬 叙法橋十九世

永賢永維男

同日 嘉永元年三月十一日 # 叙從六位下十二章 天保八年 任出羽介

同年八月廿八日 株大夫叙正六位下 辭官返上位記

同日

地下家傳 十九

任出羽守

安政二年

叙從五位下十九世

(諸大夫じ)

松井,源氏

法橋成圓

法橋関信

千代鹤 法橋辨圓

忠圓

以上傳不詳

死生

年月日

文祿二年九月十一日

得度 叙法橋

一五四三

寬政二年四月六日 同日 同九年後七月十日 天明三年九月十七日 安永七年三月廿三日 同日 同九年七月三十日 明和六年八月一日 同四平八月廿四日 同年九月廿三日 寬保二年五月廿八日 十二年七月十三日 八年三月十五日 籍大夫以正六位下三十二 侍叙從六位下世八世 任西市佑江正小江守如元)日十二世 任石近衛將監(守如元) 叙從元位下三十七日 辭官返上位記 任石兵衞少尉 辭官位如元)隱居五十六日 叙從五位上四十三章 **級從四位下五十五萬** 叙正五位下四十九歲

平五十九段

永喜永昌男

明和八年五月十五日 4:

> 同八年二月七日 同七年十月廿八日 文政元年六月廿四日 同十二月廿二日 文化六年正月廿三日 同十二年五月廿五日 同九年八月七日 寬政六年五月二十日 同日 天明八年四月廿一日 同日 同年九月十七日 天明二年六月八日 能大夫叙正六位下 **# 叙從六位下十**二 任清狭守 卒五十五賞 叙正四位下五十四世 叙從門位上 B+入量 叙從四位下三十九日 数正 叙正五位下 十日 任西市正(守如元)#七章 叙從五位上#四世 遷出初守 叙证五位下十八世 辭官返上位記 任若狹介

永純永喜男

同十四年十二月廿一日 文化二年十二月十三日 侍 叙從六位下十三世

弘化二年四月十五日 同八年五月廿二日 天保六年十月十二日 同七月十日 文政元年八月六日 同十二年六月廿三日 改行罪 得度 叙法限二十日 叙法橋十二日

正德五年二月十五日

住法無叙法橋四十二日 得度

資永四年十一月十六日

月

H

永之四清男

寬保二年十月廿九日

贾曆 元年十月二日

中ナナナス 叙法印七十四 享保十九年十二月十四日 坊官叙法眼六十二章

諸大夫じ

松井 源氏

元献四年十二月十四日 同五年六月廿八日 天和元年十一月廿八日 寬水九年 月 侍法師叙法橋六十章 得度 死六十一世

十九九

H

永春永之男

同日 同九年二月一日 同月廿二日 明和五年二月三日 同三月十五日 同十一年二月廿七日 寬政六年十月廿五日 寶曆元年十二月十七日 資水元年 月 日 存法等叙法精四十人思 得度 叙法印本十九上 叙法即六十五日 叙法橋五十八世 辭位 爲坊官(稱号改喜多)

五四

平九十一世

行光行賢男

行雄行賢次男

忠淳統派秀美山男一元明号管田姓源氏

享和三年七月十六日 同六月十五日 同五月十九日 寬政二年四月十七日 同月廿四日 同日 天明九年六月十七日 明和八年十月三日 一十年三月廿七日 侍 叙從六位下十八世 卒三十二歲 叙法胆业人世 生: 當家相續爲坊官 得度法名号行宣 辭官返上位記 任常陸介 (坊官御収立い)叙法橋ニ+食

行龍行電男 實木村源玄綱三男

同四年11月三十日 卒三十歳 叙法橋中北京 和政四年正月一日 生

行統行龍男

完[宗真]光行康男 元行赋

以上叙位年月日記錄不分明

、賀宗光男

同十二年十一月二十日

卒三十八日

慶安四年三月二日 叙法稿二十章 程度 第永九年 月 日 生

地下家傳 廿九

行傳宗貿男

行盛行應男

元文四年 月 日 生 行**贤**常家俱續

五三九

一五三八

同九年五月十七日 同三年五月八日 安永九年十月 明和六年六月廿六日 同十二年閏四月六日 **寶曆二年十月十三日** 得度 退身 叙法印三十二章 叙法职世五 叙法橋十六章 改名慶雄

今小路 三善 坊官 (Oい本ナシ)

法印行寬正四位下三善康衡六代孫

年月日 享德元年十月十八日 慶安二年 月 日 卒入十四世 得度

月日 生

法印行澄行實男

年月日 年月日 明應九年二月八日 永亨七年 月 天明七年正月十九日 法印行藝行鄉男 法印行辨行澄男 生 卒八十貫 本六十六宣 得度 得度

年月日 天文十八年七月十八日 卒七十七章 文明五年 月 日 得度

法眼行忠行藝男

年月日 天文四年 元館元年十月六日 法印行康行忠男 月 日 得度 平三十六篇

-

曹谷 應流 坊官 (05本大多)

慶英寬陽男

元祿二年九月一日 卒士+ < 與 學長十七年 月 日 生 得度

慶超慶英男

地下家傳 十九

英周慶超男

英洪英周男

寶永四年

月日

實際大平十二月廿二日 得度 實際大平五月十八日 和法縣十人員 同十四年十二月廿六日 和法縣十人員 同十四年十二月廿六日 和法縣十人員 同十四年十二月廿六日 和法縣十人員

五五三

元文三年

月

H

生

一五三七八

同四年六月十七日 寬充實純男 卒廿六世

同年八月一日 明和二年六月廿三日 寶曆兀年 月 H 叙法橋十五世 得度

同七年二月二十日 卒二十段

寬常寬充男 實鳴瀟法印幸淳四男

天明六年八月十一日 安永三年九月十五日 同年十月一日 明和七年九月廿四日 野暦 八年 買政十一年五月八日 月 日 得度 卒四十二 成 叙法印世九日 叙法眼+七 叙法橋十三章

寬淳寬常男 實橋本法印

天明五年正月十五日 十年四月九日 得度

> 文化四年四月十五日 同年五月十三日 **交政十一年九月廿三日** 隱居 叙法橋 叙法即北三世 四度

天保八年二月八日 同年十月廿二日 文政十一年九月廿三日 文化十二年六月七日 同十三年十一月廿一日 得度 退身 改名實光 叙法橋+四農

寬柔 寶淳二男 實中西惟秀三男

同十五年十月一日 同年九月廿七日 天保八年八月廿三日 文政二年正月十八日 得度 辭位 叙法橋十九世

文政三年 寬意[位真] 野淳男

明曆三年九月廿一日 卒七十三章

實際寬慶男

要永五年九月三日 卒人十1章 電水五年九月三日 叙法即五十1章 電文六年十二月十一日 叙法即五十1章 電文六年十二月十一日 叙法称三十九章

寬孝實琛男

享保十五年九月廿五日 春天十六日 家法師三十五日 初法師三十五日 初法師十二月廿四日 叙法師十三月廿四日 叙法院廿三月 司等四年十二月廿四日 叙法院廿三月 初法院廿二月 廿五日 年

寬敬寬差男

地下家傳 廿九

見裕實敬男

寬純實裕男

實經三年四月五日 叙法稿十五章元文四年十一月十八日 得度享保十一年 月 日 生

五三五

同六年四月廿五日

金枝金秀男

安水二年 同九年七月十六日 實政元年十月六日 天明七年三月廿六日 叙法橋十七日 得度十五世

金橋金信男

同四年十月一日 文化二年二月十七日 寬政三年正月十五日 得度十五世 叙法橋十七世

金昌金織男

日 生

天保四年

月

嘉永二年十月三日 得度 叙法橋十七世

妙法院宮

侍法師 侍 承仕 坊官 諸大夫

家傳

菅谷 菅原 坊官 「ついボナシ

法印寬乘

天正十三年 月 得度 日 生

年月日

天保 李和三年

嘉永二年後四月八日 同十二年七月五日

得度

辭位 叙法橋三十九世

信敬

天保十五年 月

安永三年十二月十四日 死六十八世

金秀的順男

同月十三日

曹曆六年四月三日

得度 生(月日不祥)

叙法橋北十日

寶永四年

得度

安政二年九月廿四日 叙法橋十七貫

古畑 藤原 承仕

> 天明元年四月十八日 同年三月八日 明和七年正月廿六日 享保十六年

死六十二篇 叙法橋日十世 得度 生(月日不詳)

金信金秀男

素順故法構金響男

生(月日不祥)

明和五年

生(月日不祥)

天明二年七月六日

同四年十二月十九日

叙法橋十七四

得度十五世

得度

地下家傳 廿九

享保八年

年月日

元文四年四月二日

叙法精士七

仍順故法橋金順男

71

飛田 藤原 承仕

信然法橋眞順男

天明八年五月十六日 (月日不詳) 享保十七年 生(月日不詳)

信榮信然男

信光信然男

實政元年九月十九日 得度十五歲安永四年十二月廿四日 生

動功過年歸八款或) 古稀旁以御憐愍被宥許不可爲後 雖無家例不容易是迄懺法壽每度參動於室表法養向 嘉永元年十月(十異)九日 叙法眼土+ng

,

信心信光男

信純信光男

(梶井門跡侍じ)

竹原(姓)藤原

仍豫義榮男

實政二年十二月十四日 率六十二章 實政二年十二月十四日 率六十二章 军侯十五年八月十五日 经经五位下五十八章 明和五年正月廿七日 叙從五位下五十八章 任念河守 任念河守 任念河守

田像の豫男

地下家傳 廿九

同十二年六月十四日 死日十人日

海輔由預明

0

入谷 源 〇月下:本十七

清容[容報]

五三

第永七年七月廿一日 死士士三世 第永七年七月廿一日 叙從六位下四十七世 配任四年十二月廿二日 辭官返上位記 弘化四年十二月廿二日 辭官返上位記 任遠江守 任遠江守

C

(梶井門跡侍じ)

渡邊 (姓)源

量章故大和介往永男

凯永三年十一月二日 244

長裕長和男

同年十二月廿四日 天保十一年 月 嘉永四年 月 日 H 得度 叙法橋十二章

(梶井宮諸大夫で)

井上 菅原(氏で)

良閑稱伊豫

搜永五年九月二十日 寬永十七年 叙法橋六十九員 生

紹知良開与(第二)

地下家傅 廿九

正總三年十二月廿二日 後應兀年 叙法橋六十二世 生:

重長紹知児

同日 寬延元年七月十一日 元祿十二年八月廿八日 任能登守 忽正六位下五十日

同十二年三月十四日 **神曆十一年二月十六日** 平六十四贯 叙從五位下六十三日

(規非門跡付い)

同日 寬延三年三月十二日 元女元年八月十一日 任近江介 叙從六位下五十六日

同年十月十一日 享和三年七月四日 重威消昌男 死六千人政 新介.

一五二九

弘化四年九月十六日 嘉永四年十二月廿四日 叙法眼世四章

山本 藤原 「〇い本ナシ」

長凞、長通男

同十三年十一月十二日 寬延四年二月十四日 同二年七月一日 實保元年十二月十三日 享保元年十一月九日 **賢曆十二年二月廿六日** 卒四十八日 叙法眼三十六日 叙法橋世七段 叙法印四十七日 得度世六官

長泰長凞男

明和四年六月十三日 實曆二年八月十五日 生 得度

> 安永三年五月五日 同月廿二日 寬政九年九月廿五日 天明七年五月十一日 長重長泰男 卒四十六歲 叙法眼#三世 叙法橋十六世 叙法印三十六章

文政十一年八月二日 文化八年七月十日 享和三年二月廿三日 實政七年二月廿五日 天明元年五月廿四日 同年三月十九日 卒四十八萬 叙法印三十二章 叙法眼世三萬 叙法橋十五世 得度

長和長電男

弘化四年八月廿八日 同十二年九月二十日 同年四月廿六日 文政五年三月廿六日 文化五年正月二日 叙法眼廿二 得度 叙法印四十世 叙法橋十五歲

嘉永七年二月二日 辭位 「一年四月七日 和 一年 「一年四月七日 和 一年

()

鳥居川 藤原 (05*45)

憲良故法印趣榮男

遊游應良男

文化十三年九月廿三日 李六十四四 安化十三年九月廿三日 叙法铜三十六章 安永三年六月廿三日 叙法铜三十六章

遮教趣勝男

同十一年九月十六日 寮政六年二月十五日 寮政六年二月十五日 祭度 安永九年九月六日 生

第永二年月日
 文化四年十一月一日
 叙法即廿八屆
 和法付土屆
 司年四月六日
 和法付土屆
 和法付土屆

憲隆憲数日

件

文政七年

天保十年

叙法橋+六章

同年二月十九日

五二七

地下家傳 廿九

任朝任愛男

同十一年七月十一日 同年四月廿六日 天保七年六月十四日 文政四年三月五日 文化四年 得度 叙法眼廿二 秋法印三十二 叙法橋十五世

> 安永八年二月十八十段二日 明和二年正月廿八日

得度

叙法橋十五世

養正養恕男

天保八年 嘉永元年三月十一日 得度

叙法橋十二章

富小路 橋(〇ジ本ナシ)

任昌法印養昌男

傳在寺家分

享和三年五月十七日 實政七年九月廿三日 天明八年十二月二日 同年三月十九日

卒三十九歲

當家相樣

叙法印三十二日 叙法眼#四世

文化八年九月十六日 實政五年正月十八日 月廿三日 任亮養仙男 得度 叙法橋十九世

天保三年三月三日 文政二年八月十九日 同十二年九月十七日 改稱西坊 叙法印サセ 烈法眼 世三

任節任亮男

養氣故法印養昌男

明和四年五月十日 實曆十年二月七日 同四年三月十二日 车保二十年 電延二年十二月十五日 卒三十二世 得度十五段 生(月日不詳) 叙法眼 甘五世 叙法橋+六四

養忠養昌男

夫明元年十二月十二日 同三年二月五日 明和二年十二月十七日 同五年七月五日 九年正月十五日 于時寺家相續改養出 于時當小路相觀 卒四十大震 叙法印三十七世 (任昌縣) 得度世九日 生(月日不詳) 叙法眼三十二 叙法橋三十世

地下家傳 十九

再富小路家相續改任愛

養仙法印養忠男

文政十二年三月十九日 安永三年八月廿七日 同年八月十九日 明和六年六月廿九日 曹腾五年正月廿一日 天明八年六月廿二日 卒七十五日 叙法印三十四章 叙法眼二十二 叙法橋十五首 得度

養敬法印養仙男

文化八年九月十七日 事和三年九月廿六日 同月十五日 實政十年二月一日 天明四年十一月二日 十五年二月廿九日 養恕法印養敬男 卒三十五章 生 叙法印#人强 叙法眼# 叙法橋十五樓

清水 承仕

友相內舍人右衞門大尉源友際男

安政五年四月廿八日 文化十四年三月十七日 寶曆九年 月 日 死二十四世 生 叙法橋五十九號

瀧口 承化

弘化四年七月九日 文政十三年三月廿四日 文化二年十一月廿六日 生 死四十五数 叙法橋#八世

徳废

嘉永五年十二月十四日 藤井 光景 承仕 生

梶井宮

諸大夫 承仕

侍法師

坊官

林 水 侍

文化七年 月 日 同日 嘉永四年八月廿八日

叙從六位下三十九日

任甲斐介

安政元年十二月十九日

坂堂

享保四年 天明元年六月九日 **预**曆二年四月三日 月日 生 死六十三貫 叙法橋三十四章

宗種宗實男

承仕

山本 惟熙京住醫師閉齋(聞介) 承仕

同六年四月七日 文化二年十二月廿三日 延享三年 月 H 叙法橋大十日 死六十四貫 生

地下家傳 十九

文化四年四月十八日 返上位記 安永九年八月十七日

叙法橋十七世 生

明和元年

月

日

宗重故宗補男

文政十一年 月 8

同六年十一月二十日 嘉永五年三月八日

叙法橋甘五世 辭位

五三

生

良廣

文化十四年正月十八日 文政三年九月十日 寶曆七年二月十六日 死六十四世 生 叙法橋六十一

望月 侍法師

寬里當宮軍代士源輝久男

文政三年正月四日 文化十一年十月十日 寶曆十三年四月廿五日 叙法橋五十二萬 生 死五十八歲

勝見 侍法師

孝友

天保十三年十二月廿二日 叙法橋五十九日 天明四年

山田 源 侍

時亮

同日 同日 同七年六月廿二日 同日 嘉永二年二月廿八日 同日 實政十二年 同五年後二月二十日 同四年十二月廿四日 天保十三年五月三日 死五十六世 任筑後守 解官返上位記 任左兵衞少尉 任西市佑 爲諸大夫(稱号改谷) 叙從六位上五十世 **叙從六位下四十三世** 叙正六位下五十三世

露水六年五月八日 (侍 界)叙從六位下三十六章 文政几年

同日

任元馬少允

大賀 平 後改稱号谷為源氏

宗明

同日 女化四年正月廿一日 實政十一年八月廿四日 元文二年五月十五日 侍叙從六位下六十三章 4: 叙從六位上七十二世 任和泉守

同六年八月廿五日 死七十三世 任右衛門大志

同日

宗信宗明男 十九

> 同日 天保十一年十月廿九日 交政六年十月十八日 天明二年五月廿七日 作叙從六位下四十二日 生 聯官返上位配 任出羽介

同日 同日 踏大夫 改物氏 精号祭叙正六位下五十九典 任美作守

弘化三年五月廿八日 同四年五月十一日 20六十六世 叙從五位下六十五世

平宗之宗信男 稱号大賀

同年八月廿二日 同日 天保十五年六月廿九日 文化三年 生 侍叙從六位下三十九日 任左馬大允

並河 侍法師

五.

同日 (青天 馬) 叙证六位下 #六贯 天保十五年八月六日(侍 墨)叙從六位上三十三貫(中六) 扇五年十二月十九日 総官返上位記 同五年十二月十九日 総官返上位記 (青天 馬) 叙正六位下三十四章

梅嶋藤原

勝直

同十一年三月十日 保守如元 同日十二日 保守如元 深近五位下五十五段 叙述五位下五十五段 叙述五位下五十五段 和正五位下五十五段

勝章勝直男

同年七月二日 同日 同十三年五月十二日 天保七年二月二十日 同月廿一日 文政十二年十二月十日 文化十二年正月廿八十異八日 侍叙從六位下三十二日 天明四年十一月五日 十五年三月十四日 卒六十一段 生 叙正六位下四十六章 辭官返上位記 爲諸大夫 任左馬大允 叙從五位上五十九世(中五) 叙從五位下五十三或(中六)

重任重定男

同目 同日 安永八年九月十九日 同七年五月十日 天保四年十二月廿四日 同十二年六月三日 同月二十日 文政六年九月十五日 文化十一年七月三十日 大夫叙正六位下四 五首 母 叙從六位下三十六日 叙從五位上五十八世 透大和守 叙從五位下五十一世 任播磨守 為諸大夫 任大和介 辭官返上位肥

同九年六月十五日 同日 安永四年三八十一八月 同日 明和五年九月二十日 享保十年七月十三日 作叙從六位下四十四世 十日 智大夫叙正六位下五十二 生 任石京少進

實政五年四月十六日 死六十九日

實政八年正月二十日 源常視「親異」男 富宮軍代士承仕

同十一年五月廿日 文政六年十一月廿六日 叙法稿#入日 死三十三世

弘化二年五月廿五日

一十三年四月十四日

叙正五位下六十四世

生

文政二年

地下家傳 让九

一五一九

天明七年九月二日 本七十七章 (中四) 安永二年正月廿五日 叙法即六十三章 同月十四日 新天教正六位下 同月十四日 新天教正六位下 同月十四日 新天教正六位下 経国五十八章(中四) 報法橋五十八章(中四) の永二年正月廿五日 叙法明五十八章(中四)

信情故法印信養孫

同十四年八月二日

信貫信情男

F

伊丹源

同八年五月十日 生 東京二年七月廿七日 生 東政六年二月 传叙從六位下百十百 東政六年二月 保護等 同日 任飛驒等 同日 保養級正六位下五十五代 同日 保養級正六位下五十五代 に大和等 任大和等 任大和等

堯則堯照男

享和完年五月十四日 返上位記 實政七年四月八日 叙法橋士五 天明元年 月 日 生

売明堯服次男

同十三年正月廿六日 卒三十三章 李和二年二月廿一日 叙法眼世人章 天明五年 月 日 生

隆俊主計頭元直朝臣男

天保二年五月十九日 叙法縣三十九日 安政三年正月十六日 當家相讀 宣政五年八月十九日 生家相讀

地下家傳 廿九

隆秀故隆俊男

安政二年四月廿九日 解位#28 天保三年 月 日 生

隆忠隆秀男

同日 安政二年六月十四日 叙正六位下本 弘化四年 月 日 生

0

武田 源 坊官

信養做信男

管曆十一年十月廿六日 参叙從六位下五十二章正德二年七月十六日 生

五七

売民

堯公堯民男

同六年八月一日 教法眼五十五章 医周十二年一月十二日 母叙從六位下五十二章 同日 任若狹守 日野和元年十二月十三日 解官返上位記傳坊官 同月十五日 解官返上位記傳坊官 日子二月十三日 解官返上位記傳坊官 一個八年八月一日 解官返上位記傳坊官

安永二年三月廿五日 卒六十三章

堯臣堯公男

元文二年五月十一日

安永九年三月四日 同年十月一日 天明五年十月五日 同九年正月九日 明和五年正月廿五日 文化四年十二月八日 **寶曆十四年三月一日** 語大夫叙從六位上(下異)甘八郎 叙法眼四十五数 任右衞門大尉(守如元) 叙正六位下三十二世 任長門守 平七十一次 叙法印四十九世 叙法橋三十六歲 **鮮官返上位記爲坊官**

堯照 堯臣男

實政二年三月廿九日 死世三章 天明二年九月十七日 叙法橋十五郎明和五年七月廿一日 生

爲彥爲辭男

年月日

4

寬永五年三月二日

一十六年六月九日

天保八年

月

日

同日 弘化二年十二月三日 显永四年二月四日

任豐後守 叙正六位下九世

叙從五位下十五日

侍法師 元二條家侍

藤原

隠岐

年月日

實文十年三月廿五日 層一年六月一日

熟說

寬文十一年三月五日 4

年月日

叙法橋

DE.

元酸十五年六月二日

堯知

實永三年九月八日 元祿十五年十二月廿七日 死 4: 叙法稿

年月日

完全

廿九

法橋安[善素]宗

法橋安政 法橋安濃 法眼安秀 法橋安忠

五二五

同十一年九月廿四日 辭官返上位記 同八年正月十八日 辭官返上位記 同日 報正次位下三十章 任加賀守 任加賀守

同月廿五日

爲坊官

文政五年三月十日 叙法限四十一级信任

爲榮爲純男

文政六年正月三十日 死世二國文化十三年十二月廿一日 母叙從六位下十五章文化十三年十二月廿一日 母叙從六位下十五章

爲周爲榮男

同十五年正月廿五日

叙正五位下三十二章

叙從四位下三十七章

嘉永三年三月四日

為靜爲周男

同十五年六月十五日 生文政六年十月五日 生文政六年十月五日 生主税權助(守如元)同十三年正月廿八日 任主税權助(守如元)

實文二年九月十七日

9E

爲信為元男

天和二年九月廿九日 叙法橋

爲益忠元男

生

益俊法印為盆男

同九年三月十四日 死 齊曆二年三月十七日 传统解叙法橋 4+大夏元禄十(一夏)年正月十五日 生

地下家傳 廿九

徐卿 孫俊里

同九年四月五日 医在常医介属几年四月五日 医红常医介属四年五月四日 医任常医介 医任常医介

為雄益期男

為善爲維男

同日 字和二年十二月十九日 件叙從六位下#1m 天明二年十二月十四日 生

五三

享保三年後十月五日 元文元年九月五日 同十六年十一月廿三日 同年六月六日 九年五月九日 叙法橋五十四以 卒七十二篇 叙法印六十七世 叙法眼六十世 改名靖共

共喬當宮電代士平共衛男

天明五年五月十八日 明和七年十二月十九日 享保十七年八月九日 生 叙法橋三十九縣 死五十四数

請[講罪]榮共裔孫共中男

同月十日 文政六年八月九日 女化十一年二月五日 八年四月十一日 母 叙從六位下三十八章 爲坊官 踩官返上位記 任越前介

同月廿八日 同月十二日

叙法橋四十七日

得度法名号共裕

同十三年九月四日 同十二年三月十三日 同十一年二月廿四日 天保二年三月廿八日 清[婧*]全清,請美買男 **卒六十六**黄 叙法印六十四章 政名清〇請集)寬 叙法眼五十五世

同日 同二年月 安政元年十二月十五日 日 叙從六位下五十九日 任越前介

進藤 (藤原氏異) 侍法師

爲元譽原忠次男

生

鳥居小路 坊官

西暦九年二月一日 元文三年八月廿七日 平大十五贯 叙法印 日十四

經責經維男

享保十五年七月八日 延享元年十月十九日 政曆二年三月八日 死廿三殿 4 叙法橋十五四

經隆經貿男

天明元年十月廿六日 文化十五年正月四日 明和七年十月廿四日 寬延三年四月十九日 曆十四年正月十三日 平六十九贯 生 叙法橋十五日 叙法印三十二章 叙法眼#一

廿九

經親經歷男

實政二年八月廿四日 天明六年六月三日 明和九年九月廿五日 叙法橋十五章 4: 本家相關

經重與安男

同六年八月十九日 同四年後二月廿六日 寬政二年八月十四日 安永六年五月廿七日 返上位配 叙法橋十六貫 當家相續

靖共

並河 事

侍法師

生

五二

天明三年四月十三日 經宏經州次里 死五十一世

寶曆三年 月 日 天明二年二月七日 寬政六年八月五日 返上位記 叙法橋三十世

經重經宏男

同六年八月十九日 寬政四年後二月廿六日 返上位記 叙法橋

經親經歷男

文政三年七月十日 文化四年十一月廿一日 同五年十二月十九日 寬政二年八月廿四日 死四十九世 返上位祀 叙法眼#二 當家相權

經茂經隆次男

同十年五月三日 文政二年三月十三日 文化九年 三月廿三日 寬政六年十一月十七日 生 卒三十四世 叙法眼#六日 叙法橋十九歲

經範維茂男

弘化四年五月十六日 天保七年二月十一日 文政十一年四月五日 文化五年三月三十日 叙法眼井九霞 叙法橋井一員 叙法印西十章

弘化五年正月廿七日 天保十二年十二月廿二日 叙法橋十四章 文政十一年 叙法眼*一篇

質文八年七月一日 同十六年二月十二日 同九年二月二日 寬水五年三月二日 本七十一世 叙法印日十二章 叙法橋三十四 叙法眼三十四貫

經房經濟男

正德三年九月十二日 延續八年十二月廿三日 同十一年二月五日 寬文三年十二月十四日 卒七十七日 叙法印西十四百 殺法眼三十五日 叙法橋井七貫

經與經房別

4:

寶永元年十月廿五日 元祿十二年十二月十八日 叙法眼世五世 叙法橋二十四

地下家傳 十九

同四年六月十一日

卒廿八世

正總四年二月廿四日 費永七年三月九日 叙法眼世七日 叙法橋世三世

同年 享保十二年八月三十日 質曆十三年九月七日 本七十六日 叙法印四十章(于時經寅) 改名經鄉(卿馬)

經州和寅男

鬥層十二年後四月廿四日 元文三年二月九日 享保十七年後五月四日 正德五年 月 B 叙法眼#四 叙法橋十八章 卒四十八世

經言經州男

實曆七年二月十四日 月日 41: 烈法橋十五貫

一五〇九

寬正二年三月四日 文明四年三月二十日 叙法印

經柔輕堯男

同四年十一月十五日

元和六年九月十五日

平七十六数

叙法印五十一世 叙法橋四十九日

女融二年

永正元年七月十二日 文明九年八月廿七日 **平六十六世** 叙法印五十四

經厚經柔男

天文十三年四月十六日 卒六十六章 大永五年十二月三十日 叙法印五十章

經乘經厚男

叙法印三十八世

天文十七年

同十八年十月廿七日

道空經乘二男

慶長十八年八月十二日 叙法印

經秀經孝男

生

叙法橋三十二世

叙法眼三十八世

同十五年正月十二日 慶長九年五月二日

承應三年正月十七日

平八十二以

一五〇八

應永七年二月十七日

平九十三年

經學經站男

經聰印站男

原安四年八月三日 生 文和二年八月廿一日

叙法印

地下家傳 廿九

印站網站男

生

叙法印

源永三十四年六月十二日 卒 經現經守男

生

同六年三月四日 永享五年

叙法眼

一五〇七

應永九年 正應年 永總元年八月

叙法橋 叙法眼

叙法印

經守經藥男

生

叙法眼

業延業重男

文化八年六月十五日 安永四年正月廿四日 同八年二月十日 夏政元年二月廿二日 叙法橋十五世 叙法印三十七章 叙法眼#二章

天保六年二月八日 業孝業延男 卒六十一散

同十三年二月廿八日 文政六年三月二日 文化七年二月十六日 天保十年十月三十日 生 叙法印三十世(中八) 叙法橋十四世 叙法眼#一

不可爲後例 年齡未藏雖不容易歎願之趣難被默止之間被宥叙堅

業信業孝男

天保元年十月二十日 嘉永三年三月十一日 同十四年十月七日 生 叙法眼廿二 叙法橋十四家

鳥居小路

坊官

天武天皇々子高市親王十九世孫正二位大藏卿高階邦經

經祐

正應三年十月

經寬經前男

叙法眼

正中二年九月八日

泰業泰周男

享保四年三月二日 叙法即六十九章 正德四年二月廿四日 叙法眼六十章 覆水七年三月九日 叙法橋久十章

業知泰業男

同七年五月十九日

卒七十二日

同十五年八月八日 卒五十五歳 章保四年十二月十二日 叙法职事士以 叙法职事士以 张扬三年十二月十二日 叙法职事士以正德三年十二月十三日 叙法杨三十人员

業廣業知男

地下家傳

十九九

泰亨業廣男

業重泰亨男

一五〇五

永正十五年五月五日 卒

泰賢泰誤男

天文七年 同十二年十二月廿六日 卒

文祿三年三月五日 天正十九年正月 叙法印

泰增泰虾男

叙法印

文禄四年十月廿六日

生

生

寬文二年九月六日 同八年四月九日 寬水元年

李七十六段

叙法印四十四段 叙法眼三十七萬

泰祐泰田男

同八年三月廿三日

本五十一日

叙法眼四十五 叙法橋三十一世

延寶二年十二月廿七日 萬治三年八月廿七日

泰翁泰勒为

同九年 元祿七年 貞享四年三月十五日 延續八年十二月廿三日 叙法眼三十二 叙法橋#三章 改名泰翁 改名悉宣

泰周泰翁男

同十年十月十七日

一五〇四

叙法眼

右叙日年月不詳

叙法眼

泰忍泰村男

同三十四年八月十七日 叙法眼 應永廿六年十二月廿九日 叙法橋

泰本泰忍男

大永七年八月七日

地下家師 廿九

正長元年十一月

泰溫泰維男

医尼泰村四男

泰謀泰溫男

延總三年二月廿八日

叙法印

五〇三

大谷 坊官

平城天皇皇子四品舜正尹阿保親王五男中將在原業平十世孫 皇太后宮大進泰貞男 泰宗

泰胤泰宗男

叙法印

泰舜泰胤男

泰顯家任男 叙法具

卒 叙生

泰任泰島男

泰堅泰願男

生

一五〇二

青蓮院宮

梶井宫

妙法院宫 曼殊院宫

毘沙門堂門跡

(坊官 諸大夫 侍法師 侍 承仕事)

青蓮院宮「ロい本はくな様する」

坊官諸大夫侍 承仕家傳

侍法師

地下家傳 廿九

地下家傳

廿九(三十年)

一元〇二

嘉永六年八月十六日一年十二月十九日一年載前介任越前介任成前介任成前介

旧日 天保元年 寫永五年十二月十九日

叙從六位下#三日 生 任陵河介

片岡 源

安永元年二月八日 文政十二年九月二十日 特 叙從六位下五十八章 生 任備後介

善倫善政男

死五十九世

生

天保十一年二月廿四日 叙從六位下日十三世 實政十年

地下家傳 廿八

同日 天保二年十二月一日 同十二年二月四日

實政四年三月十七日 (件 異)叙從六位下日十月 生

惟章時惡男

死六十六世 叙從六位上五十日 任攝津介

安政四年六月三日

吉清重則男 源

辻

一四九九

同日

0

柏村

源

任備前介

安政元年十一月七日 李安政元年十一月七日 名法阿里士曾文政【化》三元年十二月十八日 叙法眼世三贯成此年二月十一日 叙法略士五章

伯豐澄伯男

或化二年二月十八日 叙法院士章 文政六年八月廿八日 年

C

入谷 諸大夫(姓源で)

武善[兼松い]兼武男

安永五年三月廿三日 侍叙從六位下六十四章正德三年十一月五日 生

同八年十二月十九日 任飛輝守 (同八年十二月十九日 住飛輝守 (同八年十一月11十六日 改武松い) (同十二月 日 改武巻い) 大明六年八月八日 離天叙正六位下4十四 (日 (1 年) 1 年) 1 年 (1 年) 1 年) 1 年 (1 年) 1 年 (1 年) 1 年) 1 年 (1 年) 1 年 (1 年) 1 年

長勇武善男

同日 同九年十月廿一日 文政四年八月二日 同日 同日 同十一年五月廿五日 文化三年四月廿八日 **宣曆二年九月十二日** 能大夫叙正六位下六十三萬 侍叙從六位下五十五章 本七十五員 任近江介 生 任因解守 辦官返上位記 叙從五位下七十四

塞水六年三月廿五日 叙從五位下三十二章 同日

0

藏井坊 氏北河原 姓源 (〇)本十七)

敬豐醬師法眼敬言男

實保三年五月十七日 李去十七章 家伙七年正月二十日 银法嗣次十二章 制力 机法副次十二章 制力 计算额顺立 电子光度 医大生四月十五日 发法职次十二章 和文化年正月二十日 生

伯敬敬豐男.

享保十九年四月八日 叙法橋三十四章 元禄十五年五月十六日 生

地下家傳 十八

第一年四月十八日 叙法即五十三章 安永四年三月廿五日 卒→+□章 白故事

伯良伯敬男

文化五年十二月五日 卒大十三世 双法限单五章 物和八年五月六日 叙法限单五章 叙法限单五章 被基四年十月五日 全大十二章 经基四年十月五日 生

伯秀伯良男

文政五年四月廿九日 卒五十二章 家政六年二月十二日 叙法嗣司十章 叙法嗣司十章 叙法嗣司十章

澄伯伯秀男

一四九七

明和三年三月廿一日 卒八十四章

長員長宥八看馬丁男

長釋長員男

實政元年正月十六日 卒門十二章 實政元年正月十九日 叙法职世章 實曆十三年十二月廿四日 叙法职世章 實歷二年十二月廿四日 叙法稿十五章

安永元年十月十六日

長幸長牌男

文政三年十月十四日 卒日十九屆 實政六年閏十一月三十日 叙法限申三員 實政六年閏十一月三十日 叙法限申三員

澄宥[看異]長幸男

天保 文化元年正月九日 叙法隅士: 文化元年正月九日 叙法隅士: 黄

長敬澄宵八看事」男

同十五年三月十七日 辭任 叙法橋十五 文政八年

長經澄宵(看異)另

弘化三年十二月五日 #大夫叙正六位下十月||女政六年 生

定民定昇男

敬村

文化二年十月廿八日 叙法橋士五章寛政三年十一月十八日 生

地下家傳 廿八

文政九年三月十五日 叙法即三十大章 同十年三月四日 叙法眼⁴三章

親定澄昇男

同十五年三月廿四日 叙法眼***(中七)天保七年十二月十九日 叙法精***(中七)文政三年二月六日 生

0

岸之坊 氏三好 姓源 (05****

一四九五

圣保六年六月十八日

叙法眼三十九世

山本 賀茂

保蔵

坊官 諸大夫 侍 家傳

東林 義尊御門主御家人 柴田左近狼勝男

正德元年八月八日 卒七十八章 無位"而坊官 無位"而坊官 無位"而坊官

英村兼林男

定昇英村男

實保三年六月四日 叙法精*****正德五年三月十五日 生

同年九月十四日

返上位配

同日 實所元年 天明四年四月十五日 月 H 叙從六位下三十四世 生《不分明』)

同五年九月十五日 (于时传》)任兵庫少允 任石見守

同六年十二月一日 辭官返上位記

古市 清原

生

同日 天保三年後十一月廿一日 传叙從六位下世二日 文化八年 任安房介

同十三年三月四日 一緒官

在胤

地下家傳 計八

古守

藤原

正富

克政八年 文化二十(CMII)

天保三年十二月十九日 生

嘉永元年七月廿五日 # 叙從六位下廿八四 死四十四世 任越後介

同日

高範正當男

嘉永二年三月廿二日 日 生 任伊豫介 叙從六位下二十四

同日

天保元年

月

一四九六

恒貞恒曹朝臣男

同日 同日 同日 (電大 8) 叙正六位下 (電大 8) 叙正六位下 任伊劉介 任伊劉介 任伊劉介

0

柊 藤原氏

清昌

實層十二年正月廿八日 侍叙從六位下六十三章 定縣十四〇三・3年(五・3月八十八・3日 生《不分明・》

0

藤木 智茂氏

直通

安永七年五月一日 同日 同八年五月廿二日 同日 明和七年正月廿二日 享保二十年 同十年四月十八日 月 B **新大夫叙正六位下三十七世** 传 叙從六位下三十六章 **本四十七貫** 生《不分明』》 任不工大允 叙從五位下四十四屆 任但馬守

同八年正月廿二日 率4+8

恒幸恒輕八親一弟

同日 同八年三月十八日 天明五年八月廿三日 同三年五月五日 同年十二月廿六日 同二年六月十五日 安永元年十二月十九日 **押**曆二年十月二日 九年十一月廿七日 箭大夫叙正六位下世二員 任不工少允 辭官返上位肥 任左兵衞大尉(守如元) 任薩摩守 作叙從六位下世二章 潛甲斐守 叙從五位下#九貫 通大和守

恒道恒親男

地下家傳 廿八

同年十二月十九日 異義級正大位下 同年十二月十九日 製徒五位上四十回 教徒五位上四十回 教徒五位上四十回 教徒五位上四十回 教徒五位上四十回 教徒五位上四十回 教徒五位上四十回

恒曹恒道男

同日 弘化三年九月十三日 同九年正月廿一日 天保二年九月廿一 同八年十月廿八日 同年十月廿六日 同日 文政二年七月廿六日 文化五年十一月廿九日 三 美教正六位下 B 特叙從六位下十二章 叙從四位下三十九世 叙正五位下三十二世 任陸奥守 辭官返上位配 叙從五位下+人 任阿波介 叙從五位上#20

一四九一

凞範實法印禪C掉異J泰男

同九年九月十四日

布什人民

故範無 寶三寶院御門跡(御內書)

天保三年十一月九日 谷三十章 女化十年三月十二日 得度 女政十年間六月十四日 得度

範 英敬範男 實仁和寺宮坊官之築地

塞永で、事) 改範定 改能定 で (本) で

中西 藤原氏

恒親家司恒高四代可恒男

明和三年九月二十日 同日 同五年二月三日 (同日じ) 同年五月十六日 同日 享保十七年十二月五日 世曆十一年三月十五日传 费大夫叙正六位下 4: (群官返上位記し) 任左衞門大尉(守如元) 任長門守 任彈正少忠 **叙從六位下三十世** 秋從五位下三十七世

同八年十二月十二日 辟任

敬胤胤昌男

需水三年十月三十日 叙法即五十1章 文政八年十二月十九日 叙法概≠六章 文政八年十二月十九日 叙法概≠六章

胤昭敬胤男

寫水二年二月十四日叙法限→五員文政八年政政八年政政八年政政人年政政人年政政人年

遙胤

生

地下家碑 十八

安政三年十月十七日 叙法精生三

0

古守 (03本大心

水範節後出

寬延元年開十月十一日 叙法標4×8 延享四年三月十日 和法限三十四 延享四年三月十日 和法限三十四 1000年 100

範章永顧

安永六年四月四日 卒三十四 銀法職十七回 知法职事所

範貞範章男

四八九

週滿院宮

家傳

西坊 (公本十分)

寶曆六年五月二十日 叙法即四十五年大月廿六日 叙法限三十章 阿十五年大月廿六日 叙法限三十章 家保充年月 日 誕生

同十一年十月九日 卒五十二 率五十二 率

第一七年 月 3 班 第一七年 月 3 班 第一

南十年十二月廿二日 **卒** 中九縣 李保十七年 月 日 **凝生**

胤昌胤良男

文化三年三月十二日 誕生覧胤胤昌男

同七年六月十九日 叙法橋十章

同日 安永三年三月十二日 同日 明和五年八月二日 正德五年四月十 -日 留大夫叙正六位下六十章 叙從六位下 #十四日 生 任伊豆守 任石兵傷少尉

天明三年二月五日 同九年十一月廿七日

平六十九日

叙從五位下六十六日

高橋 源氏

季般 [鐵辜] 高橋故修理源勝守男

實保三年二月五日 一年十一月廿四日 **卷叙從六位下四十章** 任大和介

天明 同日

二年九月十五日 据大头叙正 六位下四十八日

任大和守

同五年三月一日 十二年六月二十日

平五十八四 叙徒五位下五十四日

李紹季般做到万

實政五年 日日 嘉永元年四月四日 11

件叙述六位下五十六日 任大和介

回二年七月廿七日

化五十七世

阳間 源氏 传

方副 陌間故良員男 方副 陌間故良員男 甚十郎 海力宗男 善祖 平野鄉士 土橋故

文化元年十月十八日 任近江介 叙從六位下六十四世

同日

寬保元年三月十五日

牛

四八七

四八六

享保九年二月十七日 同四年八月十一日 延享二年二月三十日 死世四世 生 叙法橋世二世

法印立叙法橋快編男

安永二年二月廿二日 寬保元年四月廿七日 夏政三年十月十九日 和二年正月廿七日 層六年二月五日 卒五十一贯 生 叙法印三十三世 叙法眼中五世 叙法橋+六

少光 法印玄叙男

明和八年十一月十五日 文化元年三月一日 寬政八年十二月廿四日 叙法橋世六日 叙法眼三十四

立惧玄光男

文化十年七月十一日 寬政十一年三月四日 天保七年十二月十九日 文政四年五月十日 4: 叙法印世人改 叙法眼三十三 叙法橋十五世

玄規 玄帽男

同十二年十二月六日 天保四年八月十日 文政二年七月四日 嘉永四年十二月四日 叙法橋十五員 叙法印三十三 叙法眼#三

田田 源氏

正曉山田故右近源正長男派養重女

法印珍任法印度於男

法印慶村珍任男

寬文九年

層四年八月十七日

叙法眼四十三日

天明五年正月七日 卒七十五章

法橋慶珉慶村男

文化六年十月四日 卒六十員 電延三年 生

地下家傅 廿八

法印慶和慶珉男

慶勇慶和男

k (

法橋快繼法印玄知男

一四八五

亮實

同日 弘化二年三月廿二日 大明二年

任豐後介 叙從六位下六十四章 生

同日

嘉永四年二月四日 享和二年

叙從六位下五十 任丹波介

橋氏 侍

玉木

正騰

安政三年十二月一日 任河內介

叙從六位上

源氏 停

让

0

生

寬政六年 嘉永元年十月九日

叙從六位下五十五日

同日

昭高院宮

坊官諸大夫

CCい本此言案ナシ 侍 家傳

四八四

重較

同日 同十一年七月廿一日 天保三年十月廿九日 任筑前介

縣永五年四月廿八日 死七十二世 叙正六位下六十世 叙從六位上五十二百

0

世古國權 侍

延享四年九月二日 雷世古故清大夫國標盤寬男

同十二年八月十二日 文化九年七月十七日 死六十九世 任大和介 叙從六位下六十六世

守中雷男

安政四年八月十日 叙從六位下六十世 生

地下家傳 廿八

同日

0

任大和介

木瀬 源氏 侍

寶曆十二年四月廿五日 愛則社館後計画山本志鄉守會直女館等州洋息比村館田久太左衛門縣原衛河山本志鄉守會直女問道男 4:

同十年正月四日 **文政六年十一月廿八日** 同日 文化十二年八月十一日 叙從六位下五十四世 死六十六以 叙從六位上六十二日 任陂河介

木田 源氏 侍

一個八三

森山 源氏 侍

愛義森山故三郎左儒門源陳武男

文政五年正月十八日 好人生員 文政五年正月十二日 解介落餝 在丹後介 任丹後介 任丹後介 日 日 年 一月廿二日 生

伊地知 藤原氏 侍

利恭 伊地知故主鈴藤原久甫男

同日 任出羽介 文化六年三月四日 叙從六位下酉+人覧 寶曆十二年三月十七日 生

天保九年六月廿四日 死七十七章 农政八年十二月十九日 叙近六位下六十四章 同十四年十二月二日

0

宇佐美 藤原氏 侍

重字 口統美故左衞門藤原軍養男 延享 二年十二月五日 生

政

內部四月五日 4:

同日 年九月十五〇三い日 任伊賀守 叙從六位下六十二章

+

四年五月十四日 死六十四世

政短故伊賀守須政等男

天明元年

同日 文政十二年十一月廿七日 生: 任相模介 叙從六位下四十九世

山本 源氏 侍

實(故一)伊賀守源政學男宗恒醫師山本故法橋一養女

完政三年七月九日

死七十三世 叙正六位下五十八世

十二年十二月廿二日

廿八

寶曆十年九月十六日

生

文政 亨和 同六年正月廿三日 同三年十月 同八年五月十日 文化四年六月 三年七月廿一日 九年正月廿二日 九月廿三日 日 日 死六十四段 任左兵衞大尉 任雅樂少允 任上總介 叙從六位 叙正六位下五十二日 選長門守 叙從六位 上四十四世 下三十六世

同年十月廿八日 同日 文政 天保四年九月十八日 天明四年八月廿六日 八年二月廿五日 宗明宗恒男 叙從六位上五十萬 任右兵衛少 任攝津介 叙從六位下四十二世 臨門女 制

174 1

同十一年二月三日 解官返上位記 任備後介 信日 任務後六位下 大家 任美濃守

長博長就男

> 安政四年三月十一日 叙证五位下三十8 强永四年三月四日 叙從五位下三十8

0

松尾 秦氏 侍

相孝母松尾扯前神主正三位秦相道女相。

享和三年三月十五日 死五十九貫 寛政四年二月廿二十つ二十日 叙從六位下四十八貫政四年二月廿二十つ二十 紀本二年六月六日 生

0

富井 源氏 侍

長秀橋治武庫都西宮郷上當舎故班五郎佐々本傷号碑取立の選督十一〇二・2年以佐々本傷号碑取立の選手十二〇二・2年以

元文五年九月廿六日 **西唐十二年六月廿九日 丹叙從六位下一三世**

任采女佑

明和二年十一月十二十二九日華美叙正六位下世五章 任师後守。蘇采女佑い)

安永六年十二月十九日 天明四年正月十五日 叙止五位下四十四萬 叙從五位上三十七世

八年十二月十八日

叙從五位下 十二章

同年十一月廿四日 任石京亮(守如元) 級從四位下五十段

同日

任備前守

同六年正月廿八日 寬政二年五月一日 年七月三日 空五十四以 任主税間《辭右京亮・)守如元)

長憲長秀男 母注州三上住人

寬政三年九月廿五日 安水三年十二月六日 地下家师 廿八 件叙從六位上十七数

> 同日 同日 文化十三年六月五日 同四年六月十三日 十年十二月十九日 第六类叙此六位下十八章 平四十二世 叙從五位下# 任信慶介 任信遵守

長椒長憲男

同日 同年八月廿七日 享和元年三月三十日 传叙從六位下十五 天明七年正月十九日 情失我叙正六位下 任媚前介

寬政九年三月三日 文化四年十二月廿五日 文化九年二月廿一日 件叙從六位下十六世 長就故長淑男 死世一世 法眼玄光男

同十年二月七日 同日 幣次夫叙正六位下十七章 任石見介

四七九

同日 天保五年九月十九日 文政三年二月十四日 同十四年十月廿七日 同八年後一月十九日 女化二年六月十一日 同十一年正月廿七日 同六年八月廿八日 九年十月十六日 十年十月廿五日 重義親通男母青蓮院宮坊官 林六天 叙正六位下世二 传叙從六位下十一 华五十七 " 任讚岐介 源 任修理亮(守如元) 叙從五位下#八京 叙從四位下四十六萬 任織部正(守如元) 叙正五位下四十章 叙從五位上三十四章

> 天保五年七月十日 本廿九炭

同日 同年十二月十八日 嘉永五年二月十一日 弘化三年五月廿八日 同十一年六月五日 天保五年十二月廿二日 文政十一年九月十五日 侍叙從六位下士六章 文化十年十一月七日 安政五年五月十一日 佛大人叙正六位下 叙從四位下 日十二日 任日向介 叙從四位上四十七日 叙正五位下三十五日 叙從五位上廿八世 叙從五位下北三萬 任日向守

佐々木 源氏(諸大夫じ) 文化三年

同年十二月廿八日 文政四年正月二十日 野大夫叙正六位下 侍叙從六位下十六日 任因幡介

八嶋 侍法師 「〇い本ナシ」

實常正六位下故志雕守里經男

寬保元年五月廿五日 理暦七年四月十七日 叙法橋十八世

同八年八月十六日 明和二年十一月十六日 腰木(原料) 明和二年十一月依 叙法限三十二世 叙法橋世六贯 代坊官被取立辭法橋位 稱号改

廿八

女化八年四月三日 安永十年九月十四日

中七十二世 叙法印四十二日

藤木 胸原 (諸大夫じ)

重矩法印宜常男 前案形後守中臣継成女 前案形後守中臣継成女

明和元年十月八日 生

安永九年五月十二日 申 叙從六位下十七日 任伊勢介

同日 同年十月廿二日 费夫叙正六位下

任伊勢守

同日

日

同六年二月六日 寬政三年十月廿六日 同六年九月廿八日 天明五年三月十一 任右京亮(辟左兵衞少尉・)守如元) 叙從五位上世八章(于時軍明) 任左兵衛少尉(守如元)二十三十 叙從五位下世典(中四)

同十年七月三日 同九年十月三十日 叙正五位下三十日間(于時軍影に彰い」) 平三十五数

安永七年正月廿九日 親道重影公影也別 生

一四七七

同十四年七月廿四日 卒四十日

源乙法印源寧男

天保三年八月廿八日 女政八年二月十一日 寬政十一年十一月十八日 文化十四年十二月十七日 叙法眼廿八萬 叙法印三十五篇 叙法橋二十日 生

源築法印源乙男

天保四年 弘化四年 叙法橋十五日 生

安政二年六月十四日

叙法眼世三

小野澤 「〇い本ナシ」

> 文政五年十一月十七日 文化二年五月十七日 同九年二月十日 寬政元年十二月十九日 明和二年二月五日 卒五十八世 叙法印四十一世 叙法眼三十三萬 叙法橋廿五歲

譽恭法印譽龍男

天保十二年十二月廿二日 同九年十月廿八日 文政元年十二月廿八日 享和四年正月九日 叙洪橋十五世 叙法眼#三 叙法印三十八章

譽靖法印譽恭男

生

嘉永

元年十二月十九日 天保五年 叙法橋十五曲

耐文法印譽長昌也男

第永五年十一月廿九日 举大士章 文政六年正月十二日 叙法眼章士章 文政六年正月十二日 叙法眼章士章 文化十二年六月廿四日 叙法眼章士章 文化十二年六月廿四日 叙法眼章士章

學豪法印帖文男

弘化三年十月五日 叙法职士 双次印三十八 双次将工年十二月十二日 叙法职士 英文化十四年七月廿一日 生

C

雜務 稱号 今大路 〇二本十七

法眼源曉法權源英男

地下家傳 廿八

源甫法橋源明男

源寅法眼順曉男

源鄉法印源寅男

一四七五

天保二年十二月十四日 嘉永二年十一月六日 女政五年十二月廿一日 叙法門三十二章 卒五十章 叙法眼+三世

源良法印源秀男

嘉永三年十一月廿九日 同十三年十二月廿二日 天保五年九月廿五日 文政三年三月廿七日 往 叙法印三十二章(中七) 叙法眼廿三章 叙法橋十五次

岩坊 稱号 小野澤 (0.本十七)

文化十二年二月十八日

卒五十七萬

春昌法印春長男

寬延四年八月二日 法印譽旬法印勒勝男 卒五十一世

譽香法印 譽旬男

天明六年二月三日 安永二年十二月十九日 期和五年六月廿六日 同十年三月廿九日 同七年正月廿五日 實曆儿年後七月廿九日 文化三年九月廿一日 寶曆一年三月十七日 享保十八年三月五日 譽長法印譽香男 叙法眼二十章 叙法印サ八日 叙法橋十五萬 叙法印三十六段 中七十四世 叙法眼世八段 叙法稿二十世

同十二八三男」年四月十日 卒三十萬 同十一年二月二十日 文化三年正月十八日 寬政十二年後四月廿八日 叙法稿十五萬 天明六年七月二十日 生生 叙法眼#一 叙法印#九波

今大路 (0) 本地等十七

魚名公十四代康長男法印源基十六代孫 別家祖法印源首雅務法橋源明男

依之改雜移 右原南元為雜務時到衛位前獨於正被享保八年有故警居城市 稱今大路師法印寬延三年七月以雜務原體卒男幼爲後見 元文二年再勤于時於雖務者法橋源曉相續依之被命別家

政曆十年正月廿五日 此時於別家者源甫男法橋源泰相續 卒七十八世

自源甫再劃別家連綿 源於法印源前男

向十三年二月十**一**日 寬延二年四月一日 享保十四年七月十八日 質曆七年二月十四日 叙法眼世九章 叙法印三十五百 叙法橋世一世

地下家傳 小八

> 天明六年九月廿三日 源永法印源泰男

卒五十人員

齊層四年十二月六日

文化十一年九月十四日 天明四年後正月一日 安永五年五月廿七日 明和五年十二月十九日 卒六十一章 叙法印三十二 叙法眼世三 叙法棉十五篇

源定法印源永男

天保九年二月十九日 同十四年正月廿七日 文化六年二月十日 享和元年七月二十日 天明五年六月廿五日 **卒五十四** 叙法印三十三 叙法眼中五 叙法稿十七日 生

源秀法印源定男

文化十一年九月十三日 二年十月廿二日 叙法橋十五世

一四七三

聖護院宮

照高院門跡 圓滿院宮

實相院門跡

(坊官 諸大夫 侍事)

聖護院宮

坊官諸大夫侍家傳

地下家傳 二十八[廿九]

|四七||

中中

綏長

寛政六年 月 日

二月六日 叙從六位下四十人

月三日 叙從六位下三十二章

文化十二年

励日 弘化二年八月三日

任河內介

地下家傳

同八年十二月十八日

文政七年七月一日 文化十年 月 H 叙從六位下十二日

同日 同日 同十年後六月十日 任左兵衛大尉 任加賀守 加賀守如元

天保八年十一月十五日 任修理大進(守如元) 叙從六位上世五世

文政元年 日 生

天保八年五月廿二日 任伊勢守 叙從六位下ニナ豆

器水元年八月廿八日 同日 同十二年三月三十日 叙從六位上三十一世 任勘ヶ由判官(守如元)

文政十年

同日 天保十五年十一月十五日 叙從六位下十八日 任信濃守

弘化二年正月廿八日 解官返上位記

積善時善男

同日 弘化三年五月山八日 文政二年 月 日 任甲斐守 叙從六位下#八世

天保七年 嘉永六年三月廿五日 生 叙從五位下十八日

任參河守

同日 安政四年五月十一日 叙從六位下十三章 4: 任隱岐守

中山家

諸大夫侍家傳

大口 藤原

同日 同八年八月七日 寬政六年後十一月三十日 叙從六位上四十一〇中七〉 天明六年十一月廿二八三七日 叙從六位下三十三日 辭官返上位記(因所勞じ) 任加賀守

嗣善再善男

同日 同日 同日 文政四年正月二十日 同十二年八月廿一日 同十年三月四日 同七年十二月廿一日 文化二年二月十五日 寬政九年三月十九日 叙從五位下三十五四(中七) 叙從六位上十九貫 任但馬守 叙從六位下十一章 任左京大進 但馬守如元 任勘ヶ由判官 叙正六位下世七日 但馬守如舊

地下家邸 廿七

一四六九

正親町三條家 諸大夫家傳

同日 嘉永二年七月八日 弘化五年正月十一日 同日 安政四年正月十一日 同月廿三日 同十三年正月廿二日 同十一年正月廿二日 叙從五位下三十六八中八 辭兩官 任左兵衞大尉 任筑前守 叙正六位下世人以 筑则守如元 叙從六位上二十世(中八)

> 加田 藤原

範胤三條家諸大夫

同日 同十三年三月十六日 天保六年正月十四日 同十年正月廿一日 文政二年六月十三日 嘉永三年十二月十九日 天明五年十一月廿五日 生 叙佐六位下五十八章(中大)叙正六位下五十二章 任周防守 叙從六位下三十五世 叙從六位上四十四章 **叙從六位上六十六章**

範貞觀胤男

生

安政二年十一月十日 叙從六位下廿二世 任石見守

解官返上位記

同三年三月五日

安水六年上二月十五日 同八年上二月十八日 死三十九漢 似從六位上#九日 任伊豆守

豊尙所做り安倍信遵守季神女

天明四年十二月十九日 明和六年正月一日 # 叙從六位下上六世 任對馬守 4

同日 **向五年四月** 十六日 第大夫叙從六位下十七日 任日向守

回日

同八年正月廿七日 文化五年四月五日 寬政四年十二月十九日 同十二年十月廿四日 卒日十三世 叙從五位下四十世(中七) 叙從六位上#四萬(中七) 叙正六位下三十二世(中七)

季就豐尚男

同日 文化十年六月四日 天明三年九月十八日 侍叙從六位下三十一世 任備前守(介共工)

地下家事 十七

> 同年十一月二日 開大夫 叙從六位下三十一日 辭官返上位肥

叙從六位上四十萬(中八 任筑龍守

同日

同日 文政五年十月五日

同日 同十年正月廿一日

肥後守如元 任勘解由判官 遷肥後守

天保元年十二月十九日 辭兩官 叙正六位下四十八八中七)

同四年七月十九日

同十四年二月二十日 同十三年六月十四日

任日向守

寫永二年七月八日 辭官返上位記 叙從五位下六十二章(中十二)

季與季就男

天保二年正月十七日 文政四年正月十二日 件叙從六位下十一世

任石見守 辭官返上位肥

同日

同年十月廿一日 等大 叙從六位下

同日

一四六七

三條西家

諸大夫侍家傳

河村 藤(原3)

季理父季糰

同十七年五月二日 死七十七萬

季尚季理男

同八年正月十一日 同十六年九月七日 寬延元年十二月廿六日 元文五年十月七日 享保十一年十二月廿四日 寶曆六(年七)十月二十日 元融六年四月三日 十七年十二月廿七日 车六十六歲 **叙從五位上五十六首** 叙正六位下四十萬 任佐渡守 叙從五位下四十八世 任能登守 叙正五位下六十四世 叙從六位上三十四

當[常い] 尚季尚男

同日 ・ 管響十三年五月十七日 #叙從六位下廿二章 寛保三年九月十日 生

明和元年十月廿二日

叙從六位下#二篇

文化十三年九月四日 一 叙從六位上五十二章 寛政八年六(八・)月十九日 叙從六位下五十二章 寛政八年六(八・)月十九日 叙從六位下五十二章 明和三年七月五日 生

-

落餝

文政七年十二月十九日

天保九年四月廿五日

辭官返上位記 任左馬少允

同日

侍 荒木 藤原

正脩

同日 寛政九年九月十九C五 J日 叙從六位下六十四8 享保十九年九月十九日 生

地下家傳 廿七

享和元年八月七日

死六十八数

正種正脩男

高永三年十二月十九日 叙從六位下四十三屆 天保十三年十二月十二日 叙從六位下四十三屆 天保十三年十二月十二日 叙從六位下四十三屆 基本元年

正美正體男

四六五

正堪

同日 安永七年十月五日 叙從六位下四十日 享保二十年 月 日 生

間日 電政六年四月六日 叙正六位下六十章 天明六年十二月十九日 叙正六位下六十章

門 七日 死

正久正堪男

同日 任近江介 安化八年十二月廿一日 敏從六位下三十五章安永六年 月 日 生

正泰正久男

同十年三月廿五日

死五十一段

天保十二年十月六日 叙生

第永二年十一月廿七日 叙從六位下三十八章 同日 任近江介 任近江介

0

安政四年後五月二十日

叙正六位下五十四章

侍野中 平氏

政常

政恭政常男

同七年十一月廿七日

死八十二世

四六四

倫叙政倫男

間日 第政十年二月十五日 サ叙從六位下#大章 安永二年二月十六日 生

問年四月十日死

倫賢倫叙男

地下家傳 廿七

同日

任大和守

倫好倫努男

0

侍 清水 橘

四六三

文政九年十月廿八日 同日 同日 嘉永三年十一月廿九日 同十二年正月廿二日 天保五年正月廿五日 大夫 叙從五位下三十九歲(中六) 叙正六位下二十八章 叙從六位上二十歲 任豐前守 叙從六位下十二章 叙從五位上四十四章

伊藤 藤(原じ)

倫重七郎兵衞重茂男

同五年六月廿三日 同日 享保四年正月廿八日 寬文八年九月廿四日 死五十三世 任石見守 叙從六位(上い)五十二世

倫庸倫軍男

寶曆二年八月廿一日 寬延三年四月五日 寶永三年六月八日 生 死四十七段 任備後介 叙從六位下四十五

倫武倫雷男

同日 安永五年十二月十九日 明却元年閏十二月十九日 辭官返上位記 同六年五月十七日 寶曆十三年六月六日 侍叙從六位下四十世 享保九年 月 H #大夫 叙從六位下四十二章 死五十四世 叙從六位上五十三 任兵庫助 任左衞門大志

天明元年十二月四日 (子時待じ) 叙從六位下世太皇 **寶曆八年四月十一日** 政倫倫武男

任右兵衛大尉

同日

同日 同日 天明四年七月十四日 同八年七月十日 安永七年五月十九日 月 H 第大夫 (4) 任因階守 叙從六位下三十七世 死四十三章 **叙從六位下三十人世** 4= 辦官返上位能 任右兵艦少尉

明和三年正月廿四日 董氏(母家女房·) 生

同日 天明七年七月十二日 作叙從六位下世二 任石兵艦少尉

同日 回日 寬政 一年十二月十八日 無大夫 叙從六位下中五 辦官返上位記 任因婚守

同七年八月十日 辭官返上位記

安永二年十月四日 氏清解比男 生

地下家傳 北七

> 同十五年十一月日本五年十一月 同九年三月十四日 同年十一月五日 同日 同日 寬政十年十月四日 天保三年四月廿六日 同八年十二月廿五日 文政五年十月五日 文化三年三月廿四日 同年十二月十九日 天叙從六位下 母級從六位下#大量 平六十日 叙正六位下四十七日 轉大監物(守如元 叙從六位上三十四 任少監物(守如元) 任刑內守 辦官返上位記 任右衛門少尉 精明官 爲大當實行事 叙從五位下五十二

清海氏清男

同十五年二月十九日 第文政元 文化四年 同十四年八月十九日 日 件叙從六位 解官返上位記 任丹波介

トナ

一四六一

同千四年六月廿七日 離官返上位記 同年七月八日 任勘解由判官

祐信 酤陶男

同日 天保八年四月十五日 母教從六位下十八章 文政三年八月十五日 生

C

尚本 賀茂

氏三淡路守賀茂氏行男

文政二年十二月十九日 同十五年正月廿二日 文化七年三月廿六日 享和二年二月十一日 同五年二月十一日 平七十一段 叙從五位下四十五日 叙從四位下七十二(去少忠) 級正五位下六十二世 **数從五位上五十四章**

耐詮補敬男

同日 同日 同日 同八年十二月十九日 實政五年十月廿七日 件級從六位下十二 天明三年 月日 郡大夫叙從六位下十四貫 任左兵衞大尉 鮮官返上位記 任近江介

同十一年正月廿七日 鮮官返上位記

同日 安永元年四月十七日 享和二年十二月十九日 母叙從六位下三十二章 · 店店(母家女房。) 任豐後介

地下家傳 廿七

> 文政八年正月廿九日 同日 同十四年三月十七日 同六年十二月廿二日 同日 同日 文化二年十二月十九日 同四年四月廿三日 天保二年八月十二日 八年十月十九日 1: 曹大夫叙從六位下三十四章 卒六十二官 辦官返上位肥 路南自 任有兵衞大尉(守如元) 叙從五位下六十日 叙正六位下五十四章 任播磨守 叙從六位上四十六章 任長門守

寬政十二年 月 **祐喜誠周男** B

同日 文化七年十月十三日 母叙從六位下十二章 任美濃介

同日 同日 同年十二月廿一日 **第天夫叙從六位下** 解官返上位記

同十一年四月廿八日 任右衛門大尉 任大隅守

四五九

同四年十月十九日 正德二年十二月廿五日 同八年二月十一日 **语永三年十月九日** 貞享元年四月三日 竟延二年正月廿五日 元文三年十二月廿四日 享保三年四月廿四日 保三年十二月廿七日 九年開四月廿八日 十七年三月十六日 十五年十二月廿六日 三年正月十九日 卒六十七世 叙從五位上四十一日 任土佐守 叙從四位上六十六日 任下野守 叙從四位下五十五章 叙正五位下四十七日 任和泉守 叙正六位下サス東 **叙從五位下三十五章** 叙從六位上世三

> 同八二い一年八月十九日 同日 安永元年十二月十五日 同八年十二月十八日 明和元年六月八〇廿十〕日 同十三年二月十三日 寶曆五年十月十四日 延享四年十二月廿六日 2中六十五世 任左衛門大尉六十四章 叙正五位下六十三章 下野守如舊 銀下野守五十六歲 **叙從五位上五十五世** 叙從五位下四十七日 叙正六位下三十九家

施敬(母家女房^い)

寬政三年二月十八日 天明五年八月廿三日 安永六年十二月十九日 同日 同日 同六年十二月十八日 同日 明和五年十二月十九日侍叙從六位下二十二 寬延二年三月廿二日 #大夫叙從六位下世一世 叙正六位下三十七世 銀下野守四十三章 叙從六位上世九回 任彈正少忠 辭官返上位記 任右衛門大尉

同日

寶永六年八月十九日

所城 站壽男

元文四年十一月十二日

叙從六位上三十二章

任木工助

同七年七月廿一日 死三十九日

經濟策作为

同日 天明五年四月廿六日 安水元年十一月八日 任左兵衞少尉 叙從六位下十四百

同五年十二月十六日 同日 鮮官位肥返上

寬政元年五月十三日 同六年間十一月四日 年八月廿二八七七日 叙從六位上 任刑部大阪世二日

文政元年十二月十九日 文化七年二月一日 享和二年正月十四日 叙從五位上四十七世 叙正六位下三十二章 叙從五位下三十九章

經光經濟男

同二年七月一日

20一四十八四

文政七年六月十九日 侍叙從六位下世七郎

地下家傳

十七

(子時諸大夫い)叙從六位下十四世 任土佐守 班伊勢守三十三四

> 同日 同九年十二月廿六日 同五年三月十六日 任右衞門權大尉(守如元) 辭官返上位記

小川 源

元定資

四五七

同日

天保三年正月廿八日

任左兵衛少尉 死三十五世

經說經濟男

同日 文政十三年十一月廿一日 ☆叙從六位下+ngk ||文化十四年 月 日 生

任知前介

天保元年十二月十九日 新大夫 **叙從六位下十四世** 辭官返上位記

同日

任能登守

山本 賀茂氏

兼致從五位下智茂**兼**如男

余句録後五位下て上い。賀茂馮氏女

兼存(母家女房で)

兼庭兼尚男

安永六年九月廿八日 和從六位下中入賦 同五年十一月二十日 解官返上位記 同五年十一月二十日 解官返上位記 同五年十一月二十日 解官返上位記 同七年八月廿四日 任伊勢介三十一隊 一世大和介『大牧助』)

中院家 三條四家

正親町三條家

諸大夫侍

廿七(廿八二)

地下家傳

中院家

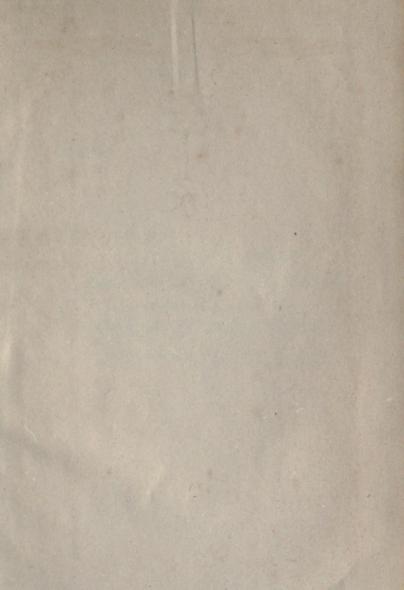
諸大夫侍家傳

一四五五

地下家傳 计七









Masamune, Atsuo Jige kaden

East Asia

PLEASE DO NOT REMOVE CARDS OR SLIPS FROM THIS POCKET

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

